

**測定記録支援システム BLuE
iPadOS 版 ユーザーズマニュアル**

第6版

**2025 年 9 月 29 日
株式会社アネステック**

目次

1 製品概要	1
2 動作条件	1
3 システム仕様	1
4 対応測定器一覧	2
5 用語集	6
6 インストール/アンインストール方法	7
7 操作フロー	8
8 各アプリの画面とボタンの説明	10
9 事前準備	17
9.1 Excel 帳票、PDF 図面の準備	17
9.2 測定器側の事前設定	17
9.3 測定ポイントの作成(PDFEditor のみ)	21
10 起動/連携する	23
10.1 起動/連携する(アプリ版 Excel)	23
10.1.1 アプリ版 Excel の起動	23
10.1.2 試験記録表を読み込む	23
10.1.3 BLuEApp を起動する	24
10.1.4 Office アドインの挿入	28
10.1.5 BLuEApp と Excel を連携する	30
10.2 起動/連携する(Web 版 Excel)	31
10.2.1 Web 版 Excel の起動	31
10.3 起動/連携する(PDFEditor)	38
10.3.1 PDFEditor の起動	38
10.3.2 PDF 図面を読み込む	38
10.3.3 PDFEditor の基本操作	41
10.3.4 BLuEApp を起動する	42
10.3.5 BLuEApp と PDFEditor を連携する	44
11 接続/切断する	45
11.1 測定器と接続する	45

12 測定する	55
12.1 測定を行う(Excel)	55
12.2 測定を行う(PDFEditor)	61
13 終了する	65
13.1 試験記録表・図面を保存する	65
13.2 BLuEApp を終了する	65
14 その他	66
14.1 BLuEApp の設定	66
14.2 Excel の設定	98
14.3 PDF Editor の設定	100
14.4 その他の操作	130
14.4.1 アプリ情報	130
15 FAQ	132

1 製品概要

当システムは、各種測定器で測定した測定値を無線通信によって iPad で受信します。Excel や専用の PDFEditor と連携し帳票上・図面上で指定した箇所に測定値を直接入力することができます。

2 動作条件

使用する iPad の動作条件は以下となります。

ハードウェア	iPad 5 以降
	その他の動作条件は当該 iPad の動作条件に準じます。

※当システムを使用する上での注意点

ライセンス認証を行う際は、インターネットへの接続が必要です。

3 システム仕様

当システムは、下記の環境で動作させることを前提とします。

OS	iPadOS 16 以降
BLuEApp	BLuEApp 1.5 以降
Excel バージョン	Excel for iPad 2.53 以降（以下、Excel と表記）
PDF アプリケーション	BLuE PDF Editor 1.6 以降（以下、PDFEditor と表記）
CheX バージョン	CheX 3.36.0 以降
通信方式	Bluetooth 4.0 以降（Bluetooth Low Energy）

4 対応測定器一覧

当システムは下表に示す測定器に対応しています。ご使用の測定器が対応しているか確認してください。

機種名	メーカー	種類	備考
AF101	アリアテクニカ株式会社	風速温度計	
AF102	アリアテクニカ株式会社	風速温度計	
AF111	アリアテクニカ株式会社	風速温湿度計	
BT3554-50	日置電機株式会社	バッテリーテスタ	測定器本体のほか、 Bluetoothアダプタ 「Z3210」 が別途必要
CD-AXシリーズ ※1	株式会社ミットヨ	デジタルノギス	測定器本体のほか、 接続ユニット 「02AZF300」 Bluetoothアダプタ 「U-WAVE-TCB」 が別途必要
CEM3-BT ※2	株式会社東日製作所	トルクレンチ	
CM4371-50	日置電機株式会社	クランプメータ	測定器本体のほか、 Bluetoothアダプタ 「Z3210」 が別途必要
CM4373-50	日置電機株式会社	クランプメータ	
CM4375-50	日置電機株式会社	クランプメータ	
CM4376	日置電機株式会社	クランプメータ	
DCL31DRBT	三和電気計器株式会社	クランプメータ	
DDSシリーズ ※3	株式会社SIRC	電力センサユニット	
DLC470BT	三和電気計器株式会社	クランプメータ	
DTC-N-REV ※4	株式会社中村製作所	トルクレンチ	測定器本体のほか、 接続ユニット 「02AZF300」 Bluetoothアダプタ 「U-WAVE-TCB」 が別途必要

機種名	メーカー	種類	備考
DT4261-50	日置電機株式会社	デジタルマルチメータ	測定器本体のほか、 Bluetoothアダプタ 「Z3210」 が別途必要
FT3425	日置電機株式会社	照度計	
FT6380-50	日置電機株式会社	接地抵抗計	測定器本体の他、 Bluetoothアダプタ 「Z3210」 が別途必要
GAシリーズ ※5	大崎電気工業株式会社	電力量計	測定器本体の他、 「C-EM6用赤外線通 信機器(TP-BT)」 が別途必要
GDCシリーズ ※6	新潟精機株式会社	デジタルノギス	測定器本体の他、 「BluetoothBOX」 が別途必要
IES-5000/5000R ※7	柴田科学株式会社	室内環境測定器	
IR4052-50	日置電機株式会社	デジタル絶縁抵抗計	測定器本体のほか、 Bluetoothアダプタ 「Z3210」 が別途必要
IR4055-11	日置電機株式会社	PV用デジタル絶縁抵抗計	
ISA-101	柴田科学株式会社	風速温度計	
ISA-111	柴田科学株式会社	風速温湿度計	
KEW2433RBT	共立電気計器株式会社	クランプリーカ	
KEW3441BT	共立電気計器株式会社	絶縁抵抗計	
KEW3552BT	共立電気計器株式会社	デジタル絶縁抵抗計	
KEW4105DLBT	共立電気計器株式会社	接地抵抗計	
KEW4300BT	共立電気計器株式会社	簡易接地抵抗計	
KEW4500BT	共立電気計器株式会社	コンセントテスタ	
KEW4505BT	共立電気計器株式会社	コンセントテスタ	
KEW5204BT	共立電気計器株式会社	照度計	
KEW6041BT	共立電気計器株式会社	絶縁接地抵抗計	

機種名	メーカー	種類	備考
KEW6514BT	共立電気計器株式会社	マルチファンクション テスタ	
M-1140X	マルチ計測器株式会社	クランプリーカ	
M-1140XR	マルチ計測器株式会社	クランプリーカ	
M-1141X	マルチ計測器株式会社	クランプリーカ	
M-1141XR	マルチ計測器株式会社	クランプリーカ	
MCL-500IRVX	マルチ計測器株式会社	IRVクランプリーカ	
MCL-800DX	マルチ計測器株式会社	クランプリーカ	
MCL-800DXR	マルチ計測器株式会社	クランプリーカ	
MDC-MXシリーズ ※8	株式会社ミットヨ	マイクロメータ	測定器本体のほか、 接続ユニット 「02AZF310」 Bluetoothアダプタ 「U-WAVE-TMB」 が別途必要
MET-10X	マルチ計測器株式会社	接地抵抗計	
NLシリーズ ※9	リオン株式会社	騒音計	測定器本体のほか、 三工社製 Bluetoothアダプタ 「BA-01」 が別途必要
PD3259-50	日置電機株式会社	検相器	測定器本体のほか、 Bluetoothアダプタ 「Z3210」 が別途必要
PM300BT	三和電気計器株式会社	デジタルマルチメータ	
SK-110TRH-B	株式会社佐藤計量器製作所	温湿度計	
SK-270WP-B	株式会社佐藤計量器製作所	温度計	
SSC-650/ SSC-750/ SSC-850	株式会社テクロック	デジタルノギス	
SSCD-150/150S	株式会社テクロック	デジタルシリンダゲージ	
SSD-215	株式会社テクロック	デジタルデプスゲージ	
SSI550/560/570/580	株式会社テクロック	デジタルインジケータ	

機種名	メーカー	種類	備考
SSL250-260	株式会社テクロック	デジタル てこ式インジケータ	
SSM-750/850	株式会社テクロック	デジタルマイクロメータ	
SSS-540/550	株式会社テクロック	デジタル シックネスゲージ	
TKR12M	レッキス工業株式会社	満水試験器Ⅲ型 (みるみるくん)	
TKR12P	レッキス工業株式会社	圧力試験器Ⅲ型 (みるみるくん)	
6006-BT	日本カノマックス 株式会社	風速計	
斜メーター	株式会社北浜製作所	配管勾配測定器	

注記

- ※1 BLuE で対応している「CD-AX シリーズ」は、
【CD-10AX、CD-15AX、CD-20AX、CD-30AX、CD-15AXW、CD-15AXWW、
CD-20AXW、CD-20AXWW、CD-15AXR】となります。
- ※2 BLuE で対応している「CEM3-BT」は、
【CEM10N3X8D-BT、CEM20N3X10D-BT、CEM50N3X12D-BT、CEM100N3X15D-BT、
CEM200N3X19D-BT、CEM360N3X22D-BT、CEM500N3X22D-BT、CEM850N3X32D-BT】
となります。
- ※3 BLuE で対応している「DDS シリーズ」は、
【三相タイプ DDS33-0903P、DDS33-1510P、DDS33-2520P、DDS33-3530P
単相タイプ DDS13-0903P、DDS13-1510P】となります。
- ※4 BLuE で対応している「DTC-N-REV」は、
【DTC-N10REV、DTC-N50REV、DTC-N100REV、DTC-N200REV、DTC-N300REV、
DTC-N500REV、DTC-N1000REV】となります。
- ※5 BLuE で対応している「GA シリーズ」は、
【A1GA-RLS31、A2GA-RLS31、A3GA-RLS31、A1GA-TLN2r、A2GA-TLN2r、A3GA-TLN2r、
A1GA-TLN2、A2GA-TLN2、A3GA-TLN2、A1GA-TLN1、A2GA-TLN1、A3GA-TLN1、
A1GA-TLN1r、A2GA-TLN1r、A3GA-TLN1r、A1GA-TLN11、A2GA-TLN11、A3GA-TLN11、
A1GA-TLN11r、A2GA-TLN11r、A3GA-TLN11r】となります。
- ※6 BLuE で対応している「GDC シリーズ」は、
【GDCS-100、GDCS-150、GDCS-200、GDCS-300、GDCS-150W、GDCS-200W、
GDCS-300W、GDCS-150CD、GDCP-100、GDCP-150、GDCP-200、GDCP-300、

GDCT-100、GDCT-150、GDCT-200、GDCT-300、GDCS-150P、GDCS-200P、
GDCS-150B、GDCS-150NP、GDCS-200NP、GDCS-150F、GDCS-100WR、
GDCP-150MU、GDCP-200AA、GDCP-200TA、GDCP-150A、GDCP-150A2、
GDCS-150T、GDCS-150IR、GDCP-150IT、GDCP-150I、GDCP-150I2、
GDCS-150IK、GDCS-200IK、GDCS-150IK2、GDCS-200IK2、GDCS-125H】
となります。

※7 測定器本体のみを購入すると、基本測定として、【温度(℃)、湿度(%rh)、CO(ppm)、
CO2(ppm)、気流(m/s)】ができますが、

そのほか、別途付属品を購入することにより、以下の測定ができます。

粉じん測定：「粉じん計 LD-2I」

低位置用温度測定：「低位置用温度計 IES3000/4000/5000 用 LTM-1 型」

放射熱測定：「黒球温度計 IES-4000/5000 用 GTM-1 型」

照度測定：「デジタル照度計 CANA-0010S 型（接続用ケーブル付）」

騒音測定：「普通騒音計 NL-27 型(検定なし or 検定あり)+騒音計ケーブル NL-27 型接続用」

※8 BLuE で対応している「MDC-MX シリーズ」は、

【MDC-25MX、MDC-50MX、MDC-75MX、MDC-100MX、MDC-25MXT、MDC-50MXT】
となります。

※9 BLuE で対応している「NL シリーズ」は、

【NL42A、NL52A、NL62A、NL42、NL52、NL62】となります。

5 用語集

本書で使用する用語の説明です。

- BLuEApp

測定器の接続管理、測定結果を各入力先アプリケーション(Excel・PDFEditor)に受け渡すアプリケーション。

- Excel アドイン

BLuE を使用するうえで必要な機能の提供、BLuEApp から Excel へ測定結果を受け渡すために必要なアドイン。

- PDFEditor

PDF 図面の表示、BLuEApp から受け渡された測定結果を入力・表示・保持するアプリケーション。

- タップ

指 1 本で画面に触れすぐに離すジェスチャ。リンクの移動やボタンの押し上げなどよく使われる基本動作。

- ダブルタップ

短い時間でタップを 2 回行うジェスチャ。

- ロングタップ
タップで画面に触れている時間を長くしたジェスチャ。
- ドラッグ
タップ/ロングタップで画面に触れたのち指を移動させるジェスチャ。持って動かすイメージ。
- スワイプ
画面上で指を移動させてから離すジェスチャ。払うイメージ。
- ピンチイン/ピンチアウト
画面に 2 本の指で触れ、2 本の間隔を近づけるとピンチイン、2 本の間隔を離すとピンチアウト。
- ドック
iPadOS で最近使ったアプリ、登録したアプリを簡単に呼び出すための機能。ホーム画面で画面下に表示されます。
- SlideOver
起動中のアプリの上に別のアプリを小さい画面で起動する手法。複数のアプリを同時に起動できます。
- SplitView
画面を分割し 2 つのアプリを起動する手法。複数のアプリを同時に起動できます。
- 前面に表示
SlideOver または SplitView の状態でアプリケーションが画面に表示されている状態。
- 測定ポイント
PDF 図面上に測定器から取得した値を表示するためのポイント。
- 測定値
測定器から取得した値。

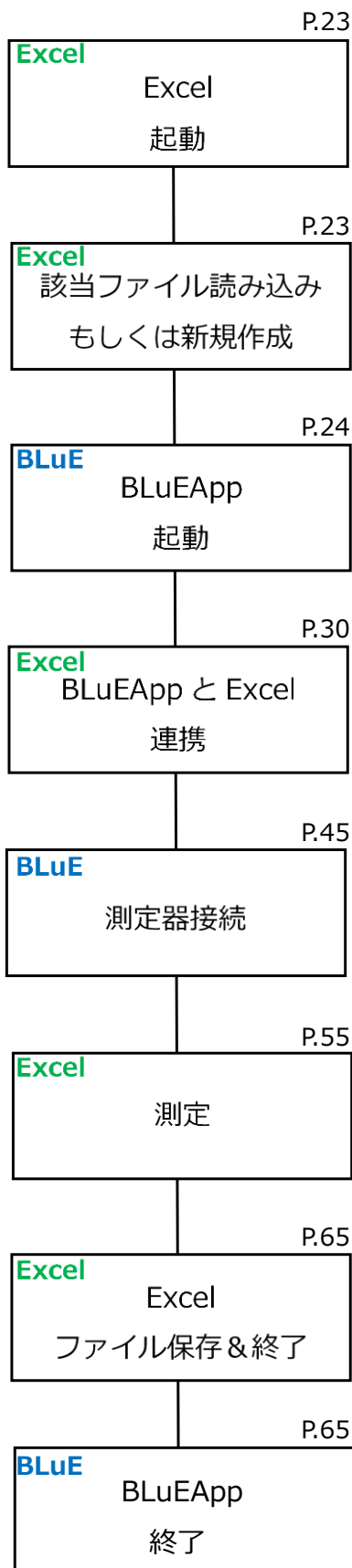
6 インストール/アンインストール方法

インストール/アンインストール方法については、別紙「インストール手順書」を参照してください。

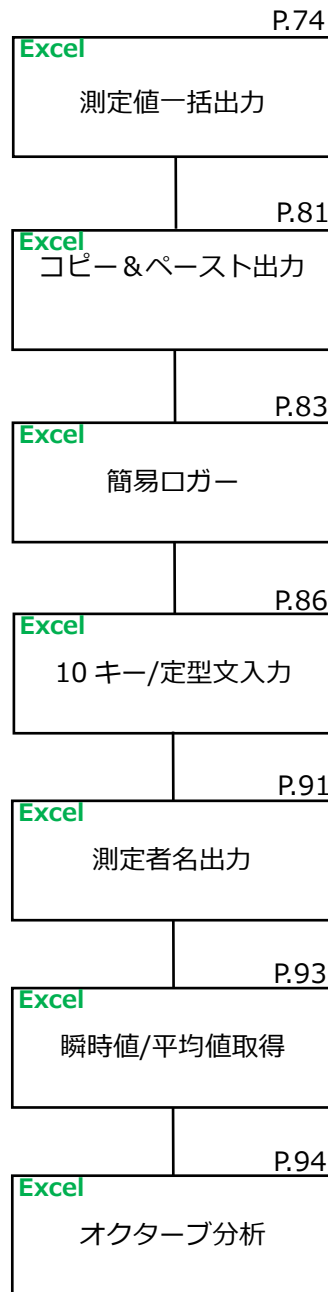
サイト URL : [BLuE for iPad - BLuE \(smart-blue.net\)](https://smart-blue.net)

7 操作フロー

「BLuEApp」と「Excel」



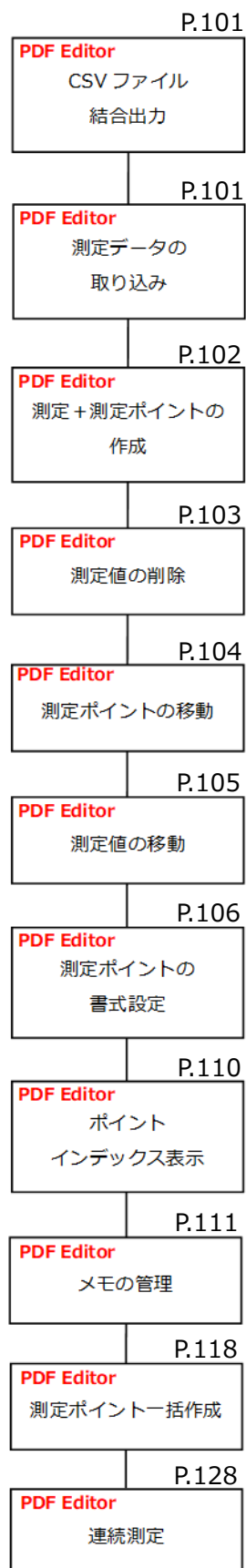
【その他機能】



「BLuEApp」と「PDFEditor」



【その他機能】



8 各アプリの画面とボタンの説明

当システムは、

「BLuEApp」と「Excel」

「BLuEApp」と「PDFEditor」

を組み合わせご利用ください。以下にアプリの画面とボタンについて説明します。

【BLuEApp】

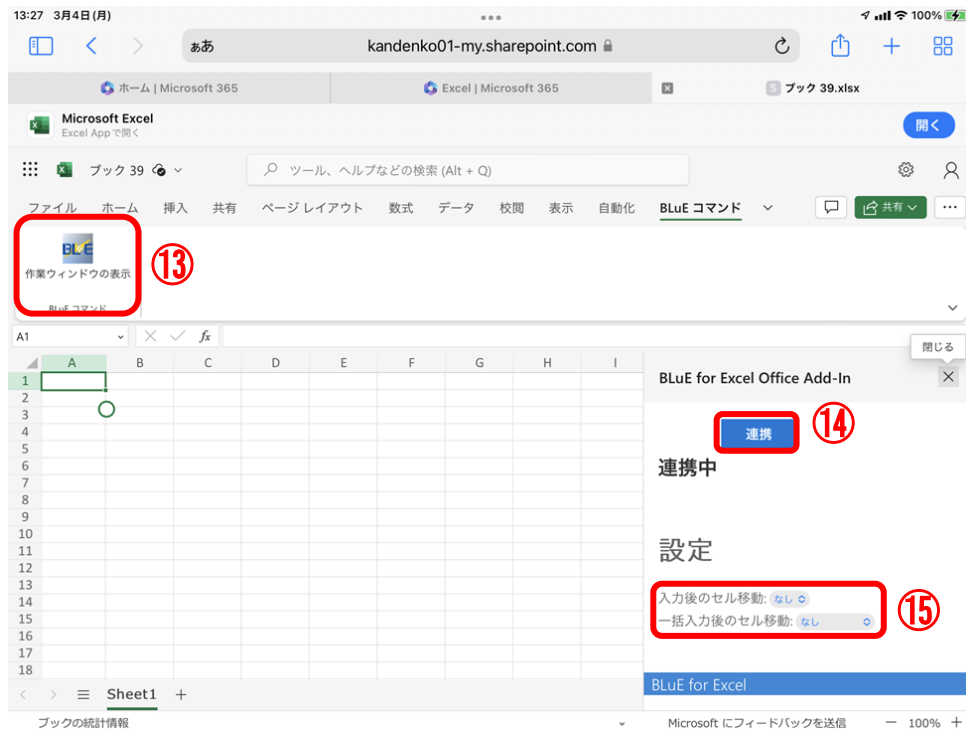


No.	リボンメニュー	機能内容
①	「…」	iPad 画面に表示されている BLuEApp を移動する際、「…」を長押しした状態で、左右にスライドすると移動します。
②	再接続ボタン	過去に接続したことがある測定器の電源が入っていれば、本ボタンを押下すると接続できます。
③	設定ボタン	本ボタン押下後、設定画面へ遷移します。
④	接続管理ボタン	本ボタン押下後、接続管理画面へ遷移します。
⑤	接続中の機器一覧	現在接続されている測定器の型番・シリアル番号が表示されます。
⑥	入力先アプリケーション呼び出し機能	設定することで、「Excel・PDFEditor・CheX・ANDPAD 図面」を呼び出せます。設定方法については、P.67 を参照してください。
⑦	開始ボタン	本ボタン押下後、測定画面へ遷移します。
⑧	接続対象機種一覧	④ボタン押下後、接続する測定器の型番を選択し、測定器を接続します。



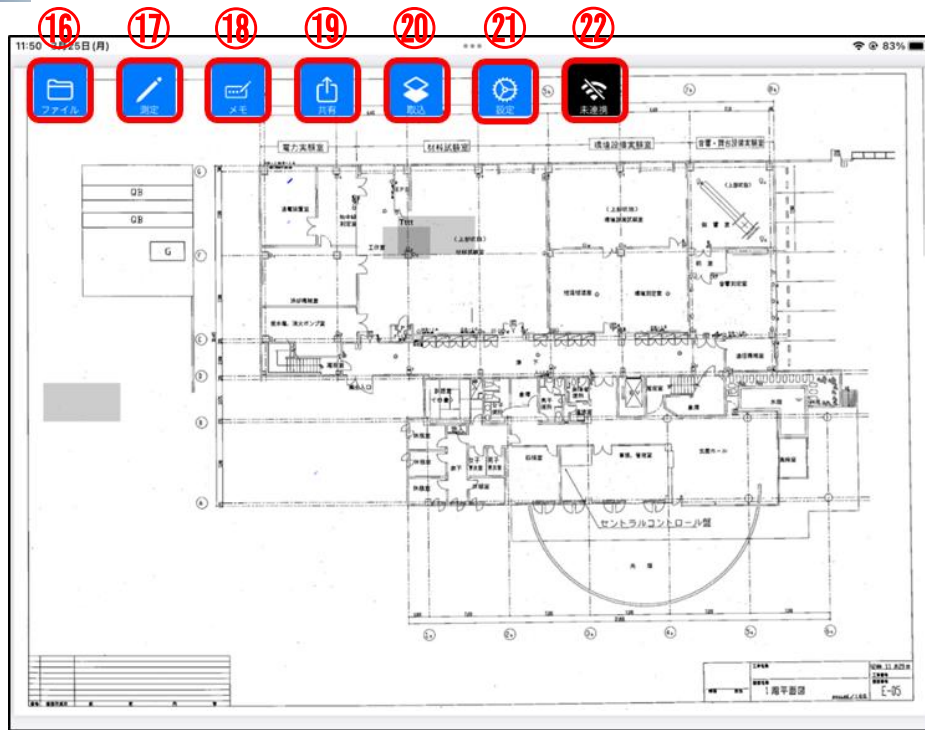
No.	リボンメニュー	機能内容
⑨	設定対象機種一覧	③ボタン押下後、測定器ごとに各種設定ができます。 測定値の出力方法/入力表記の変更などが行えます。
⑩	セル反映ボタン	【Excel 入力時のみ表示】 本ボタン押下後、測定値が入力されます。
⑪	簡易ロガーモード	【Excel と連携中のみ】 設定した「測定間隔」毎に測定値が入力されます。設定方法については、P.83「14.1⑩簡易ロガー機能」を参照してください。
⑫	終了ボタン	本ボタン押下後、メイン画面へ遷移します。

【Excel アドイン】



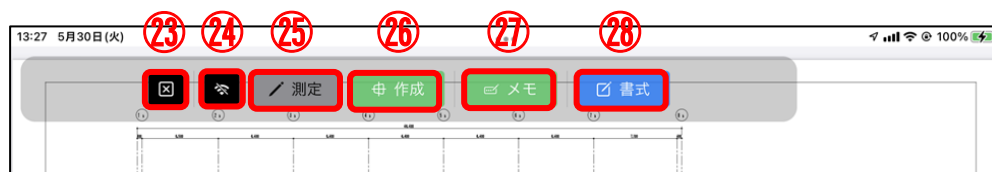
No.	リボンメニュー	機能内容
⑬	作業ウィンドウの表示	【Web 版 Excel のみ表示】 押下後、BLuE for Excel Office Add-In を表示します。
⑭	連携ボタン	本ボタン押下後、BLuEApp と連携します。
⑮	入力後のセル移動	測定値入力後、自動でセル移動を行うか、設定できます。 (なし/下/右)
	一括入力後のセル移動	【測定値一括出力設定が「ON」の場合に有効】 測定値入力後、自動でセル移動を行うか、設定できます。 (なし/下/入力範囲の下/右/入力範囲の右)

【PDFEditor】



No.	リボンメニュー	機能内容
①⑥	ファイルボタン	表示する PDF ファイルを選択できます。
①⑦	測定ボタン	測定ポイントの作成/測定などを行う画面へ遷移します。
①⑧	メモボタン	本ボタン押下後、任意の個所を選択するとメモが描画されます。
①⑨	共有ボタン	本ボタン押下後、CSV ファイルが作成され、iPadOS の機能である共有シートが表示されます。 詳細については、P.101「14.3③CSV ファイル結合出力」を参照してください。
②⑩	取込ボタン	本ボタン押下後、選択した PDF ファイルの測定情報とメモを取り込みます。 詳細については、P.101「14.3⑤測定データの取り込み」を参照してください。
②⑪	設定ボタン	設定画面へ遷移します。
②②	連携ボタン	本ボタン押下後、BLuEApp と連携します。 背景色 黒：未連携 橙：連携中

⑬測定ボタン押下後、下記のように表示されます。



No.	リボンメニュー	機能内容
⑬	×ボタン	本ボタン押下後、メイン画面へ遷移します。
⑭	連携ボタン	⑫と同様
⑮	測定ボタン	本ボタン押下後、任意の測定ポイントを選択すると、測定値が入力されます。
⑯	作成ボタン	本ボタン押下後、任意の箇所を選択すると、測定ポイントが作成されます。
⑰	メモボタン	⑩と同様
⑱	書式ボタン	本ボタン押下後、下図の「書式設定」が表示され、ポイントの大きさや色、形状等の各種設定ができます。

㊟測定ボタン押下後、下記のように表示されます



㊟作成ボタン押下後、下記のように表示されます



No.	リボンメニュー	機能内容
㊟	連続測定開始ボタン	㊟ボタン押下後に表示され、本ボタン押下後、連続測定モードが開始されます。
㊟	作成モード切替ボタン	㊟ボタン押下後に表示され、個別作成および一括作成モードを選択できます。
㊟	測定ポイント インデックス表示ボタン	㊟ボタン押下後に表示され、全測定ポイントのインデックス表示の有効/無効を設定できます。
㊟	グループ識別ボタン	㊟ボタン押下後に表示され、全測定ポイントで同じグループの親測定ポイントと子測定ポイント間の線表示の有効/無効を設定できます。

③③	設定ボタン	【②⑥のポイント作成時に「一括】を選択した場合のみ有効】 測定ポイントに対し設定をすることができます。 詳細については、P.118「14.3②⑥測定ポイント一括作成」を参照してください。
③④	測定ポイントインデックス	【③①で有効にした場合のみ表示】 測定ポイントごとにインデックス番号を表示します。

9 事前準備

iPad、測定器の基本的な操作については本書では説明しません。それぞれのマニュアルを参照してください。

9.1 Excel 帳票、PDF 図面の準備

測定で使用する帳票・図面を使用する iPad にコピーして保存します。

- ◆クラウド上の Excel ファイルまたは PDF 図面を直接開いて使用すると、測定値が反映されないなど、動作が不安定になる可能性があります。
 - ◆PDF 図面のデータ容量が大きいと、図面を開く、拡大・縮小の操作等が遅くなり、また測定値がうまく反映できないことがあります。
- その際は、PDF 図面を分割するなど、データを軽くしてご使用ください。

9.2 測定器側の事前設定

以下の測定器に限り、事前に測定器側の事前設定が必要です。

・ DCL31DRBT	三和電気計器	クランプメータ
・ M-1140X/XR	マルチ計測器	クランプリューカ
・ M-1141X/XR	マルチ計測器	クランプリューカ
・ MCL-500IRVX	マルチ計測器	クランプリューカ
・ MCL-800DX/DXR	マルチ計測器	クランプリューカ
・ NL42A/52A/62A	リオン	騒音計
・ NL42/52/62	リオン	騒音計
・ PM300BT	三和電気計器	デジタルマルチメータ
・ SK-110TRH-B	佐藤計量器	温湿度計
・ SK-270WP-B	佐藤計量器	温度計
・ SSC/SSI/SSL/SSMseries	テックロック	デジタルノギス/デジタルインジケータ デジタルてこ式インジケータ/デジタルマイクロメータ
・ TKR12M/TKR12P	レッキス工業	満水試験器Ⅲ型/圧力試験器Ⅲ型

事前設定内容は、以下の通りです。

- DCL31DRBT
測定器の電源を入れ、「SELECT/BT」ボタンを長押しし、Bluetooth を有効にしてください。
- M-1140X/XR
測定器の電源を入れ、「Bluetooth」ボタンを押し、Bluetooth を有効にしてください。
- M-1141X/XR
測定器の電源を入れ、「Bluetooth」ボタンを押し、Bluetooth を有効にしてください。
- MCL-500IRVX

測定器の電源を入れ、「Bluetooth」ボタンを押し、Bluetooth を有効にしてください。

➤ MCL-800DX/DXR

測定器の電源を入れ、「Bluetooth」ボタンを押し、Bluetooth を有効にしてください。

➤ NL42A/52A/62A/42/52/62

① 測定器の電源を入れ、「MENU/ENTER」ボタンを押します。



② 「入出力」を選択します。



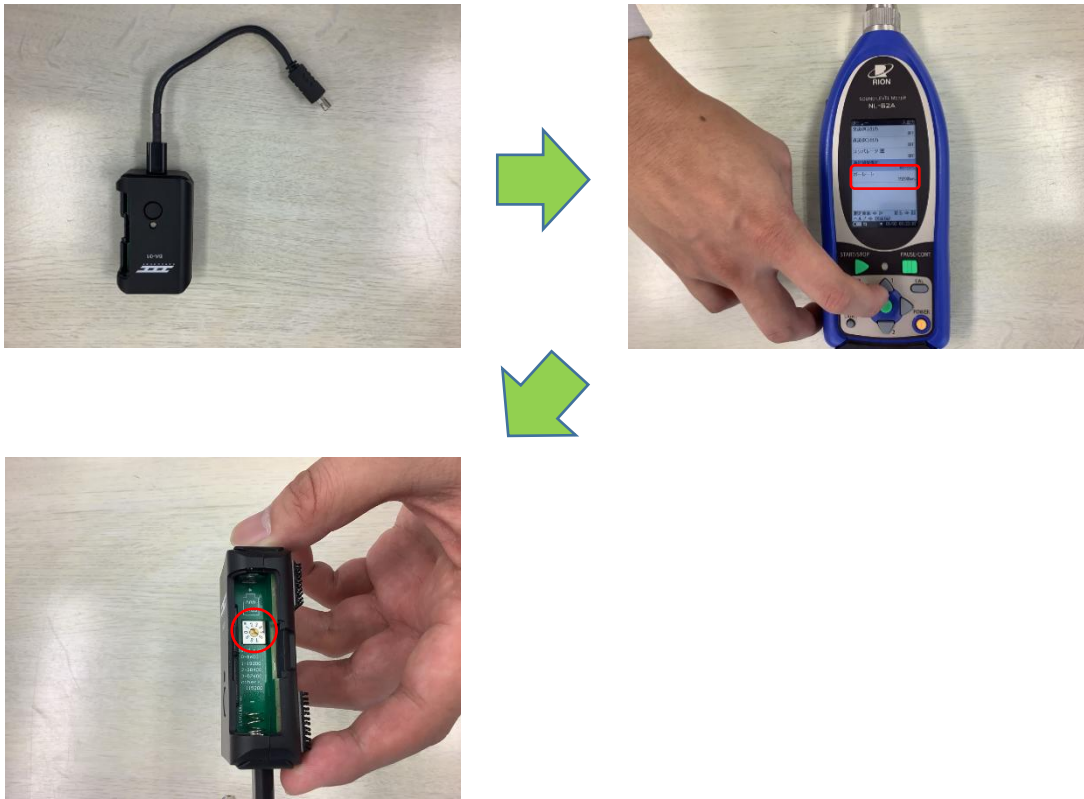
③ 「通信制御機能」を選択します。



④ 「RS-232C」を選択します。



- ⑤ Bluetooth 通信アダプタの乾電池を取り外し、測定器側に表示されている「ボーレート」と Bluetooth 通信アダプタの「ボーレート」を合わせてください。



- **PM300BT**
測定器の電源を入れ、「SELECT/BT」ボタンを長押しし、Bluetooth を有効にしてください。
 - **SK-110TRH-B**
測定器の電源を入れ、「OUT」ボタンを長押しし、Bluetooth を有効にしてください。
 - **SK-270WP-B**
測定器の電源を入れ、「REC」ボタンを長押しし、Bluetooth を有効にしてください。
 - **SSC/SSI/SSL/SSMseries**
 - ① 測定器の電源を入れ、Bluetooth を有効にしてください。
 - ② 拡張設定で「SIMPLE」モードに設定してください。
- ※手順については、測定器本体の取扱説明書を参照してください。

➤ TKR12M/TKR12P

- ① AppleStore から「みるみるくんデータ収集アプリ」をインストールしてください。
- ② インストール後、アプリを起動してください。
※本アプリの操作方法については、メーカーサイトを参照してください。
- ③ 測定器の電源を入れ、「収集」ボタンを押してください。



- ④ 使用する測定器のシリアルナンバーが表示されたのを確認し、「試験設定」ボタンを押してください。

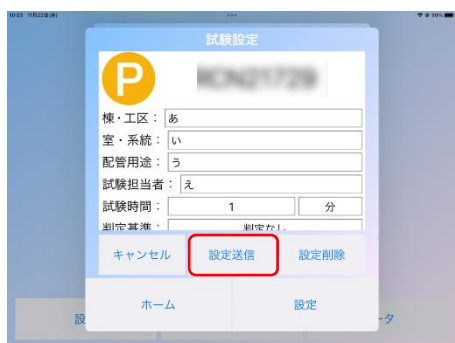


使用する測定器が TKR12P の場合に表示

使用する測定器が TKR12M の場合に表示

- ⑤ 必要項目を入力し、「設定送信」ボタンを押してください。

TKR12P の場合



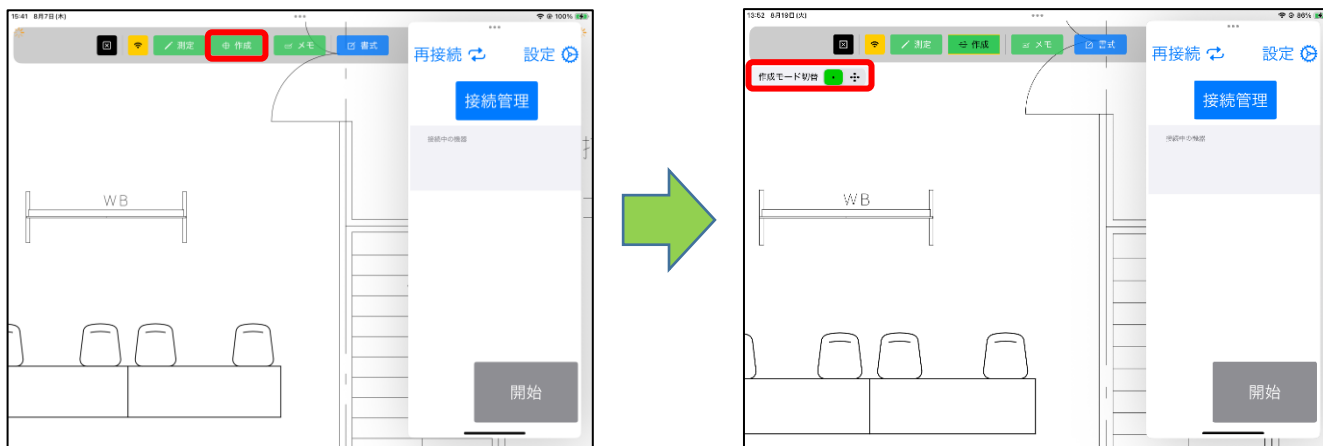
TKR12M の場合



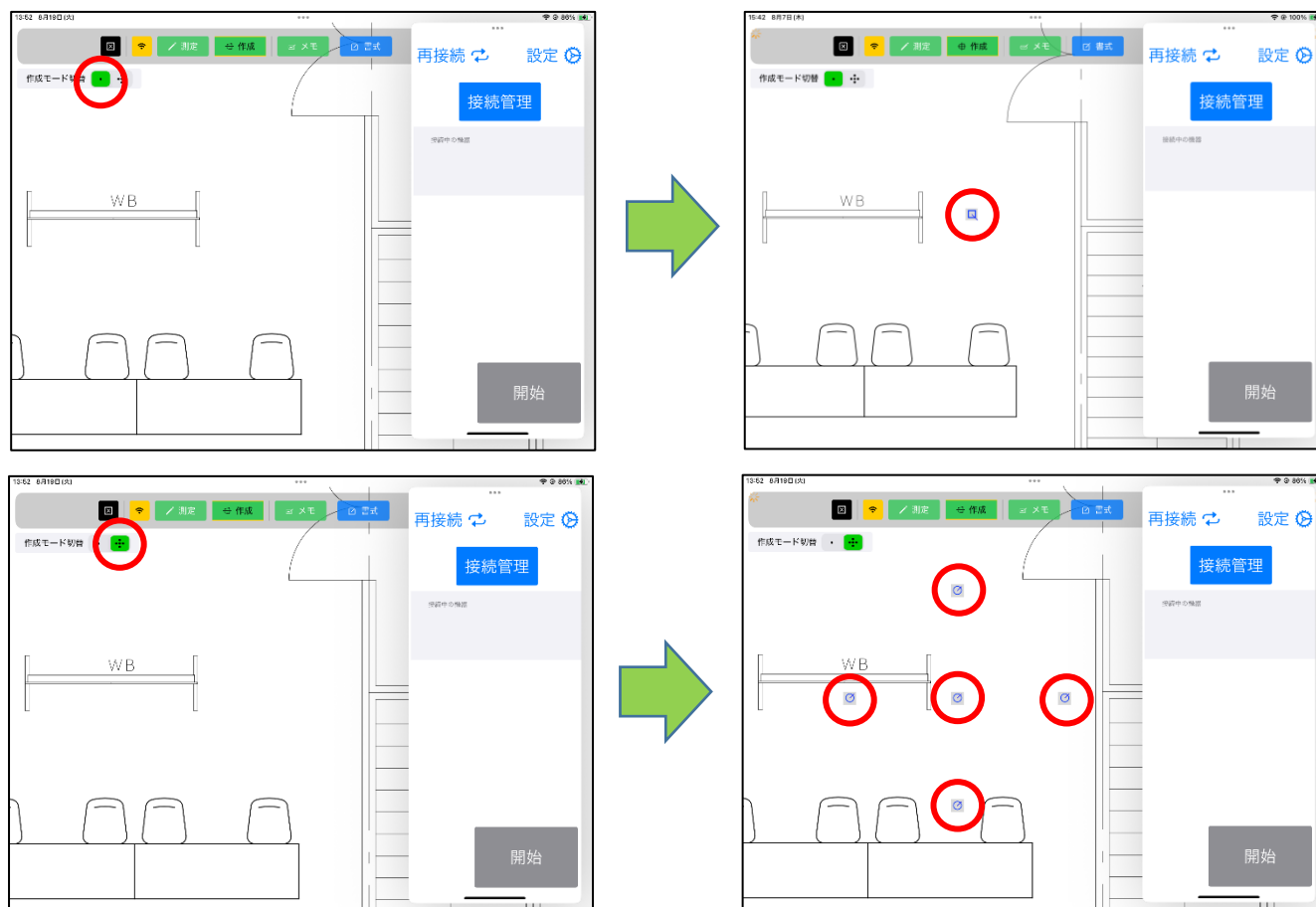
- ⑥ 送信が完了すると、測定器側が情報を受信し、測定器が自動で再起動します。

9.3 測定ポイントの作成(PDFEditor のみ)

測定メニューの「測定」をタップ後、「作成」ボタンをタップすると、測定ポイント作成モードになり画面左上に「作成モード切替」ボタンが表示されます。



個別作成モードまたは一括作成モードを選択し、PDF 図面上の任意の箇所をタップすると、測定ポイントが作成されます。



注記

- ◇ 一括作成モードを選択した場合、複数の測定ポイントを同時に作成することができます。
詳細については、P.118「14.3②測定ポイント一括作成」を参照してください。

- ◇ 次の場合、一括作成モードを選択しても測定ポイントが作成されません。
- ・測定ポイント一括作成で設定を選択していない。
 - ・測定ポイント一括作成で選択中の設定に測定ポイントが 1 つも配置されていない。

10 起動/連携する

アプリ版 Excel を利用される方は P.23 10.1.1 アプリ版 Excel の起動へ、

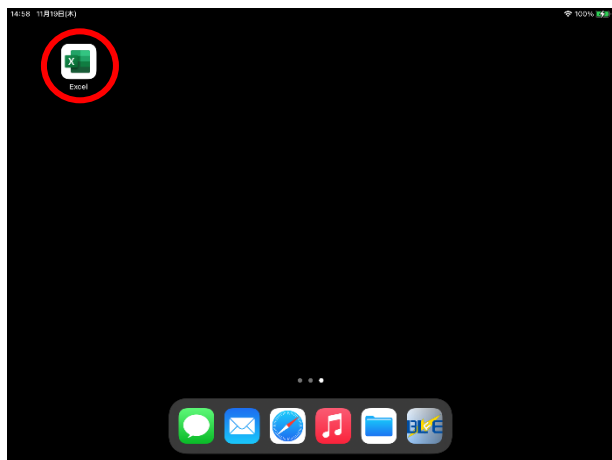
Web 版 Excel を利用される方は P.31 10.2.1 Web 版 Excel の起動へ、

PDFEditor を利用される方は P.38 10.3.1PDFEditor の起動へ それぞれ進んでください。

10.1 起動/連携する(アプリ版 Excel)

10.1.1 アプリ版 Excel の起動

ホーム画面から Excel のアイコンをタップします。



10.1.2 試験記録表を読み込む

- ① 測定値を記録する Excel ファイルを開きます。
- ② 使用する Excel ファイルはあらかじめ iPad 内にデータをコピーしてご利用ください。
 - ✧ クラウド上の Excel ファイルを直接開いて使用すると、測定値が反映されないなど、動作が不安定になる可能性があります。
- ③ 新規作成の場合左側の新規メニューから作成できます。



10.1.3 BLuEApp を起動する

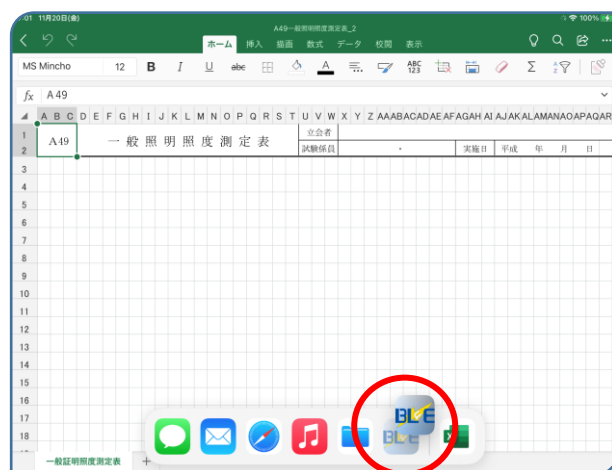
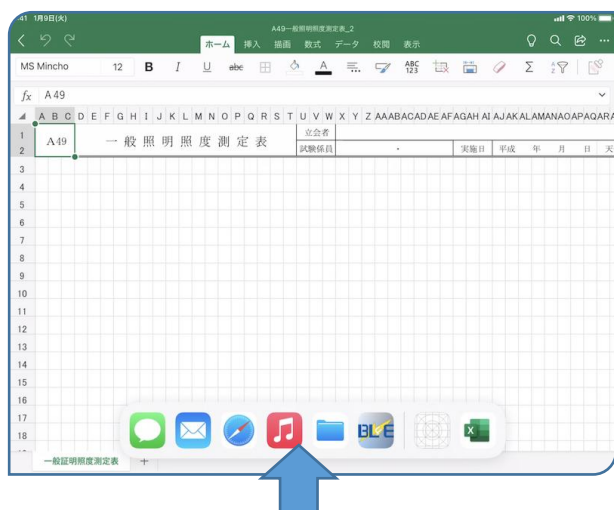
① ドックの呼び出し

Excel の編集画面が表示されている状態で画面中央部の下端を上方向にスワイプし、ドックを呼び出します。

② BLuEApp の SlideOver 起動

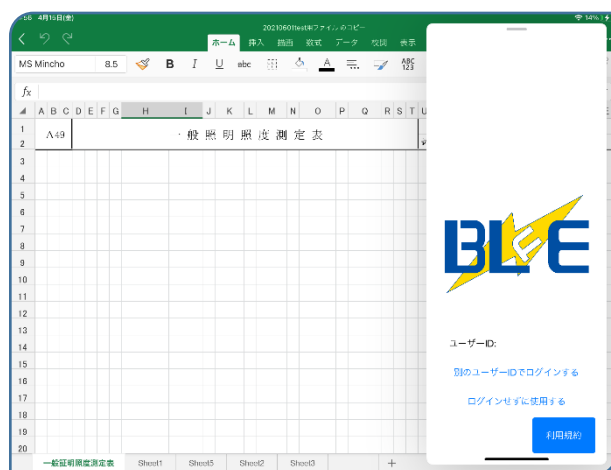
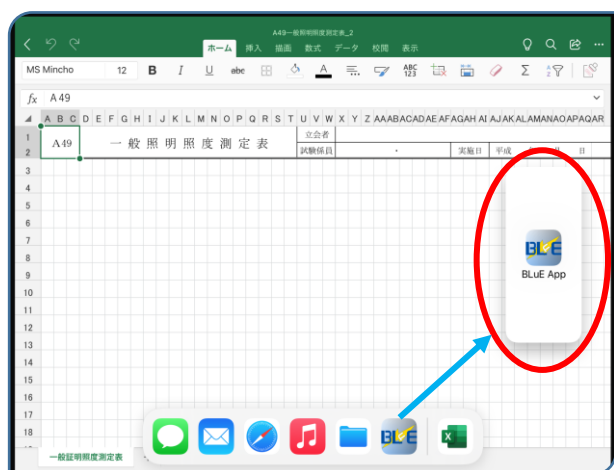
(ア) BLuEApp の SlideOver 起動 1

ドック上の BLuEApp をロングタップし、ドラッグできる状態にします。

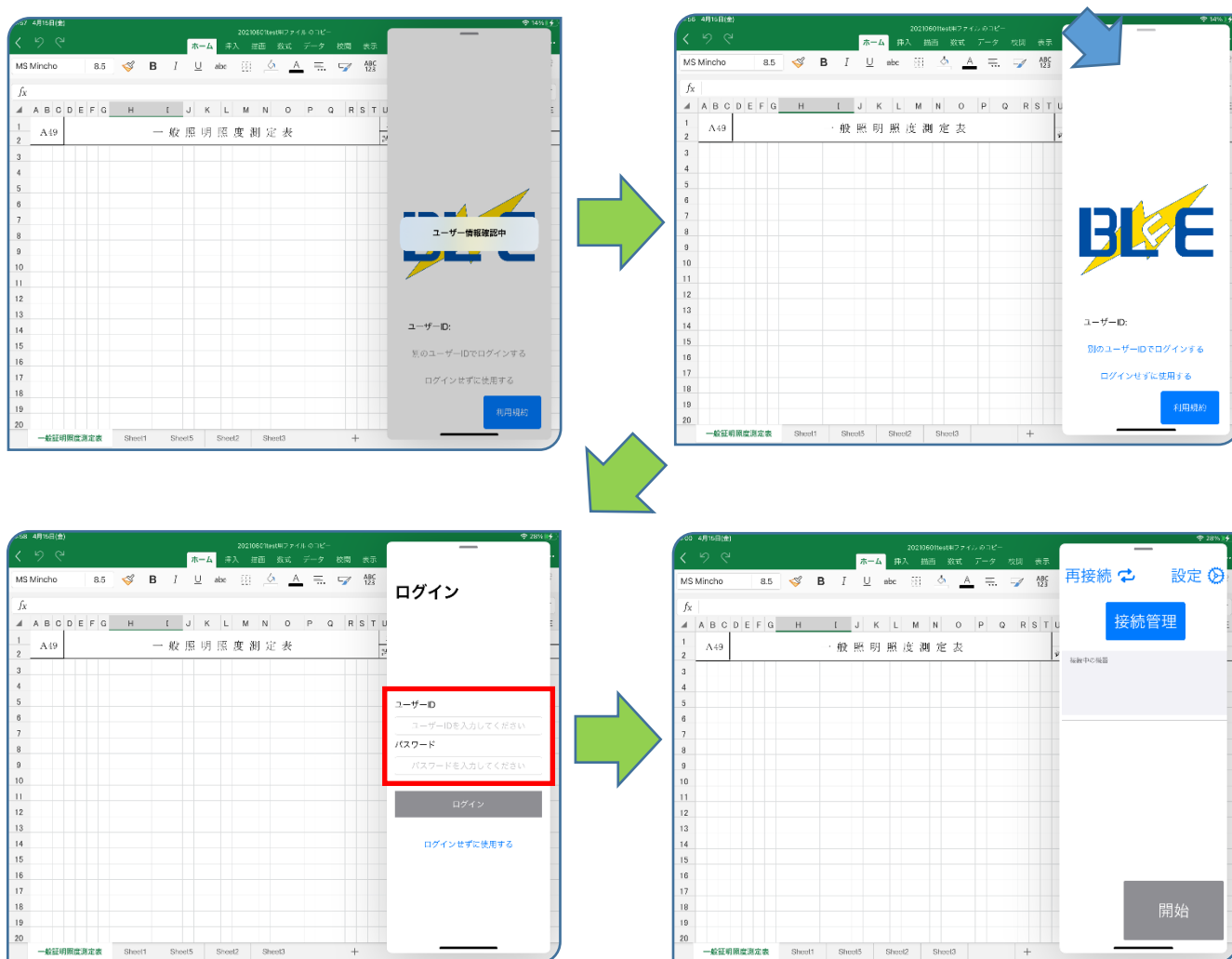


(イ) BLuEApp の SlideOver 起動 2

ロングタップした状態から Excel の画面上にドラッグし、指を離すと Excel の上に BLuEApp が起動します。



BLuEApp 起動後、「ユーザー情報確認中」のポップアップがでますが、2～3 秒後には消えて、ユーザ ID が入力できるようになります。任意の箇所をタップすると、ログイン画面に移行し、「ユーザーID・パスワード」を入力することで、システムを利用できるようになります。

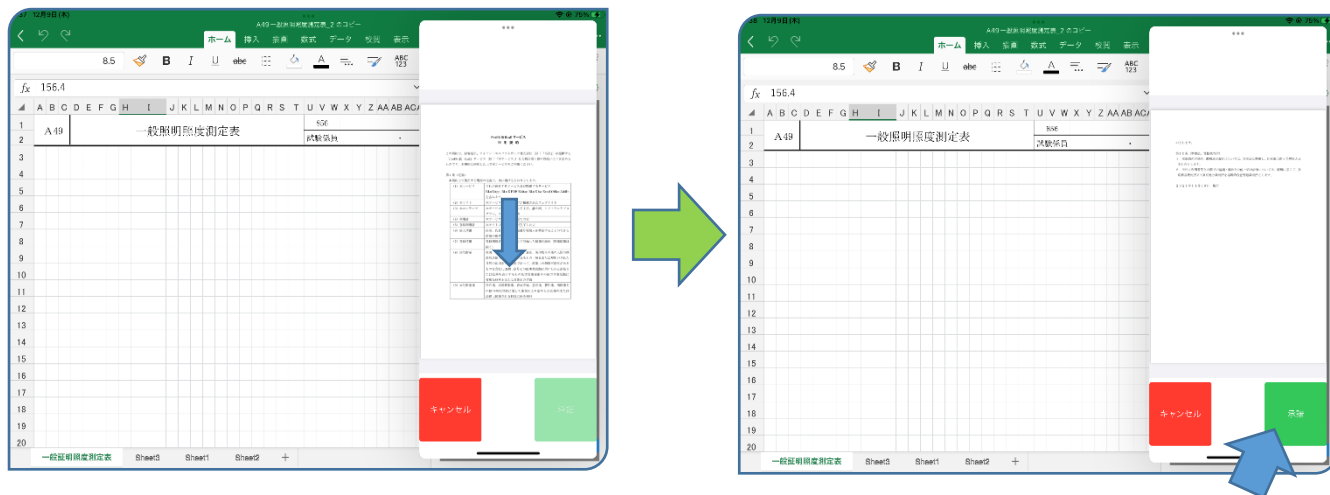


注記

- ◇ ログイン認証は初回限りとなります。

【補足事項】

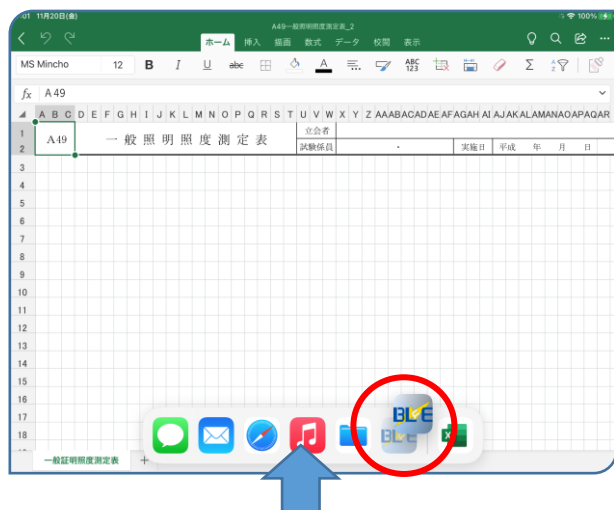
初回に限り、BLuEApp 起動後に利用規約が表示され、画面をタップすると、以下のような画面になります。利用規約内容を確認し、下までスクロールすると、「承諾」ボタンが押せるようになるので押してください。



③ BLuEApp の SplitView 起動

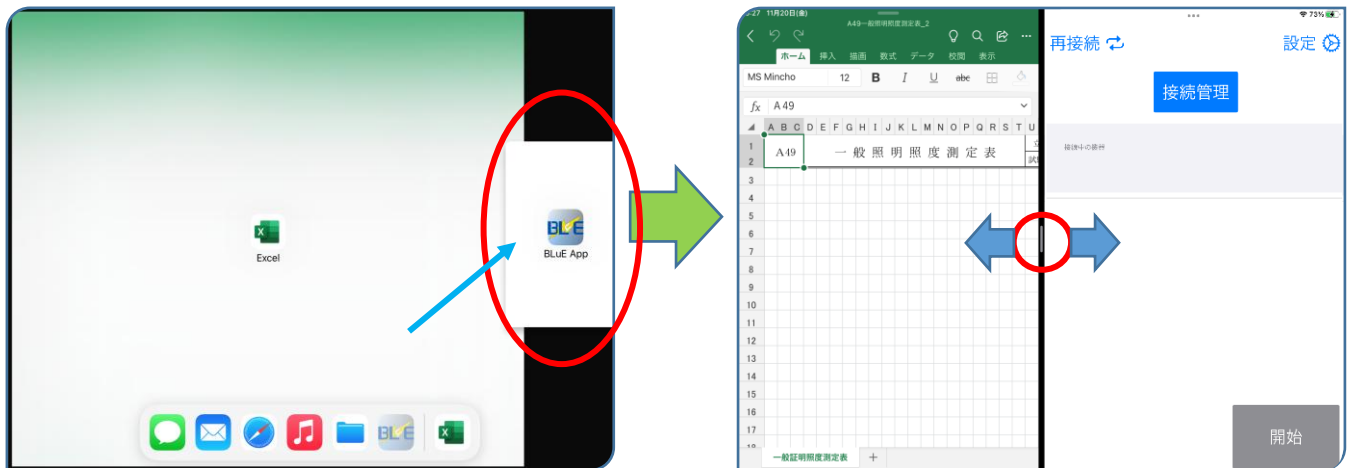
(ア) BLuEApp の SplitView 起動 1

ドック上の BLuEApp をロングタップし、ドラッグできる状態にします。



(イ) BLuEApp の SplitView 起動 2

ロングタップした状態から Excel の左右にドラッグし、指を離すと Excel の左右に BLuEApp が起動します。アプリの境界を左右にドラッグすることで、左右のアプリの境界を 1:1,2:1,1:2 のサイズに変更できます。



④ BLuEApp の SplitView/SlideOver 切替

SplitView の状態から BLuEApp の上部を下方方向にドラッグし、Excel 上で指を離すと、SlideOver の状態になります。

また、SlideOver の状態から同様に BLuEApp の上部を下方方向にドラッグし、Excel の左右で指を離すと、SplitView の状態になります。



10.1.4 Office アドインの挿入

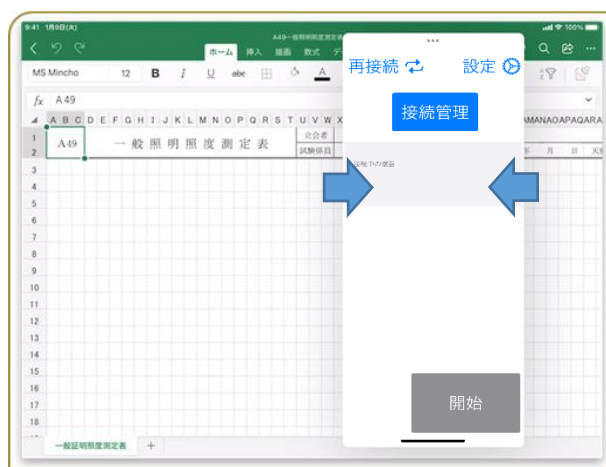
Excel の対象ファイルに測定値を入力できるようにするため、Office アドインを挿入します。

① BLuEApp の移動

SlideOver した BLuEApp は Excel の編集画面に重なるように表示されます。

BLuEApp の端をスワイプすることで、表示位置を移動させることができます。

また、右側の画面外に向かってスワイプすると、一時的に画面の外に移動させることもできます。画面右外に移動した BLuEApp を画面内に戻す場合、画面右端を画面内に向かってスワイプします。

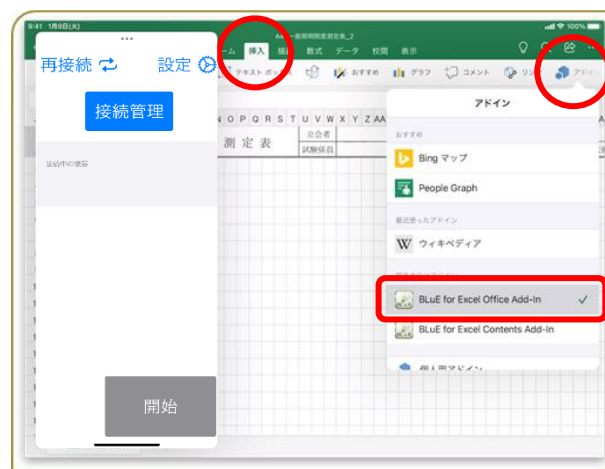


② Office アドインの挿入

Excel のメニューから挿入-アドインを選択し、「BLuE for Excel Office Add-In」を選択します。

注記

- ✧ アドインが表示されない場合、インストール手順書を参照し手順が完了しているか確認してください。
- ✧ BLuEApp によって Excel のメニューが隠れる場合、「①BLuEApp の移動」を参照し、BLuEApp を移動してください。
- ✧ 本手順を行う際に BLuEApp が画面上に表示されていないと、アドインエラーとなります。Excel・BLuEApp 両方が表示されていることを確認して、Office アドインの挿入をしてください。



10.1.5 BLuEApp と Excel を連携する

BLuEApp を前面に表示した状態で Office アドインの「連携」ボタンをタップすると、連携できます。

注記

- ✧ BLuEApp が前面に表示されている状態で Office アドインを含むファイルが開かれた場合、BLuEApp と Office アドインは連携します。
- ✧ ほかのアプリケーションを使用する、画面がロックされる、BLuEApp を画面外にスワイプするなどにより BLuEApp が前面に表示されない状態になった場合、BLuEApp と Office アドインの連携が解除されることがあります。
- ✧ 連携していない状態では、測定値を Excel に入力できません。



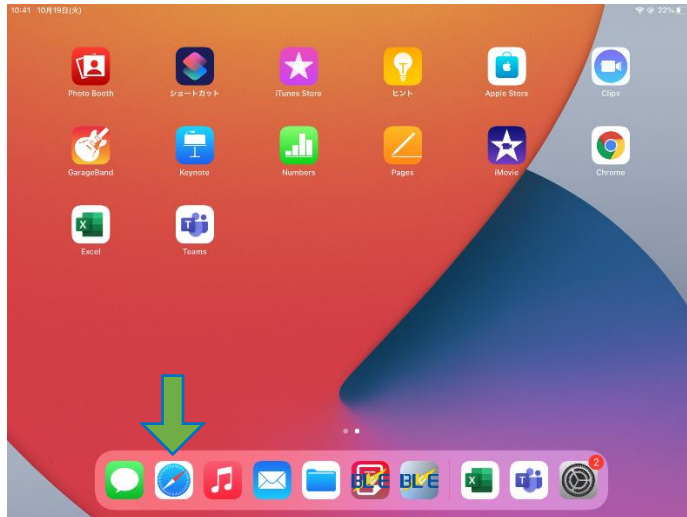
P.45 「11 接続/切断する」へ進んでください。

10.2 起動/連携する(Web 版 Excel)

10.2.1 Web 版 Excel の起動

(ア) Safari を起動する

アイコンをタップして起動します。



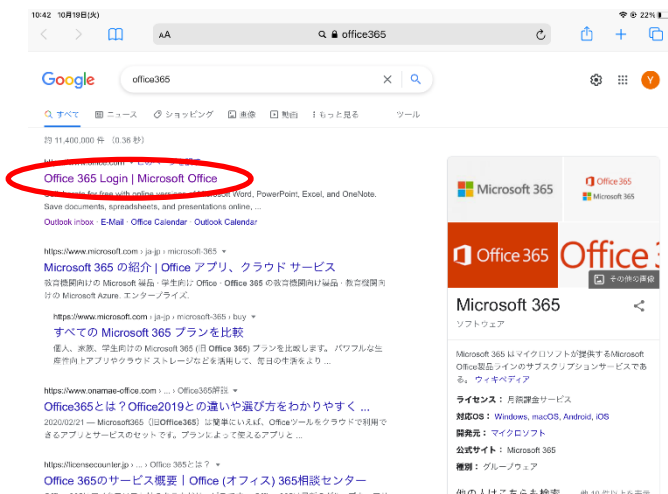
(イ) Office365 を検索する

起動した safari のアドレスフィールドに「office365」を入力して検索します。



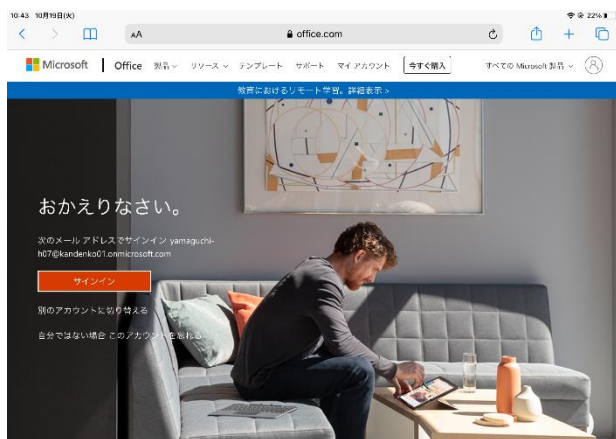
(ウ) Office365 を起動する

検索結果の「Office365 Login」を選択し、ログインします。



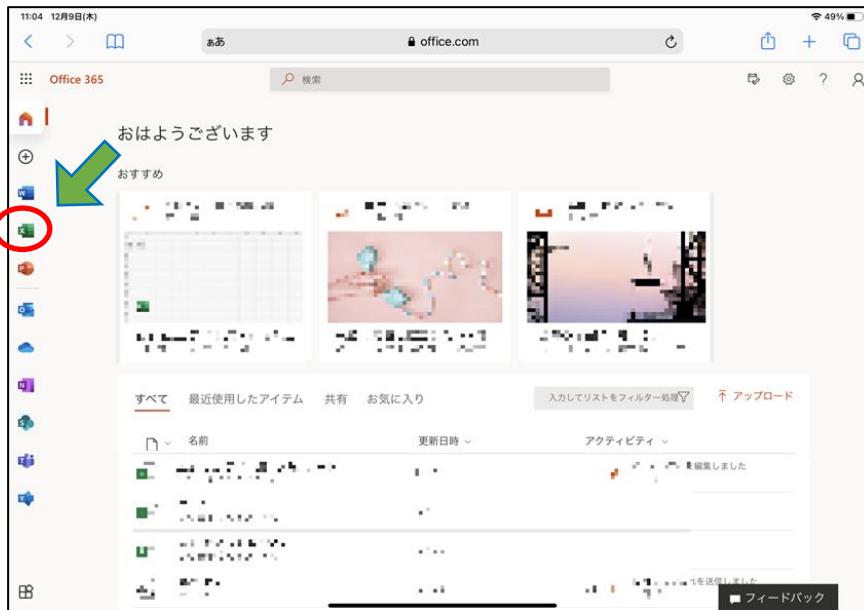
サインインしていない場合は、下記画面が表示されるので、サインインします。

サインイン済の場合は、次頁項番②（エ）の画面が表示されます。



(エ) Web 版 Excel の起動

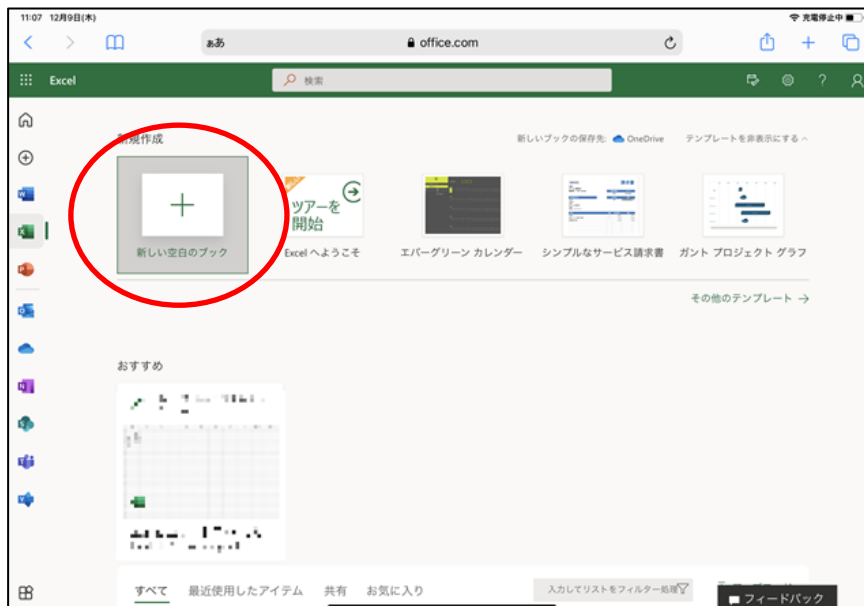
画面左のアイコンから Excel をタップして起動します。



(オ) フォーマットの選択

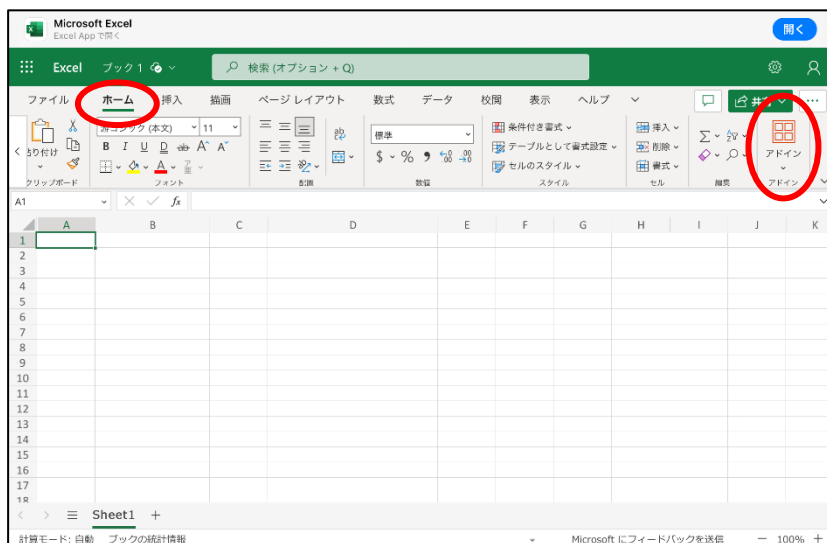
使用する Excel のフォーマットを選択します。

例として「新しい空白のブック」を選択します。



(カ) BLuE コマンドの生成

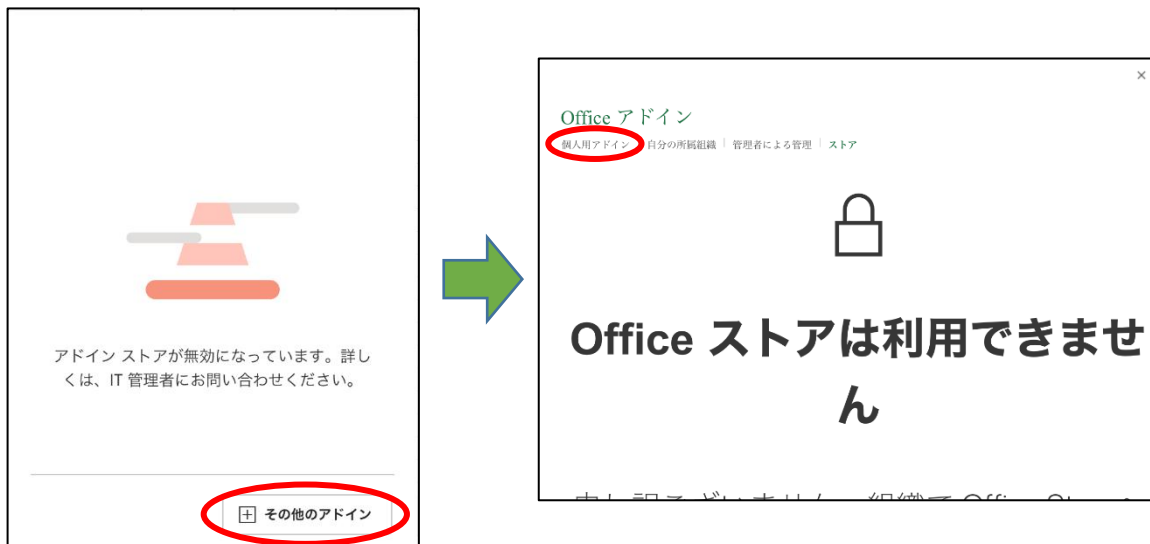
Excel リボンの「ホーム」を選択し、表示された「アドイン」を選択します。



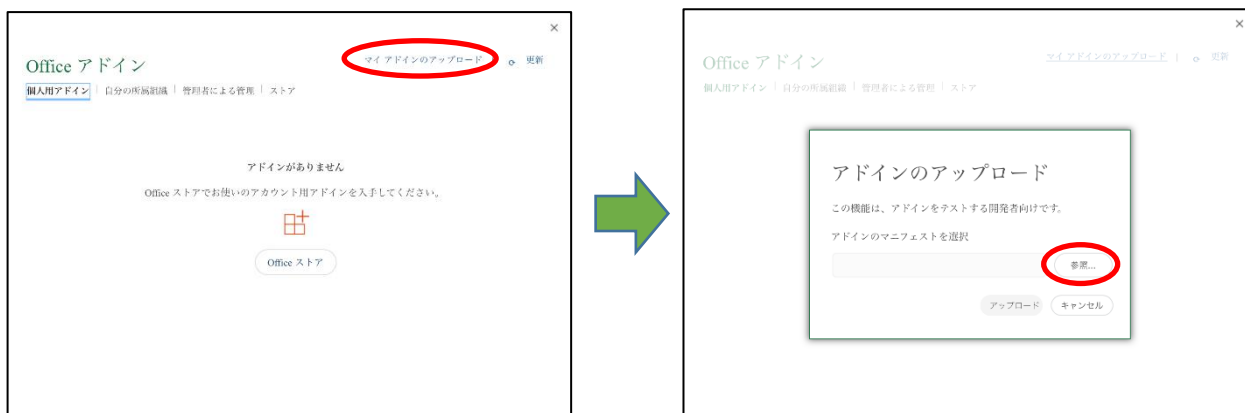
「ホーム」下の表示したメニューに「アドイン」が無い場合は、右にスクロールしアドインを選択します。



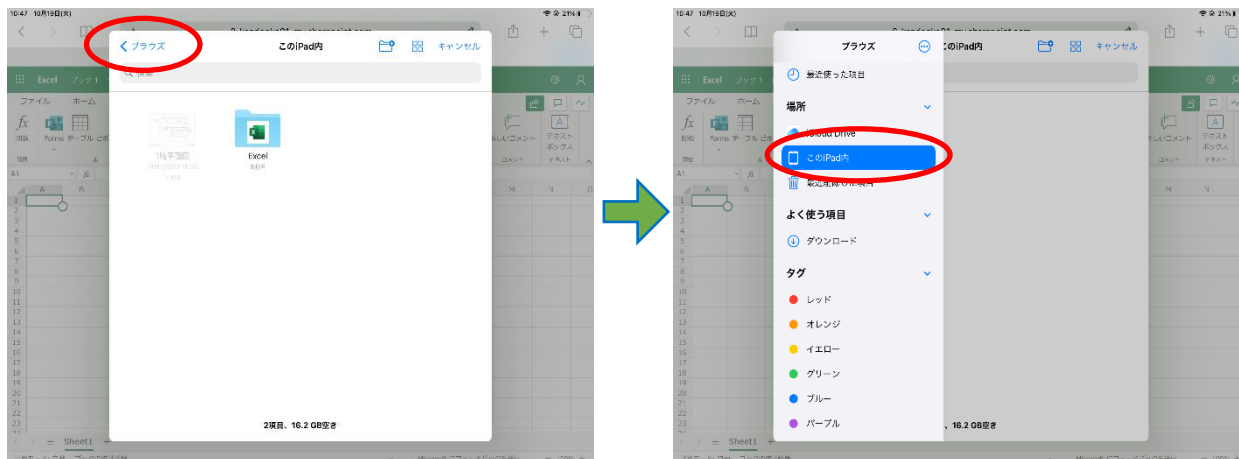
「アドインストアが無効になっています。詳しくは、IT 管理者にお問い合わせください。」の画面表示
右下の「田その他のアドイン」ボタンをタップします。「Office ストアは利用できません」と表示されま
すが、左上の「個人用アドイン」を選択します。



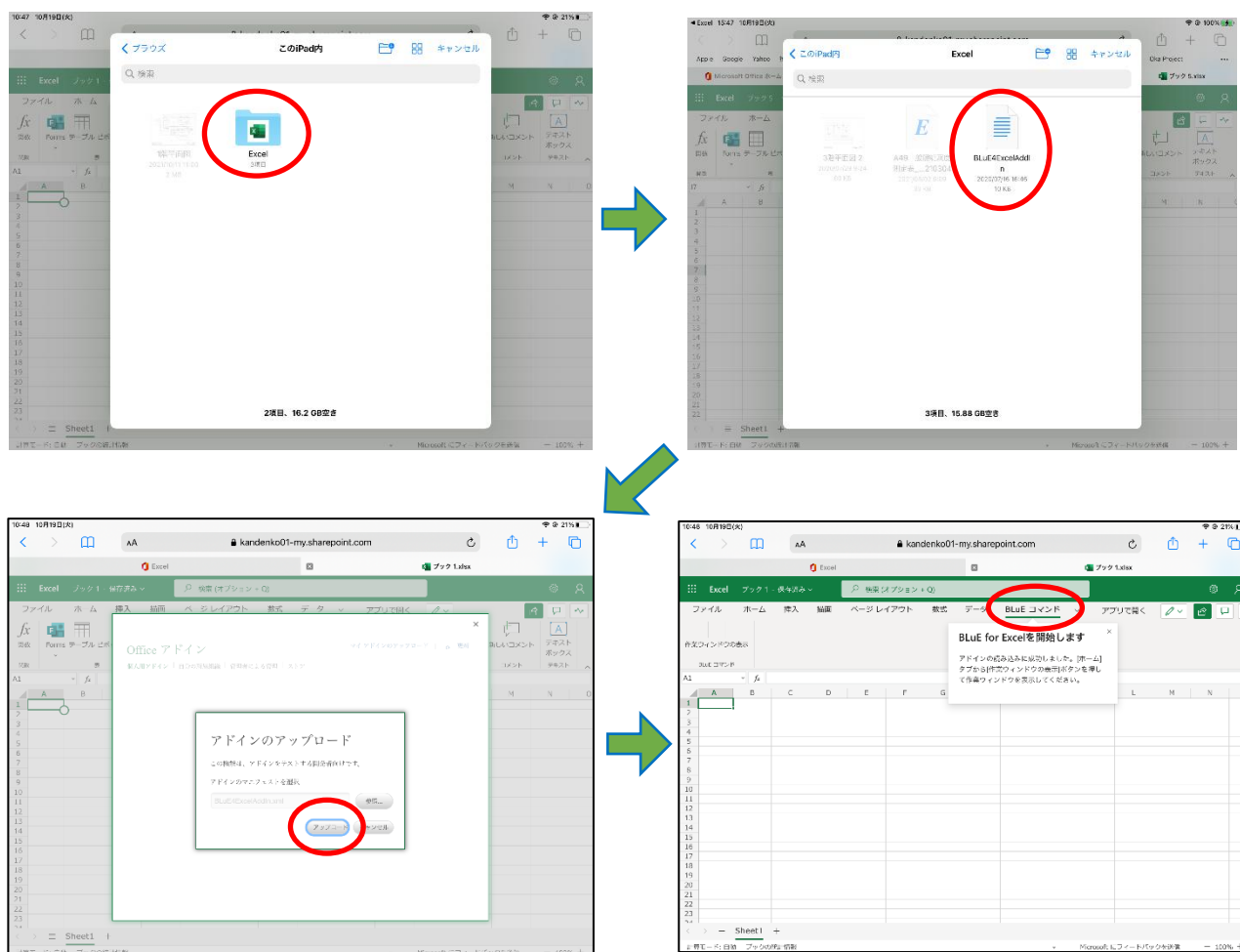
表示された Office アドイン画面の「マイアドインのアップロード」をタップし、
ダイアログポップアップの「参照」ボタンを押下します。



「ブラウズ」をタップ後、「この iPad 内」を選択します。



「Excel」を選択後、「BLuE4ExcelAddIn」を選択し、「アップロード」ボタンを押下すると、Excel のリボンに「BLuE コマンド」が追加されます。



Excel リボンの「BLuE コマンド」を選択後、「作業ウィンドウの表示」を押下すると、Excel 画面の右側に「BLuE for Excel Office Add-In」が表示され、連携中となっていれば利用できます。「連携中」となっていない場合は、「連携」ボタンを押下してください。

このとき BLuEApp が Excel の右側に表示されている場合、BLuEApp 上段の「…」を長押しした状態で、BLuEApp を左側に移動してください。



注記

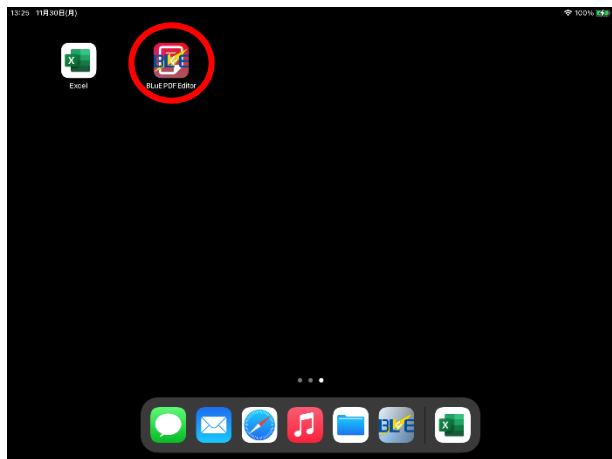
✧ BLuEApp の起動方法については、P.24「10.1.3 BLuEApp を起動する」をご確認ください。

P.45「11 接続/切断する」へ進んでください。

10.3 起動/連携する(PDFEditor)

10.3.1 PDFEditor の起動

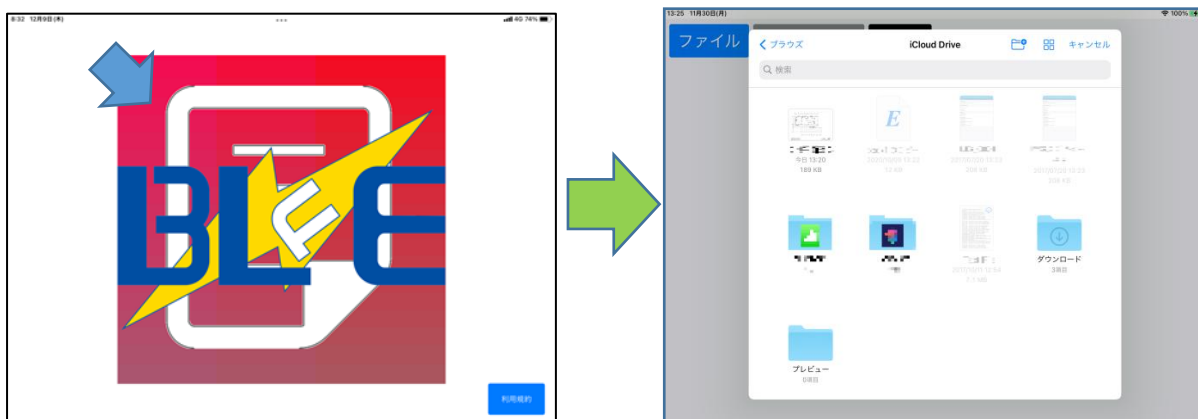
ホーム画面から PDFEditor のアイコンをタップします。



10.3.2 PDF 図面を読み込む

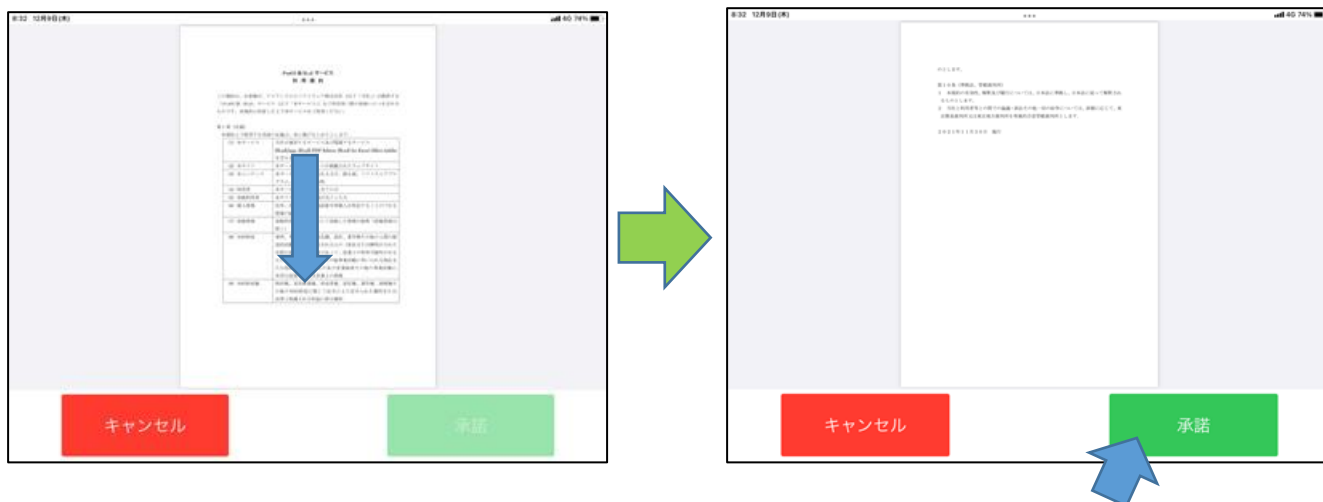
PDFEditor が起動すると、利用規約画面が表示されます。

任意の箇所をタップすると、メイン画面に移行し、システムが利用できるようになります。



【補足事項】

初回に限り、PDFEditor 起動後に利用規約が表示され、画面をタップすると、以下のような画面になります。利用規約内容を確認し、下までスクロールすると、「承諾」ボタンが押せるようになるので押してください。



PDFEditor では編集内容が自動で保存されます。編集元のファイルを保持したい場合、ファイル App などを用いてあらかじめコピーを作成してから測定を行ってください。

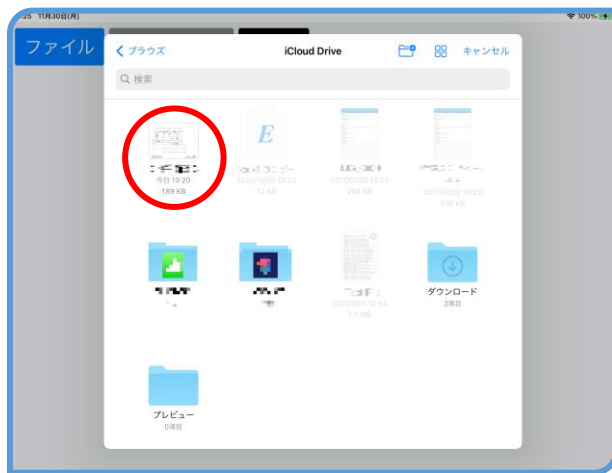
- ① これまで、クラウド上の PDF 図面を直接開いて使用すると、測定値が反映されないなど、動作が不安定になる恐れがありましたが、クラウド上に保存されている PDF 図面を直接開いて、測定・保存することが可能になりました。

注記

- ✧ 1 枚の図面に対して、複数人が同時に開いての測定は行わないでください。
データ反映が正しく行われない恐れがあります。
- ✧ クラウドの種類によっては、PDF 図面が読み取り専用となる恐れがあります。
読み取り専用になってしまう場合は、使用する PDF 図面を、あらかじめ iPad 内にデータをコピーしてご利用ください。
- ✧ PDF 図面のデータ容量が大きいと、図面を開く、拡大・縮小の操作等が遅くなり、また測定値がうまく反映できないことがあります。
その際は、PDF 図面を分割するなど、データを軽くしてご使用ください。

- ② ブラウズをタップすると任意の場所を選択できます。PDFEditor が参照可能なフォルダが表示されます。表示されていないフォルダは、PDFEditor から参照できないフォルダです。PDFEditor が参照可能なフォルダにファイルを配置してください。

③ 測定値を記録する PDF 図面を選択して開きます。

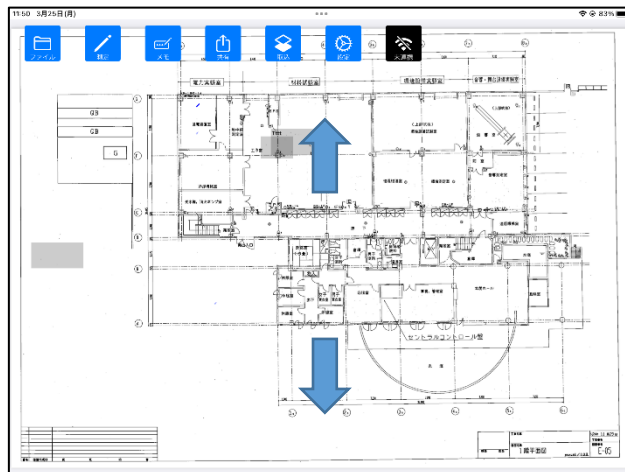


10.3.3 PDFEditor の基本操作

PDFEditor の基本操作を説明します。起動後にファイル選択を行うかキャンセルすると、左上に「ファイル」「測定」「メモ」「共有」「取込」「設定」「未連携（連携中）」のボタンのある画面が表示されます。この画面を以降メイン画面と称します。

① ページ送り

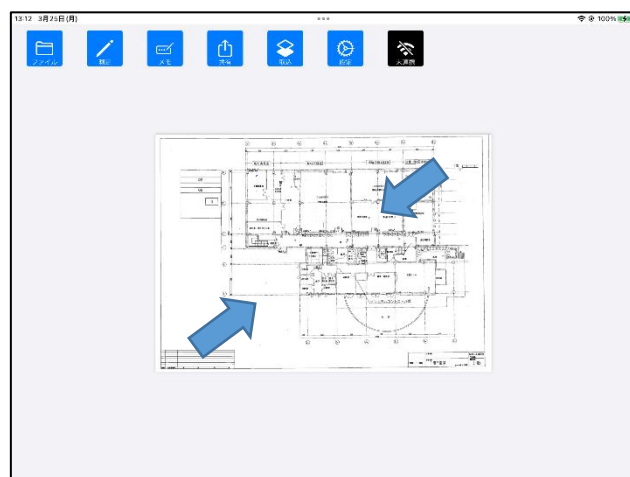
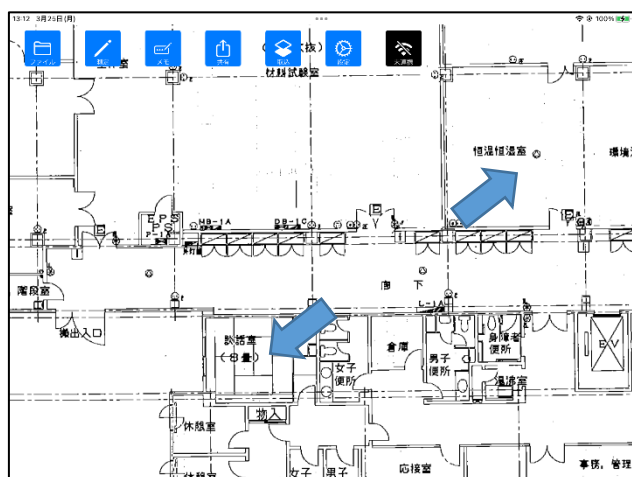
PDF 図面が複数ページある場合、画面を上下にスワイプすることでページを切り替えることができます。



② 拡大/縮小

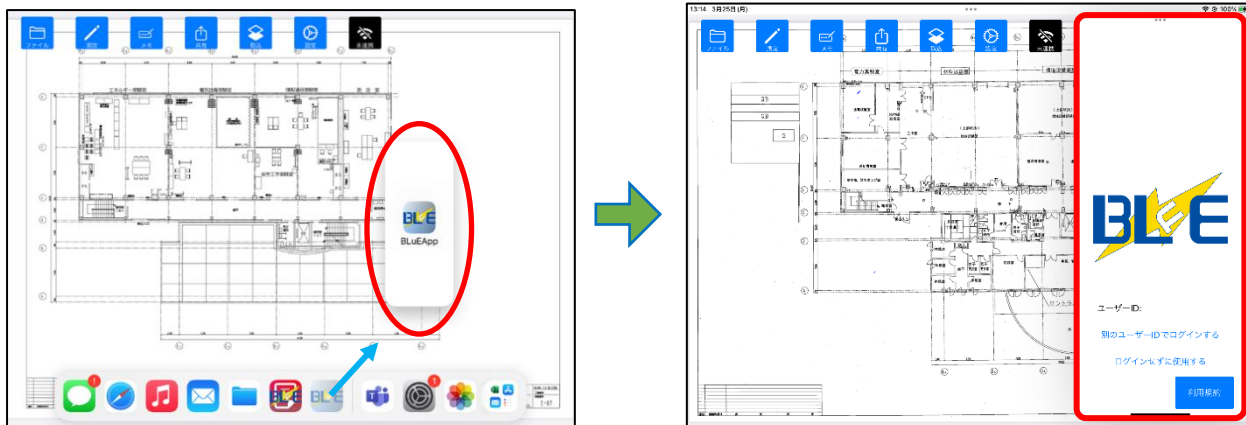
画面をピンチアウトすると表示が拡大します。ピンチインすると縮小します。

ダブルタップすると標準の倍率に戻ります。

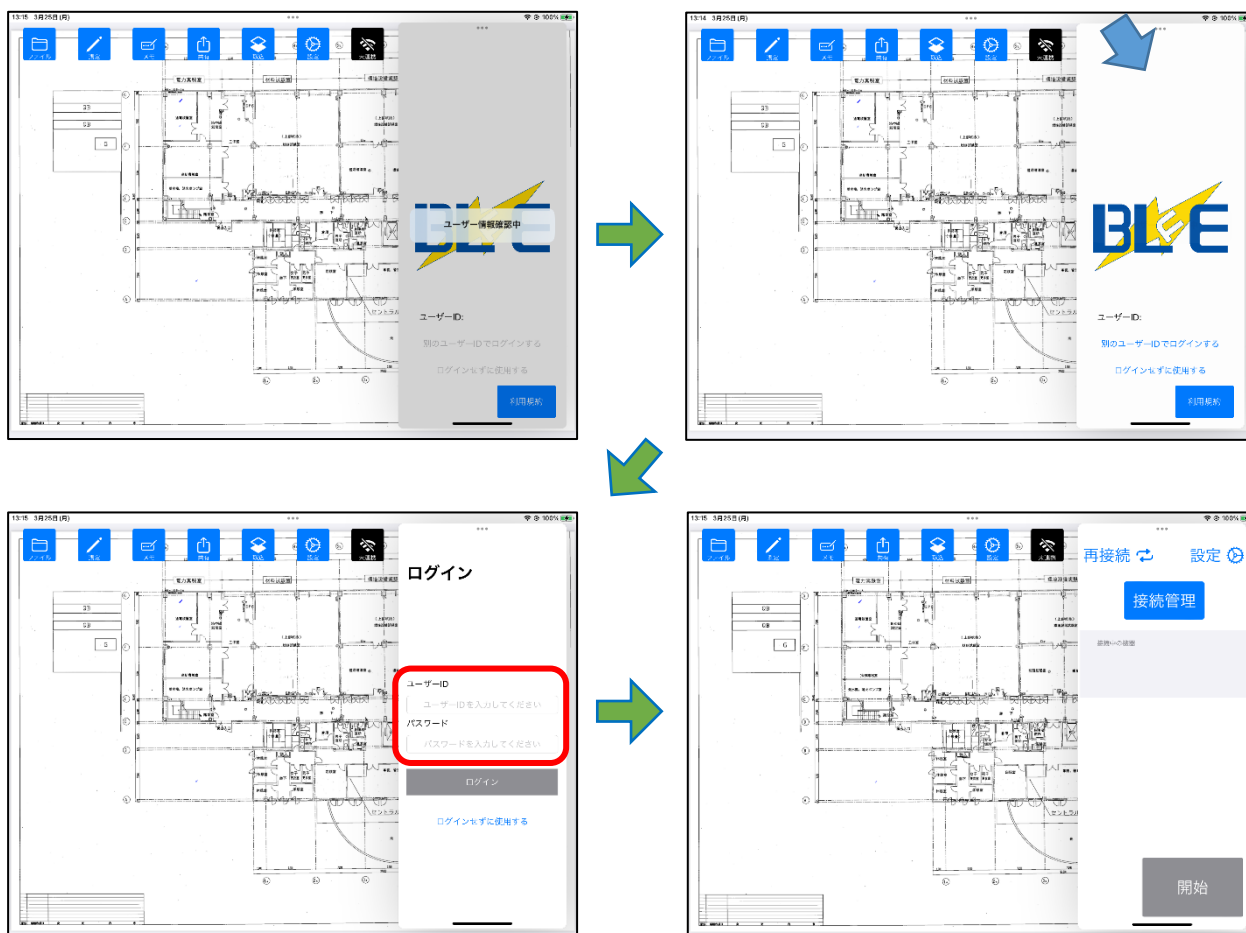


10.3.4 BLuEApp を起動する

ドック上の BLuEApp をロングタップしドラッグできる状態にし、
ドックから BLuE コントローラを PDFEditor 上にドラッグして起動します。



BLuEApp 起動後、「ユーザー情報確認中」のポップアップがでますが、2〜3 秒後には消えて、
ユーザ ID が入力できるようになります。任意の箇所をタップすると、ログイン画面に移行し、
「ユーザーID・パスワード」を入力するとシステムが利用できるようになります。

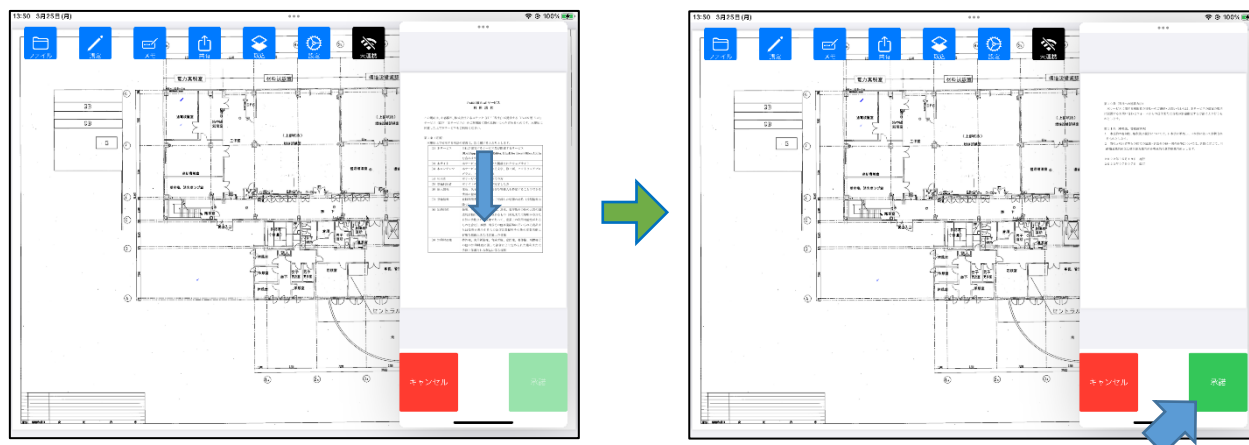


注記

✧ ログイン認証は初回限りとなります。

【補足事項】

初回に限り、BLuEApp 起動後に利用規約が表示され、画面をタップすると、以下のような画面になります。利用規約内容を確認し、下までスクロールすると、「承諾」ボタンが押せるようになるので押してください。

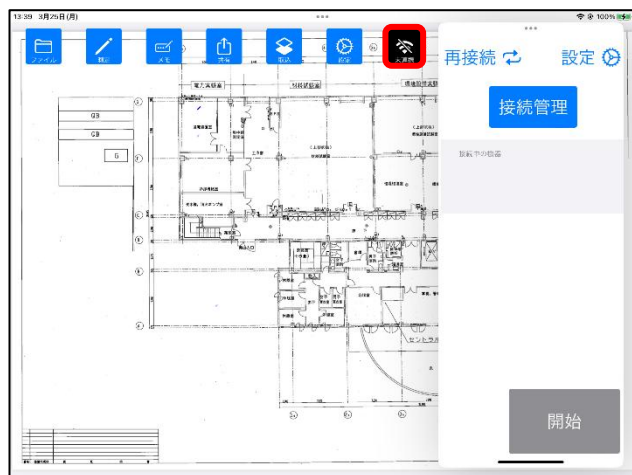


10.3.5 BLuEApp と PDFEditor を連携する

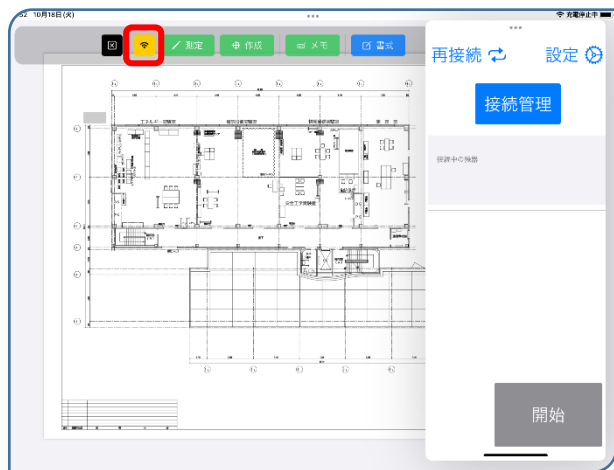
BLuEApp を前面に表示した状態で「未連携」ボタンをタップすると、「連携中」になります。

注記

- ✧ 他のアプリケーションを使用する、画面がロックされる、BLuEApp を画面外にスワイプするなどにより BLuEApp が前面に表示されなくなった場合、BLuEApp と PDFEditor の連携が解除されることがあります。
- ✧ 連携していない状態では、測定値を PDFEditor に入力できません。



後述の測定メニュー内でも連携できます。



P.45「11 接続/切断する」へ進んでください。

11 接続/切断する

11.1 測定器と接続する

測定器と BLuEApp を無線通信で接続します。

① 通常の接続

(ア) 接続対象機種一覧

BLuEApp の「接続管理」ボタンをタップし、接続対象機種一覧を表示します。

(イ) 測定器の機種選択

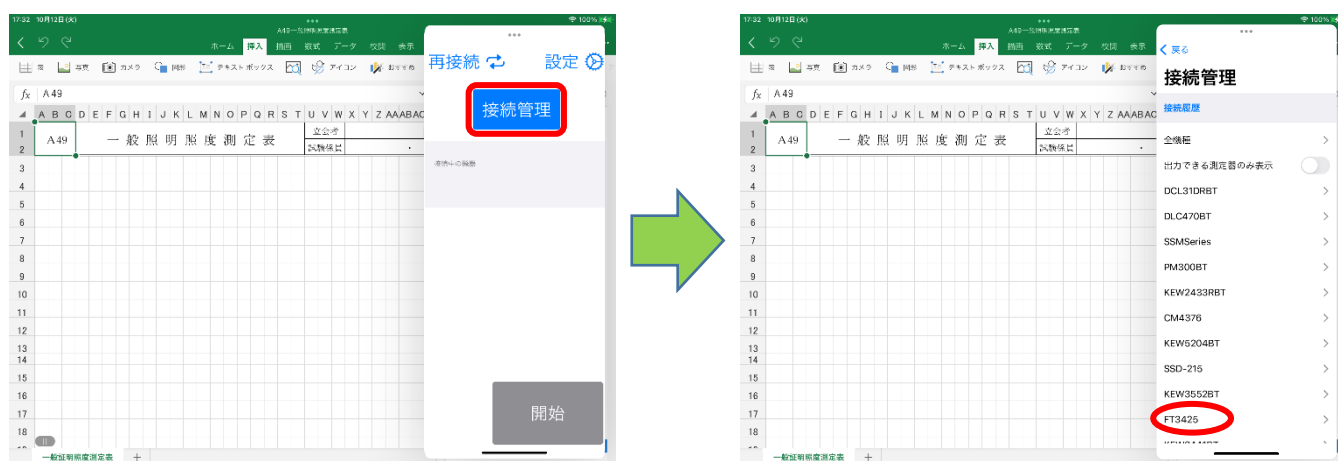
接続したい機種を選択します。

◇ 全機種を選択：測定できるすべての機種を周辺から探し出します。

◇ 個別の機種を選択：該当の機種を周辺から探し出します。

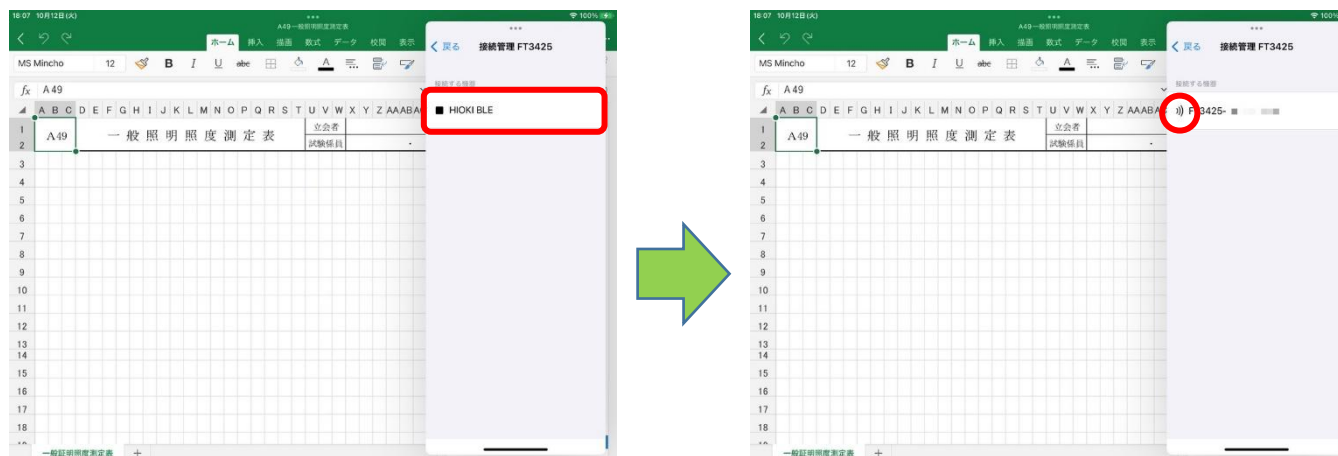
対象の測定器が見つかった場合「接続する機器」として表示します。

※各測定器の接続前/接続後の表記については、P.49・P.50 表 1 を参照してください。



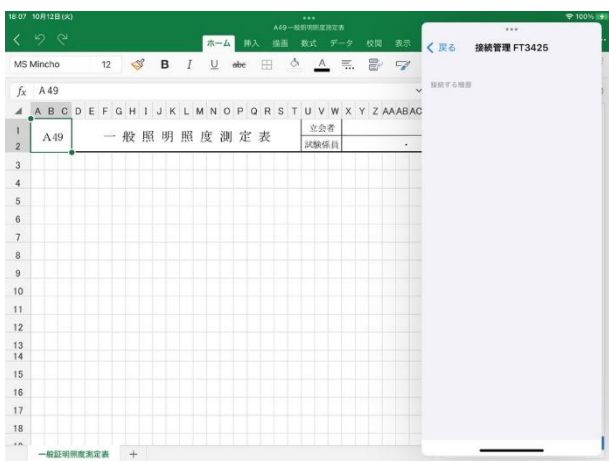
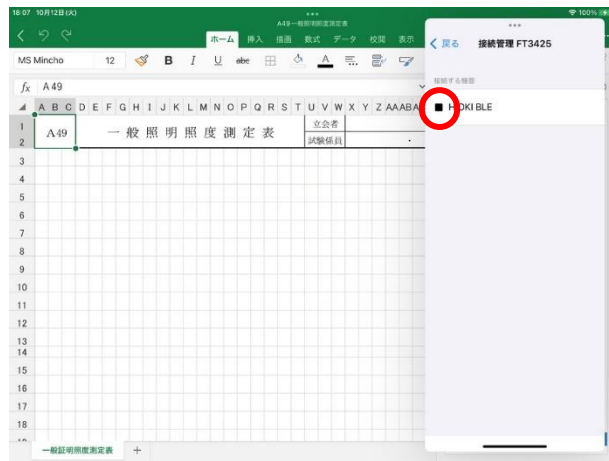
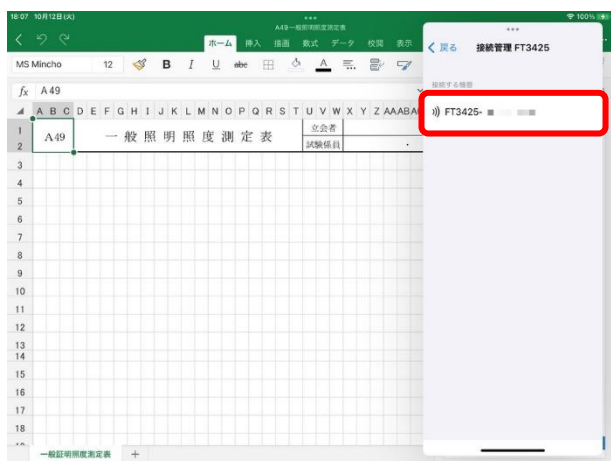
(ウ) 測定器の選択

見つかった測定器のうち測定したい測定器をタップします。対象の測定器と接続が完了すると左端のマークが「」に変わります。



(工) 測定器との切断

接続中の測定器をタップすると測定器との通信が切断されます。対象の測定器との切断が完了すると左端のマークが「 ■ 」に変わります。

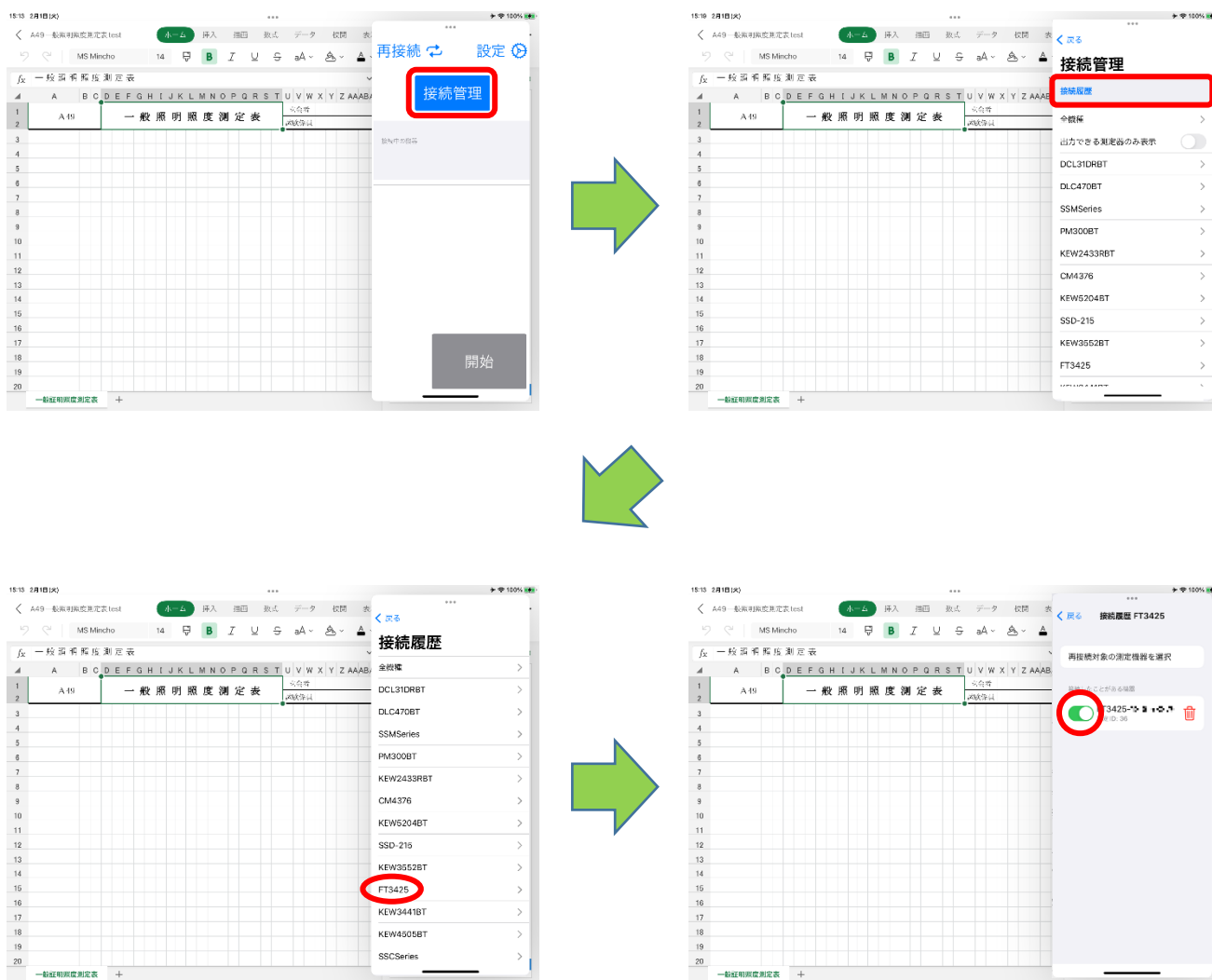


② 再接続

「11.1①通常の接続」で接続したことのある測定器の場合は、「(イ) 再接続ボタンによる再接続」の手順、または「P.66 14.1②起動時再接続」を有効にすることによって再接続できます。「(ア) 接続履歴確認」の手順で確認可能な「再接続対象トグル」が有効の測定器が再接続の対象となります。

(ア) 接続履歴確認

BLuEApp の「接続管理」ボタンをタップし機種選択画面を表示します。その後、「接続履歴」ボタンをタップします。全機種、または接続したい対象機種 of 行を選択します。その後、接続したい測定器の「再接続対象トグル」が有効になっていることを確認してください。(無効の場合は有効にしてください。)



(イ) 再接続ボタンによる再接続

メイン画面の「再接続」ボタンをタップしてください。対象の測定器との接続が完了すると、「接続中の機器」に測定器名が表示されます。



注記

- ◇ 起動時再接続を設定したい場合は、P.66「14.1②起動時再接続」を参照してください。
有効にすると BLuEApp 起動後に、再接続対象の測定器と自動で接続します。

BLuE に対応した測定器の検索時と接続時の表示は、以下のとおりです。

※「XXXX」は各測定器のシリアルNo

表1 各測定器の接続前/接続後の表記

型番	検索時	接続時	備考
AF101	AF101	AF101-XXXXXXXXX または、 AF101-serial missing	
AF102	AF102	AF102-XXXXXXXXX	
AF111	AF111	AF111-XXXXXXXXX または、 AF111-serial missing	
BT3554-50	Z3210V2.10:BT3554#XXXXXXXXX	BT3554-50-XXXXXXXXX	
CD-AXシリーズ	UWAVE-XXXXXXXXX または UWAVE-serial missing	UWAVE-XXXXXXXXX または UWAVE-serial missing	※ 1
CEM3-BT	CEM3-BT_XXXXXXXX_BLE	CEM3-BT_XXXXXXXX_BLE	
CM4371-50	Z3210V2.10:CM4371#XXXXXXXXX	CM4371-50-XXXXXXXXX	
CM4373-50	Z3210V2.10:CM4373#XXXXXXXXX	CM4373-50-XXXXXXXXX	
CM4375-50	Z3210V2.10:CM4375#XXXXXXXXX	CM4375-50-XXXXXXXXX	
CM4376	HIOKI BLE または CM4376#XXXXXXXXX	CM4376-XXXXXXXXX	
DCL31DRBT	DCL31DR_XXXXXXXXXXXX	DCL31DR_XXXXXXXXXXXX	
DDSシリーズ	DDSSeries-XXXXXXX	DDSSeries-XXXXXXX	
DTC-N-REV	DTC-N-REV-XXXXXXXXXXXX	DTC-N-REV-XXXXXXXXXXXX	※ 2
DLC470BT	DLC470BT_XXXXXXXXXXXX	DLC470BT_XXXXXXXXXXXX	
DT4261	Z3210V2.10:DT4261#XXXXXXXXX	DT4261-XXXXXXXXX	
FT3425	HIOKI BLE	FT3425-XXXXXXXXX	
FT6380-50	Z3210V2.10:FT6380#XXXXXXXXX	FT6380-50-XXXXXXXXX	
GAシリーズ	EDMI-TP V4_XXXX BLEまたは EDMI V4_XXXX BLE	OsakiEMSeries(XXXXX)	
GDCシリーズ	SKDG2	DTW-DG02	
IES-5000/5000R	IES-5000/5000R	IES-5000-XXXXXX または IES-5000R-XXXXXX	
IR4052-50/51	Z3210V2.10:IR4052#XXXXXXXXX	IR4052-50-XXXXXXXXX	
IR4055-11	HIOKI BLE または IR4055#XXXXXXXXX	IR4055-XXXXXXXXX	
ISA-101	ISA-101P	ISA-101-XXXXXXXXX	
ISA-111	ISA-111P	ISA-111-XXXXXXXXX	
KEW2433RBT	KEW2433RBT-XXXXXXX	KEW2433RBT-XXXXXXX	
KEW3441BT	KEW3441BT-XXXXXXX	KEW3441BT-XXXXXXX	
KEW3552BT	KEW3552BT-XXXXXXX	KEW3552BT-XXXXXXX	

型番	検索時	接続時	備考
KEW4105DLBT	Bluetooth 4.0は KEW4105DLBT-XXXXXXXX Bluetooth 5.0は KEW4105DLBT-XXXXXXXX	Bluetooth 4.0は KEW4105DLBT-XXXXXXXX Bluetooth 5.0は KEW4105DLBT-XXXXXXXX	
KEW4300BT	KEW4300BT-XXXXXXXX	KEW4300BT-XXXXXXXX	
KEW4500BT	KEW4500BT-XXXXXXXX	KEW4500BT-XXXXXXXX	
KEW4505BT	KEW4505BT-XXXXXXXX	KEW4505BT-XXXXXXXX	
KEW5204BT	KEW5204BT-XXXXXXXX	KEW5204BT-XXXXXXXX	
KEW6041BT	KEW6041BT-XXXXXXXX	KEW6041BT-XXXXXXXX	
KEW6514BT	KEW6514BT-XXXXXXXX	KEW6514BT-XXXXXXXX	
M-1140X/XR	M-1140X	M-1140X-XXXXXXXXXXXX	
M-1141X/XR	M-1141X	M-1141X-XXXXXXXXXXXX	
MCL-500IRVX	MCL-500IRVX	MCL-500IRVX-XXXXXXXXXXXX	
MCL-800DX/DXR	MCL-800DX	MCL-800DX-XXXXXXXXXXXX	
MDC-MXシリーズ	UWAVE-XXXXXXXXX または UWAVE-serial missing	UWAVE-XXXXXXXXX または UWAVE-serial missing	※ 1
MET-10X	MET-10X	MET-10X-XXXXXXXXXXXX	
NLシリーズ	NLSeries	NLSeries-XXXXXXXXXXXX	
PD3259-50	Z3210V2.10:PD3259#XXXXXXXX	PD3259-50-XXXXXXXX	
PM300BT	PM300BT-XXXXXXXXXXXX	PM300BT-XXXXXXXXXXXX	
SK-110TRH-B	SK-110TRH-B-XXXXXX	SK-110TRH-B-XXXXXX	
SK-270WP-B	SK-270WP-B-XXXXXX	SK-270WP-B-XXXXXX	
SSC Series	SY295	SSC Series(SY295)	
SSI Series	SY289 SY303	SSI Series-XXXXXXXX	
SSL Series	SY308	SSL Series-XXXXXXXX	
SSM Series	SY276	SSM Series(SY276)	
TKR12M	REXmiru_TCXXXXXX	TKR12M-TCXXXXXX	
TKR12P	REXmiru_RCXXXXXX	TKR12P-RCXXXXXX	
6006-BT	6006-BT XXXXXX	6006-BT XXXXXX	
斜メーター	Kpitch-AX-000000000000 ※「000000000000」はBluetoothの 通信ナンバーを表示しています。	Kpitch-AX-XX-X-XXXXXXX	

※1 CD-AXシリーズ・MDCシリーズ BLuEと接続する際の注意事項

CD-AXシリーズ・MDCシリーズの測定器とBLuEを接続する場合、以下の手順に沿って実施してください。

- ① BLuEApp 右上の「設定」を押下する。



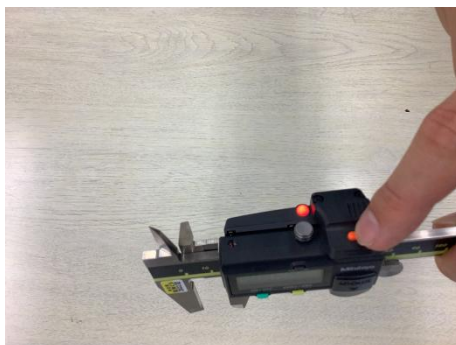
- ② 「MitutoyoSeries」を選択する。



③ 優先測定器のプルダウンを選択し、「MitutoyoSeries」を押下する。



④ 測定器の電源を ON にし、「DATA」ボタンを押下すると、ランプがオレンジ色に発光・点滅する。



⑤ BLuE と測定器を接続する。

接続が完了すると、オレンジ色に発光・点滅していた部分が、緑色に発光・点滅する。

注記

✧ Bluetooth アダプタ「U-WAVE-TCB」を使用する測定器と接続する際の注意事項

測定器本体に接続している Bluetooth アダプタは、1 台に 1 つを用意し、基本的に他の測定器と使いまわしを行わずに利用してください。

同じ Bluetooth アダプタを他の測定器と使いまわす場合は、事前に接続履歴を削除してください。履歴削除の操作については、P.109 を参照してください。

※2 DTC-N-REV BLuEと接続する際の注意事項

DTC-N-REV の測定器と BLuE を接続する場合、以下の手順に沿って実施してください。

- ① BLuEApp 右上の「設定」を押下する。



- ② 「DTC-N-REV」を選択する。



③ 優先測定器のプルダウンを選択し、「DTC-N-REV」を押下する。



④ 測定器の電源を ON にし、「SET/EXT」キーを押下すると、ランプがオレンジ色に発光・点滅する。



⑤ BLuE と測定器を接続する。

接続が完了すると、オレンジ色に発光・点滅していた部分が、消える。

注記

✧ Bluetooth アダプタ「U-WAVE-TCB」を使用する測定器と接続する際の注意事項

測定器本体に接続している Bluetooth アダプタは、1 台に 1 つを用意し、基本的に他の測定器と使いまわしを行わずに利用してください。

同じ Bluetooth アダプタを他の測定器と使いまわす場合は、事前に接続履歴を削除してください。履歴削除の操作については、P.109 を参照してください。

12 測定する

Excel を利用される方は P.55 12.1 測定を行う(Excel)へ、

PDFEditor を利用される方は P.61 12.2 測定を行う(PDFEditor)へ それぞれ進んでください。

12.1 測定を行う(Excel)

測定器の操作については、測定器のマニュアルを参照してください。ここでは測定器の種類に限らず共通の操作について説明します。

① 測定対象の選択

接続中の機器に表示されているトグルを有効にすると、測定対象になります。

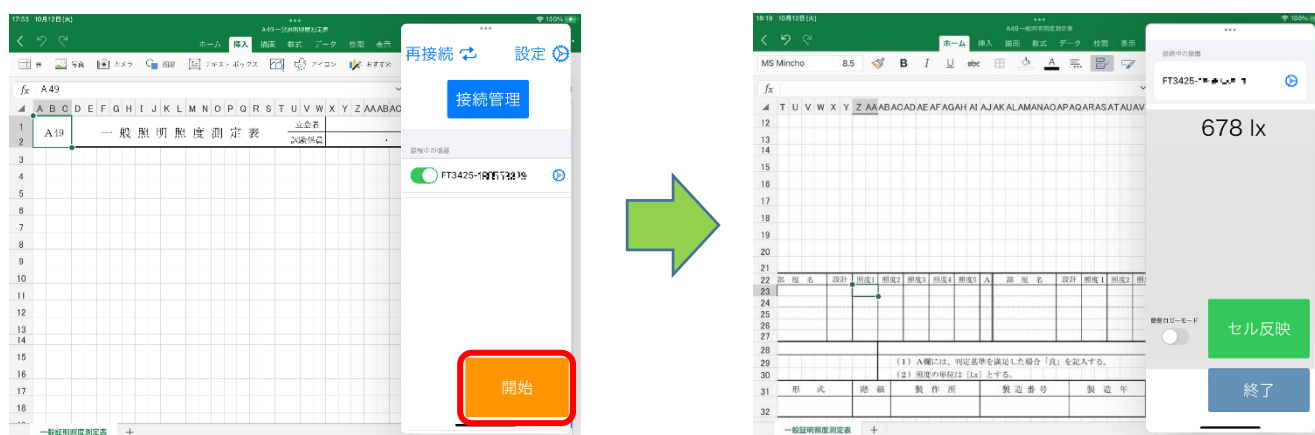
注記

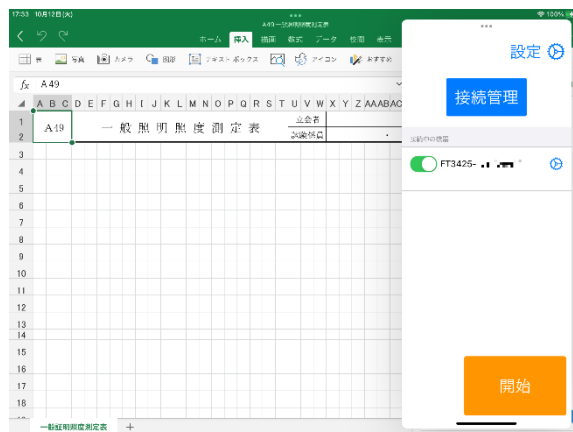
- ✧ 測定対象トグルがどれも有効になっていないと、測定できません。
- ✧ 一度に測定できる測定器は1つまでです。



② 測定値取得の開始

BLuEApp の「開始」ボタンをタップすると、測定を開始します。



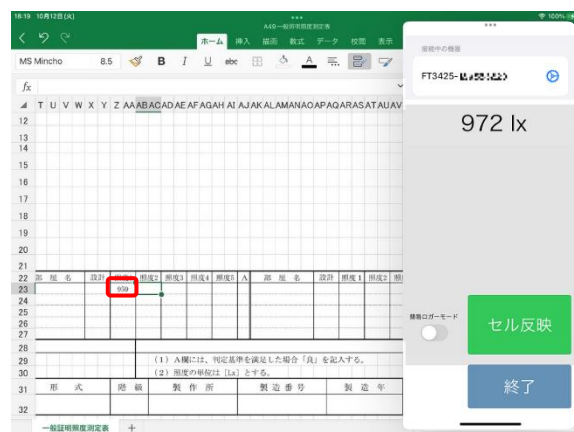
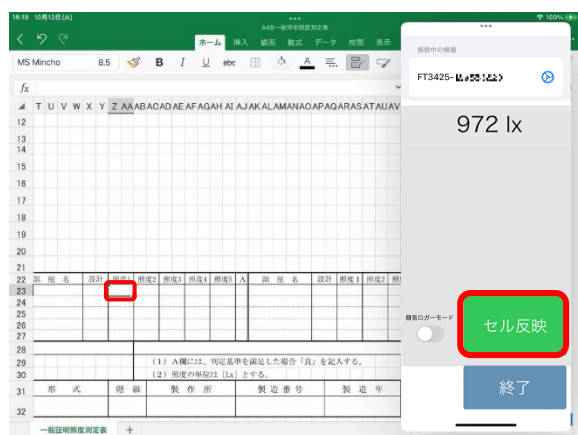


③ Excel に測定値を反映する

入力方法は、以下の通りになります。

「セル反映ボタン」を押して入力する手順（例：FT3425 の場合）

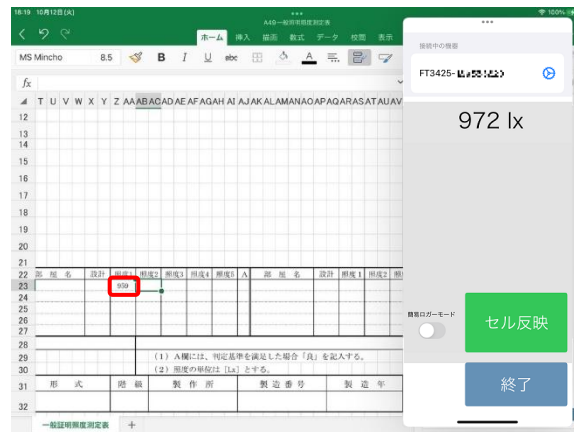
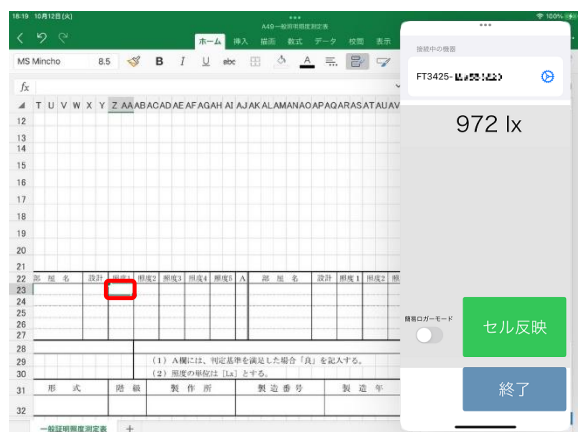
入力したいセルをタップし、BLuEApp の「セル反映」ボタンをタップすると、選択したセルに測定値が入ります。



「測定器本体の操作」を行って入力する手順（例：FT3425 の場合）

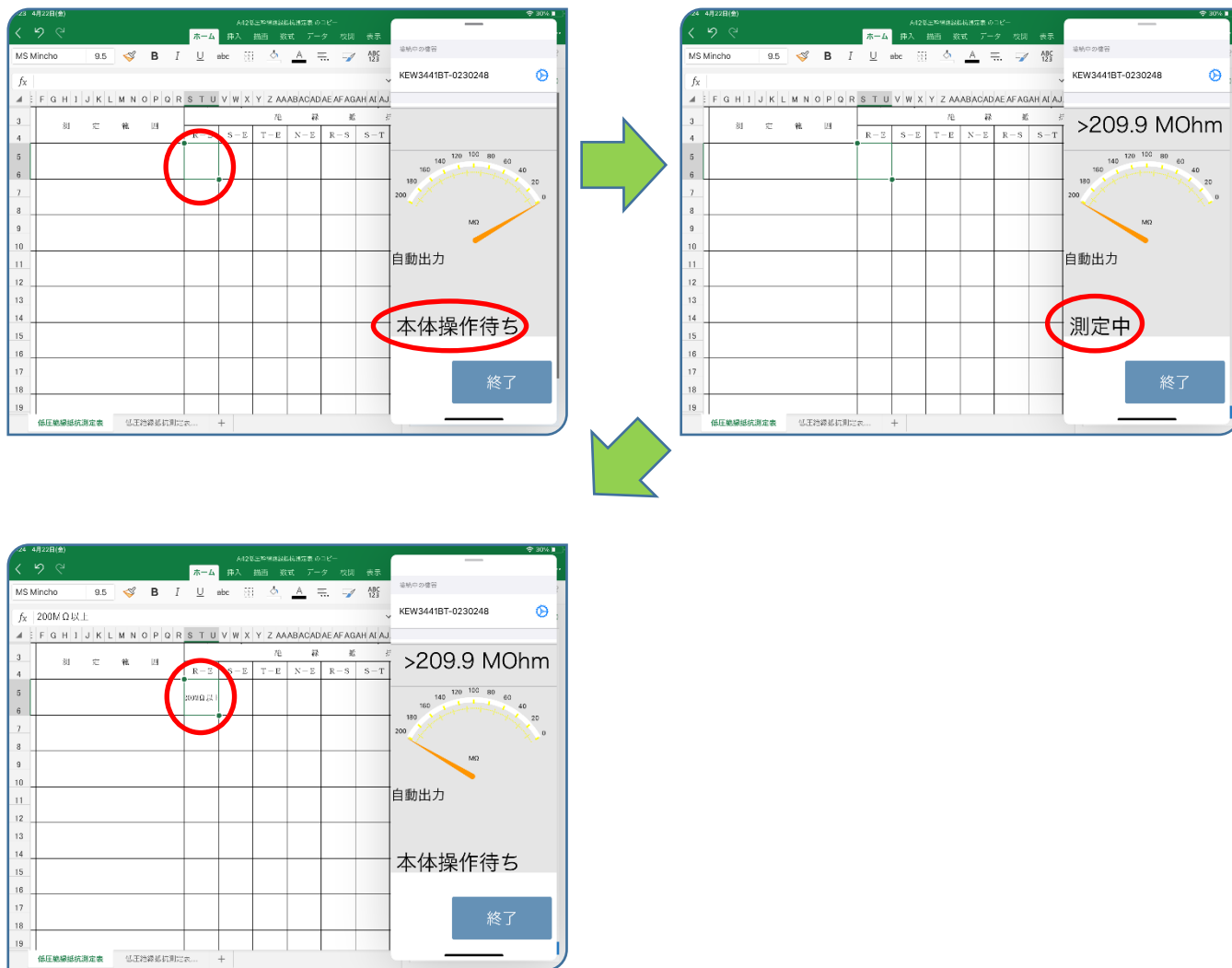
事前に本体操作による入力機能を有効にし、入力したいセルをタップし、測定器本体の「HOLD」ボタンを押すと、選択したセルに測定値が入ります。

設定方法については、P.69「14.1⑤測定器本体のボタン押下時出力」を参照してください。



「測定器本体の操作」を行って入力する手順（例：KEW3441BT の場合）

入力したいセルをタップし、測定器本体の印加ボタン(橙ボタン)を長押し、離すと同時に選択したセルに測定値が入ります。



注記

- ◇ 測定器によって、入力方法・操作するボタンが異なります。
- 詳細については、表 2 各測定器の測定値入力方法を参照してください。

表 2 各測定器の測定値入力方法

型番	セル反映ボタンを 押して入力	測定器本体のボタンを押して入力(※1)	
AF101	○	○	プローブボタン (※2)
AF102	○	—	—
AF111	○	○	プローブボタン (※2)
BT3554-50	○	○	HOLD ボタン (※2)
CD-AX シリーズ	○	○	DATA ボタン (※2)
CEM3-BT	○	○	MEM キー (※2)
CM4371/CM4373/ CM4375	○	○	HOLD ボタン (※2)
CM4376	○	○	HOLD ボタン (※2)
DCL31DRBT	○	○	HOLD ボタン (※2)
DDS シリーズ	○	—	—
DLC470BT	○	○	HOLD ボタン (※2)
DTC-N-REV	○(※3)	○	SET/EXT キー
DT4261	○	○	HOLD ボタン (※2)
FT3425	○	○	HOLD ボタン (※2)
FT6380	○	○	HOLD ボタン (※2)
GA シリーズ	○	—	—
GDC シリーズ	○(※3)	—	—
IES-5000/5000R	○	—	—
IR4052	○(※3)	○	MEASURE キー
IR4055	○(※3)	○	MEASURE キー

型番	セル反映ボタンを 押して入力	測定器本体のボタンを押して入力(※1)	
ISA-101	○	○	プローブボタン (※2)
ISA-111	○	○	プローブボタン (※2)
KEW2433RBT	○	○	DH ボタン (※2)
KEW3441BT	○(※3)	○	測定ボタン
KEW3552BT	○(※3)	○	測定ボタン
KEW4105DLBT	○	○	TEST ボタン (※2)
KEW4300BT	○(※3)	○	測定ボタン
KEW4500BT	○(※3)	○	測定ボタン
KEW4505BT	○(※3)	○	測定ボタン
KEW5204BT	○	○	HOLD ボタン (※2)
KEW6041BT	○(※3)	○	測定ボタン
KEW6514BT	○(※3)	○	測定スイッチ
M-1140X/XR	○	○	Bluetooth ボタン (※2)
M-1141X/XR	○	○	Bluetooth ボタン (※2)
MCL-500IRVX	○	○	D・HOLD スイッチ (※2)
MCL800DX/DXR	○	○	Bluetooth ボタン (※2)
MDC-MX シリーズ	○	○	DATA ボタン (※2)
MET-10X	○	—	—
NL シリーズ	○	○	PAUSE/CONT キー (※2)
PD3259	○	○	HOLD ボタン (※2)

型番	セル反映ボタンを 押して入力	測定器本体のボタンを押して入力(※1)	
PM300BT	○	○	HOLD ボタン (※2)
SK-110TRH-B	○	—	—
SK-270WP-B	○	—	—
SSC-650/750/850	○	○	DATA ボタン (※2)
SSCD-150/150S	○	○	→ボタン (※2)
SSD-215	○	○	→ボタン (※2)
SSI550/560/570/580	○	○	→ボタン (※2)
SSL250-260	○	○	→ボタン (※2)
SSM-750/850	○	○	SET ボタン (※2)
SSS-540/550	○	○	→ボタン (※2)
TKR12M	○	—	—
TKR12P	○	—	—
6006-BT	○	○	電源/機能スイッチ (※2)
斜メーター	○	—	—

※1 ボタン配置・形状等の詳細については、各測定器のマニュアルを参照してください。

※2 設定することで、測定値を出力できます。

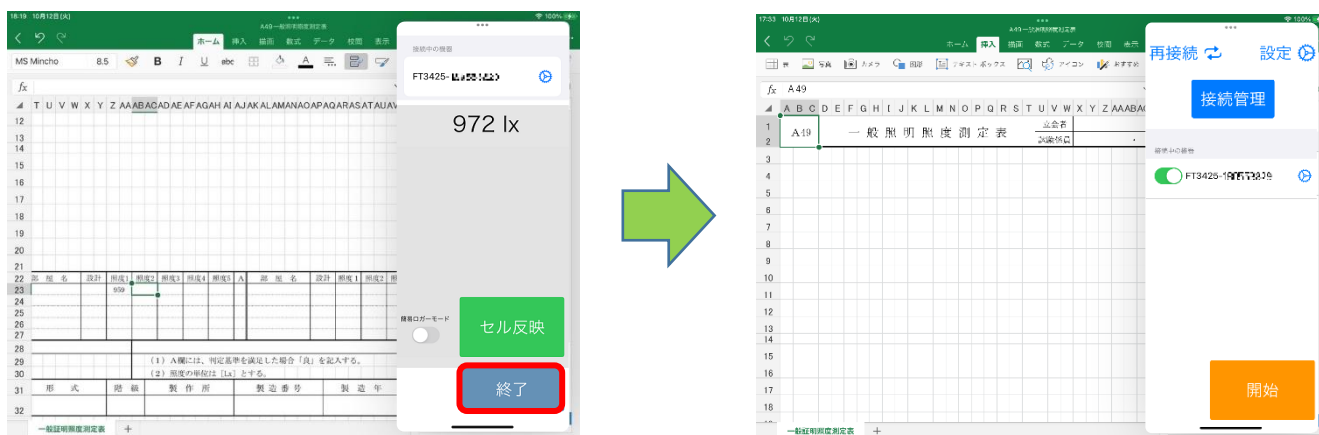
設定方法については、P.69「14.1⑤測定器本体のボタン押下時出力」を参照してください。

※3 「手動出力」「測定中出力」時のみ、測定値を入力できます。

設定方法については、P.69「14.1⑥反映方法」を参照してください。

④ 測定値取得の終了

「終了」ボタンをタップすると測定開始前の画面に戻ります。



12.2 測定を行う(PDFEditor)

測定器の操作については、測定器のマニュアルを参照してください。ここでは測定器の種類に限らず共通の操作について説明します。

① 測定対象の選択

接続中の機器に表示されているトグルを有効にすると、測定対象になります。

注記

- ✧ 測定対象トグルがどれも有効になっていないと、測定できません。
- ✧ 一度に測定できる測定器は1つまでです。



② 測定値取得の開始

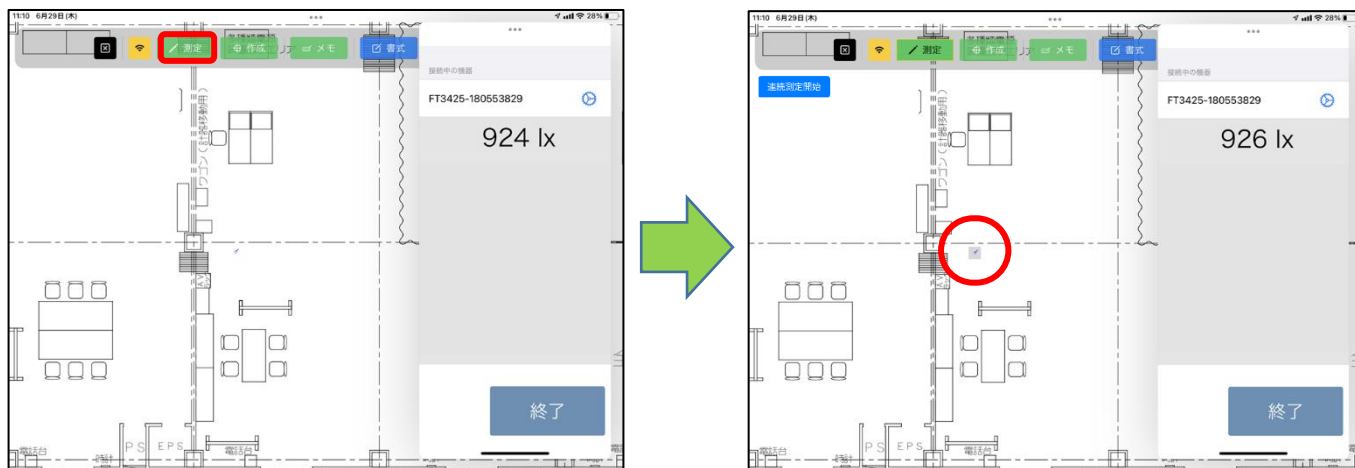
BLuEApp の「開始」ボタンをタップすると測定を開始します。



③ 測定モードを有効にする

「測定」ボタンをタップすると測定モードになります。

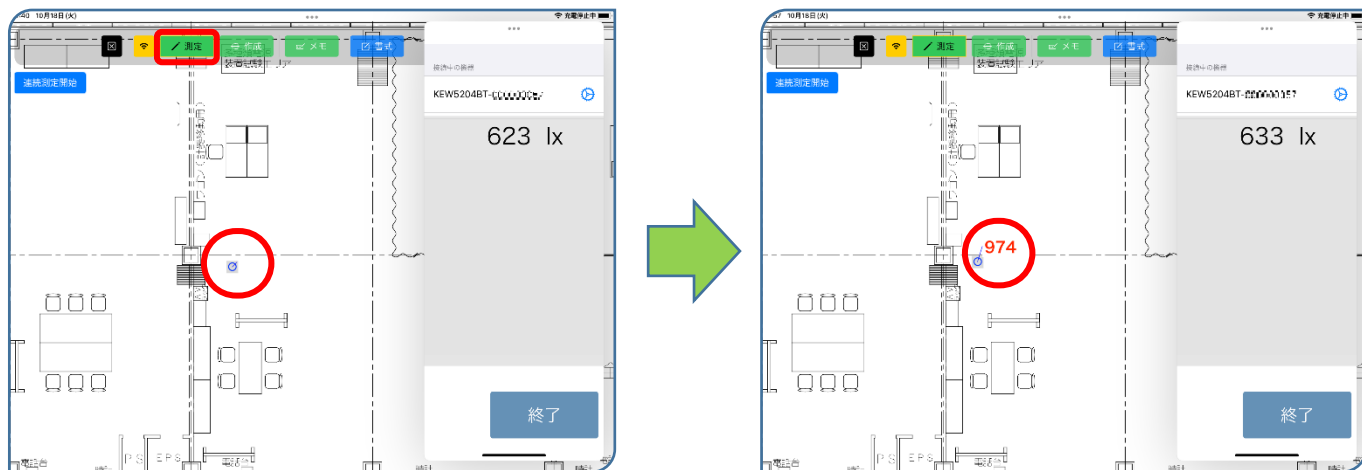
測定モードになると、作成した測定ポイントがハッチングされます。



入力方法は、以下の通りになります。

測定ポイントをタップ後、測定値が入力される手順（例：FT3425 の場合）

入力したい測定ポイントをタップすると、測定値が入ります。



測定ポイントをタップ後、「測定器本体の操作」を行って入力する手順（例：FT3425 の場合）

事前に本体操作による入力機能を有効にし、入力したい測定ポイントをタップすると、「測定中」のダイアログが表示されます。測定器本体の「HOLD」ボタンを押すと、測定値が入ります。

設定方法については、P.69「14.1⑤測定器本体のボタン押下時出力」を参照してください。



測定ポイントをタップ後、「測定器本体の操作」を行って入力する手順（例：KEW3441BT の場合）

入力したい測定ポイントをタップすると、「測定中」のダイアログが表示されます。測定器本体の印加ボタン(橙ボタン)を長押し、離すと同時に測定値が入ります。



注記

- ✧ 測定器によって、入力方法・操作するボタンが異なります。
詳細については、P.58「表 2 各測定器の測定値入力方法」を参照してください。

④ 測定値取得の終了

「終了」ボタンをタップすると測定開始前の画面に戻ります。



13 終了する

13.1 試験記録表・図面を保存する

Excel・PDFEditor では自動保存されるので保存の操作は必要ありません。

13.2 BLuEApp を終了する

SlideOver の状態から BLuEApp の下部を上方向にドラッグすると、アプリケーションの選択画面になるので、上方向にスワイプすると、BLuEApp が終了します。Excel・PDFEditor は「ホームボタン」を 2 回押し、上方向にスワイプすると終了します。



14 その他

14.1 BLuEApp の設定

各種の設定ができます。

① 接続時自動遷移

(ア) 有効の場合

接続管理画面で BLuEApp と測定器を接続すると、メイン画面へ自動遷移します。

(イ) 無効の場合

接続管理画面で BLuEApp と測定器を接続しても、メイン画面へ自動遷移しません。BLuEApp 画面上部の戻るをタップして、メイン画面へ遷移してください。

② 起動時再接続

(ア) 有効の場合

BLuEApp 起動後タイトル画面の BLuE のロゴをタップすると、自動で再接続対象に設定した測定器と接続します。

(イ) 無効の場合

BLuEApp 起動後タイトル画面の BLuE のロゴをタップしても、自動で再接続対象に設定した測定器と接続しません。

③ 起動するアプリケーション

入力先アプリケーションをボタン操作 1 つで起動できます。

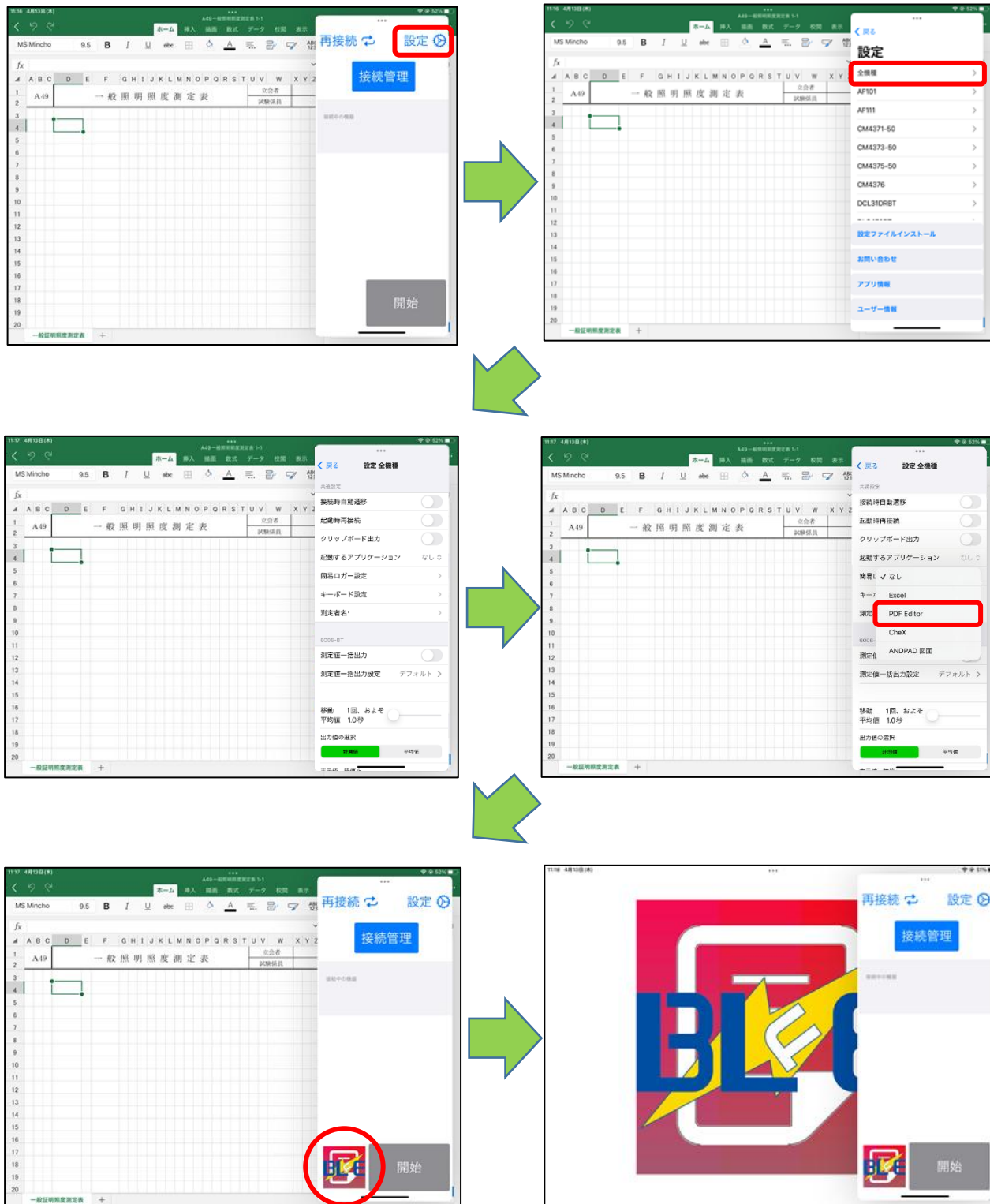
対象のアプリケーションは以下の通りです。

- ◆ Microsoft Excel®
- ◆ BLuE PDF Editor
- ◆ Chex®
- ◆ ANDPAD 図面

初期設定では「なし」の設定になっています。



BLuEApp から他入力先アプリケーションを起動することができます。起動するためには該当の入力先アプリケーションがすでにインストールされている必要があります。該当の入力先アプリケーションがインストールされていない場合、ボタンは表示されますが起動はできません。



④ 測定器個別の設定

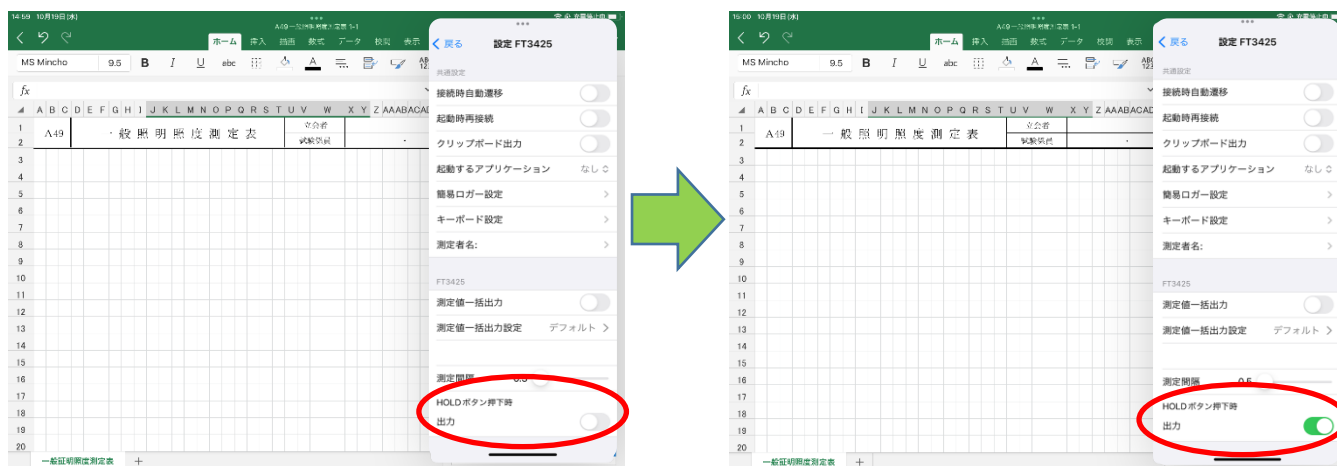
設定ボタンを押すと、各測定器ごとに各種設定ができます。



以下の項目については、各測定器個別の設定となります。

⑤ 測定器本体のボタン押下時出力

ボタン押下時出力のトグルを有効にすることにより、各測定器本体のボタンを押して測定値を入力することができます。各測定器本体のボタンについては、P.58「表 2 各測定器の測定値入力方法」を参照してください。



⑥ 反映方法

確定した測定値を出力する方法を選択できます。

(ア) 手動出力

測定値が確定したときに測定値の出力ボタンが表示され、ボタンを押すと測定値が入ります。

(イ) 自動出力

測定値が確定したときに測定値が自動で入ります。BLuEApp に測定値の出力ボタンは表示されません。

(ウ) 測定中出力

測定値が確定していない、または測定中の時に出力ボタンを押すと、測定値が入ります。

⑦ レンジ設定

入力先アプリケーションに表示する際の閾値、単位、書式が設定できます。

(ア) 定格測定電圧

各種測定器で使用可能な定格測定電圧ごとにレンジ設定ができます。

- 電圧測定レンジ
- 低抵抗測定レンジ
- 50V
- 100V
- 125V
- 250V
- 500V
- 1000V

(イ) レンジ選択

- オーバーレンジ

測定値が設定された上限値を超えた場合の出力形式を設定できます。

◆任意の数値を入力したい場合

赤枠欄に任意の数値を入力してください(例として、“20”を入力)。

ただし入力しただけでは反映されないなので、入力後、青枠欄をタップし、

先ほど入力した値をプルダウンから選択し、設定してください。

そのほか、「Ω」をタップすると「Ohm、Ω、なし」に、

「以上」をタップすると「以上、or more、and over、なし」にそれぞれ変更できます。





- レンジ内

測定値が設定された上限値にも下限値にも達していない場合の出力形式を設定できます。

※手順については、オーバーレンジと同様。

- アンダーレンジ

測定値が設定された下限値を下回った場合の出力形式を設定できます。

※低抵抗測定、絶縁抵抗測定の場合、下限値は 0 に設定されているため、0 未満の測定値が発生しない測定器については適用されません。

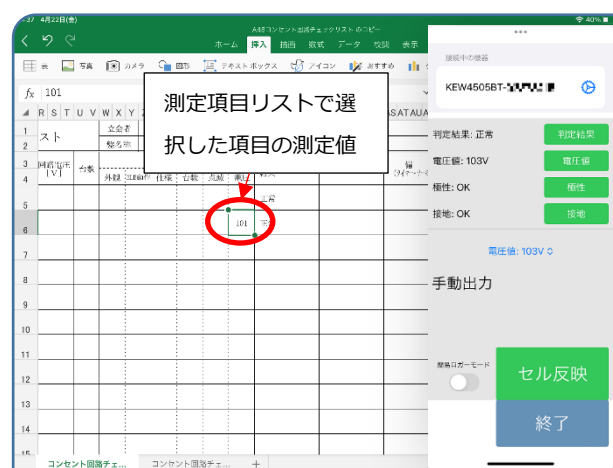
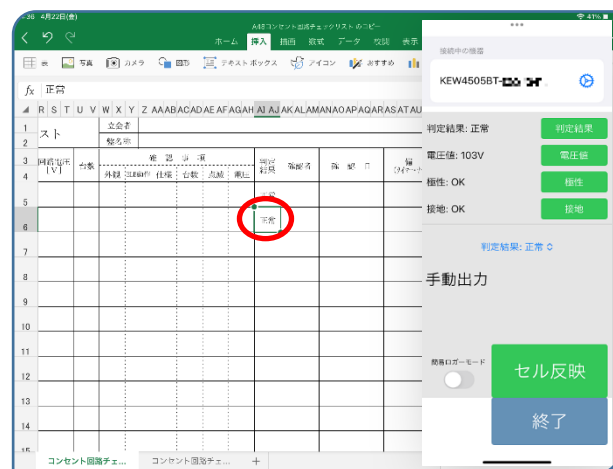
※手順については、オーバーレンジと同様。

⑧ 出力方法の選択（測定値が複数ある測定器かつ Excel のみで有効）

確定した測定値を BLuEApp に表示する方法を選択できます。

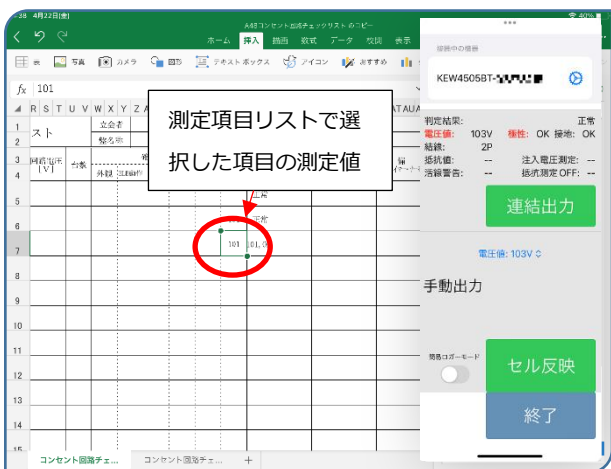
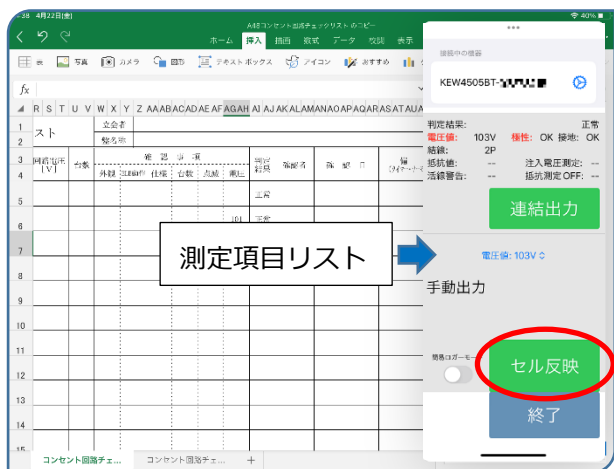
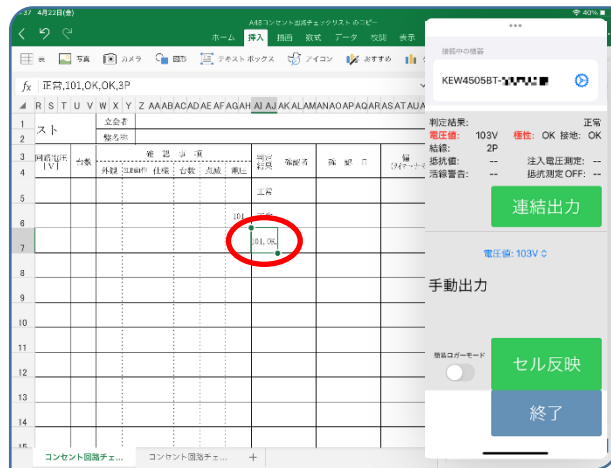
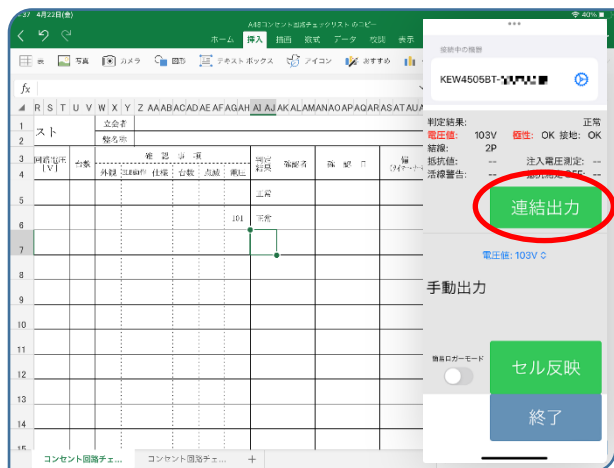
（ア） 選択出力

測定値が確定すると、設定画面で選択した項目の測定値と出力ボタン、セル反映ボタンが表示します。各項目の出力ボタンをタップすると、タップした項目の測定値がセルに入ります。セル反映ボタンをタップすると、測定項目リストで選択した項目の測定値がセルに入ります。



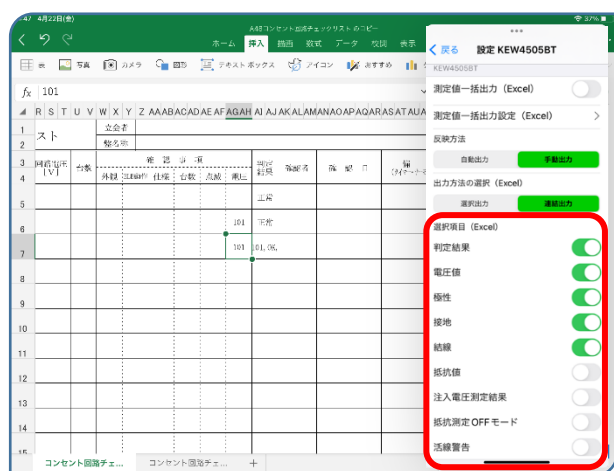
(イ) 連結出力

測定値が確定すると、測定値と連結出力ボタン、セル反映ボタンが表示します。設定画面で選択した項目は赤字で表示します。連結出力ボタンをタップすると、選択した項目がカンマ区切りで連結され、セルに測定値が入ります。セル反映ボタンをタップすると、測定項目リストで選択した項目の測定値がセルに入ります。



⑨ 選択項目（Excel のみで有効）

BLuEApp に表示する測定値の項目を選択できます。



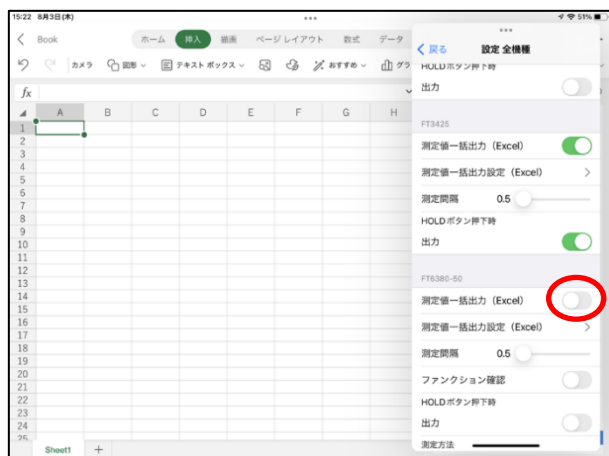
⑩ 測定値一括出力（Excel のみで有効）

測定値一括出力を有効にすることで、「日付・時刻・測定値・単位」などを、任意のセルに分割して入力することができます。また、設定を複数保存することができます。

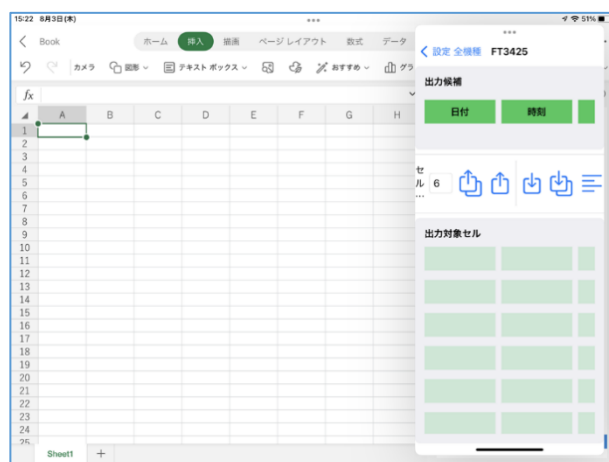
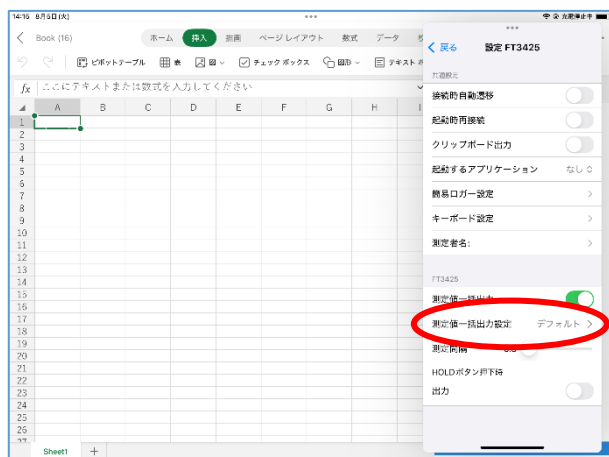
注記

◇ 使用する測定器ごとに、それぞれ設定してください。

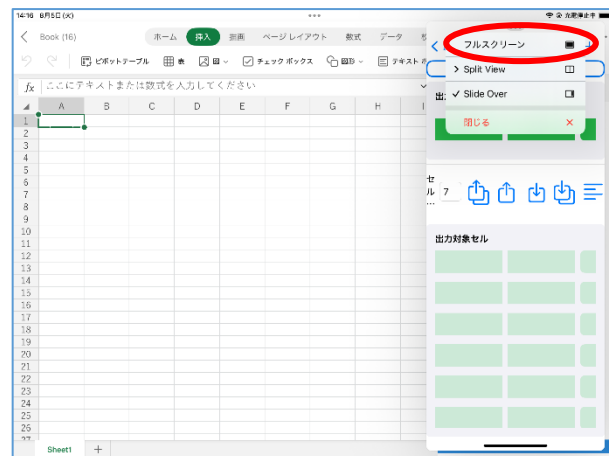
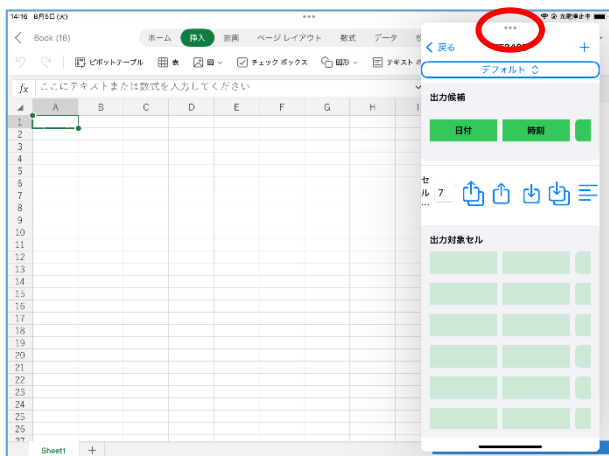
測定値一括出力を有効にします。



測定値一括出力設定を押します。

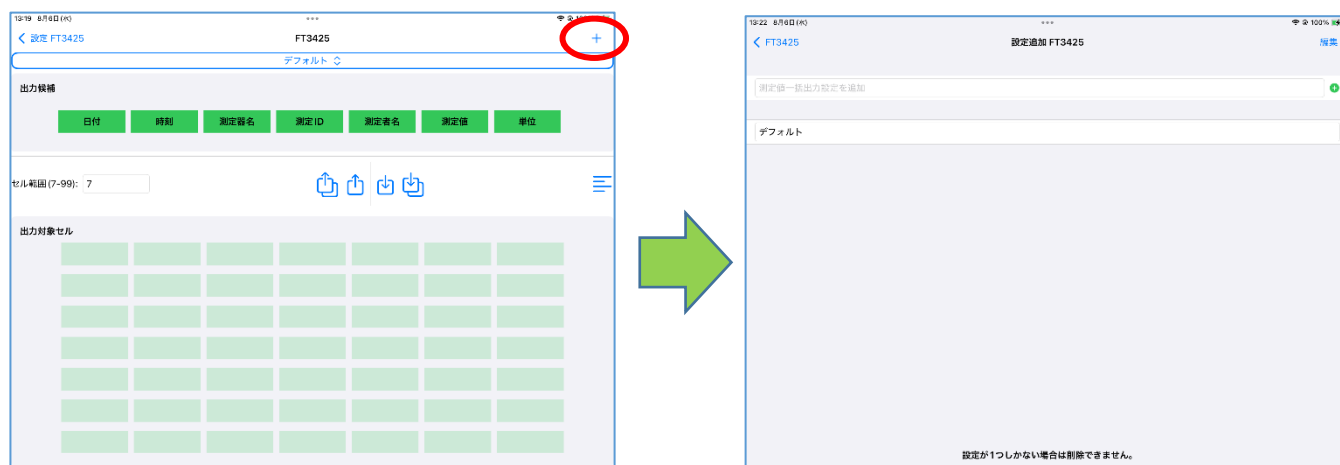


全画面表示する場合は、赤丸箇所をタップします。



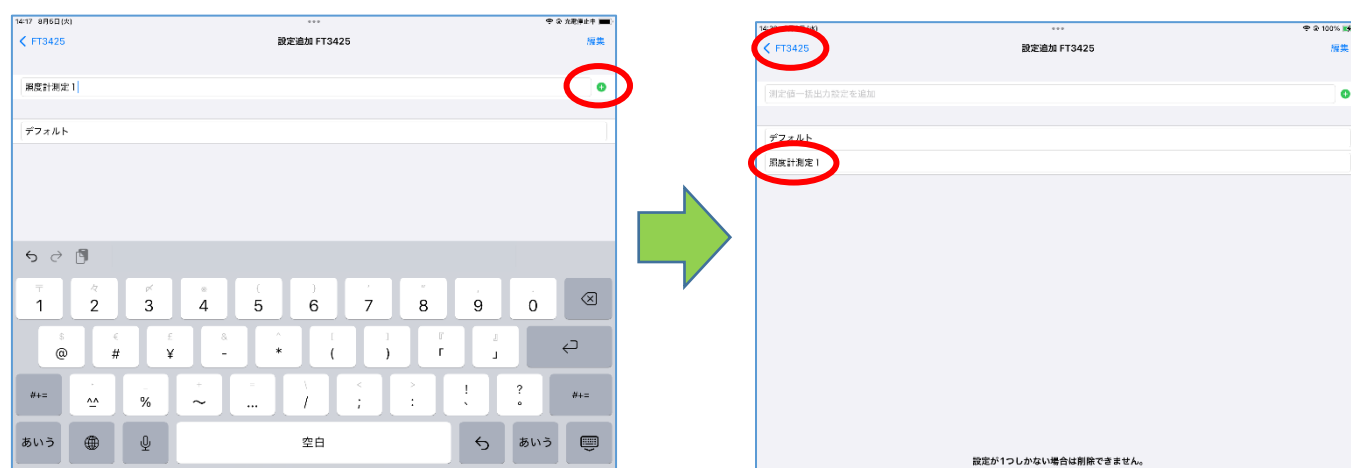
デフォルトの設定をする場合は、そのまま設定する項目をタップして移動します。

デフォルト以外の設定を追加する場合は、画面右上の「+」をタップします。



追加する測定値一括出力の設定名を入力し、「⊕」をタップします。設定名が一覧に追加されます。

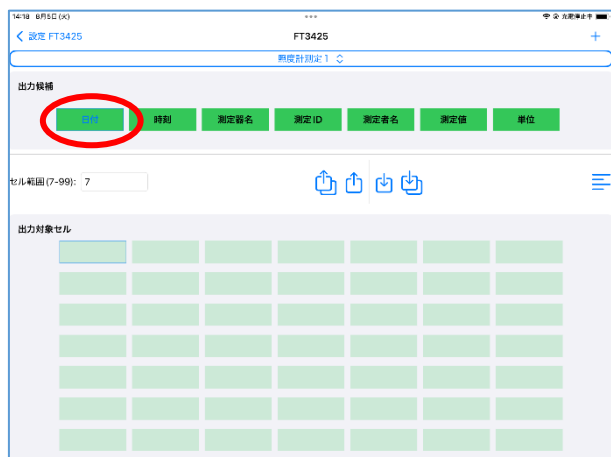
「<FT3425 (戻る)」ボタンをタップして前画面に戻ります。

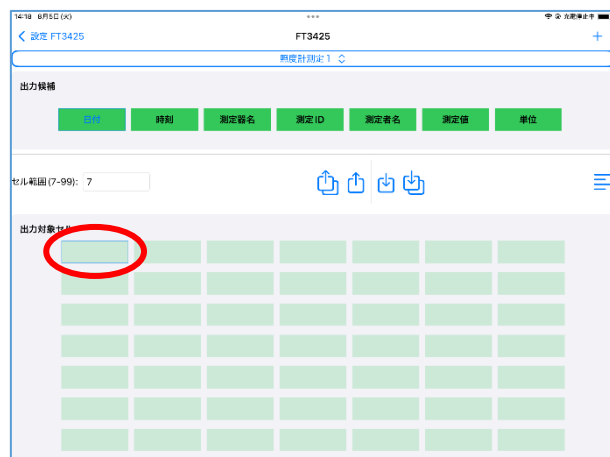


設定選択リストをタップしリストから設定名を選択します。

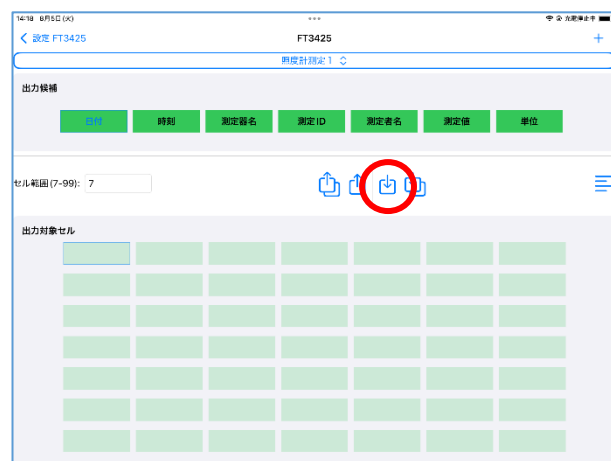


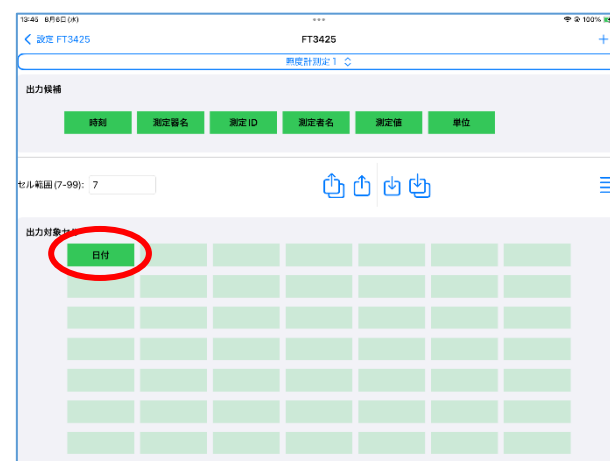
設定する項目をタップ、次に移動先のセルをタップします。





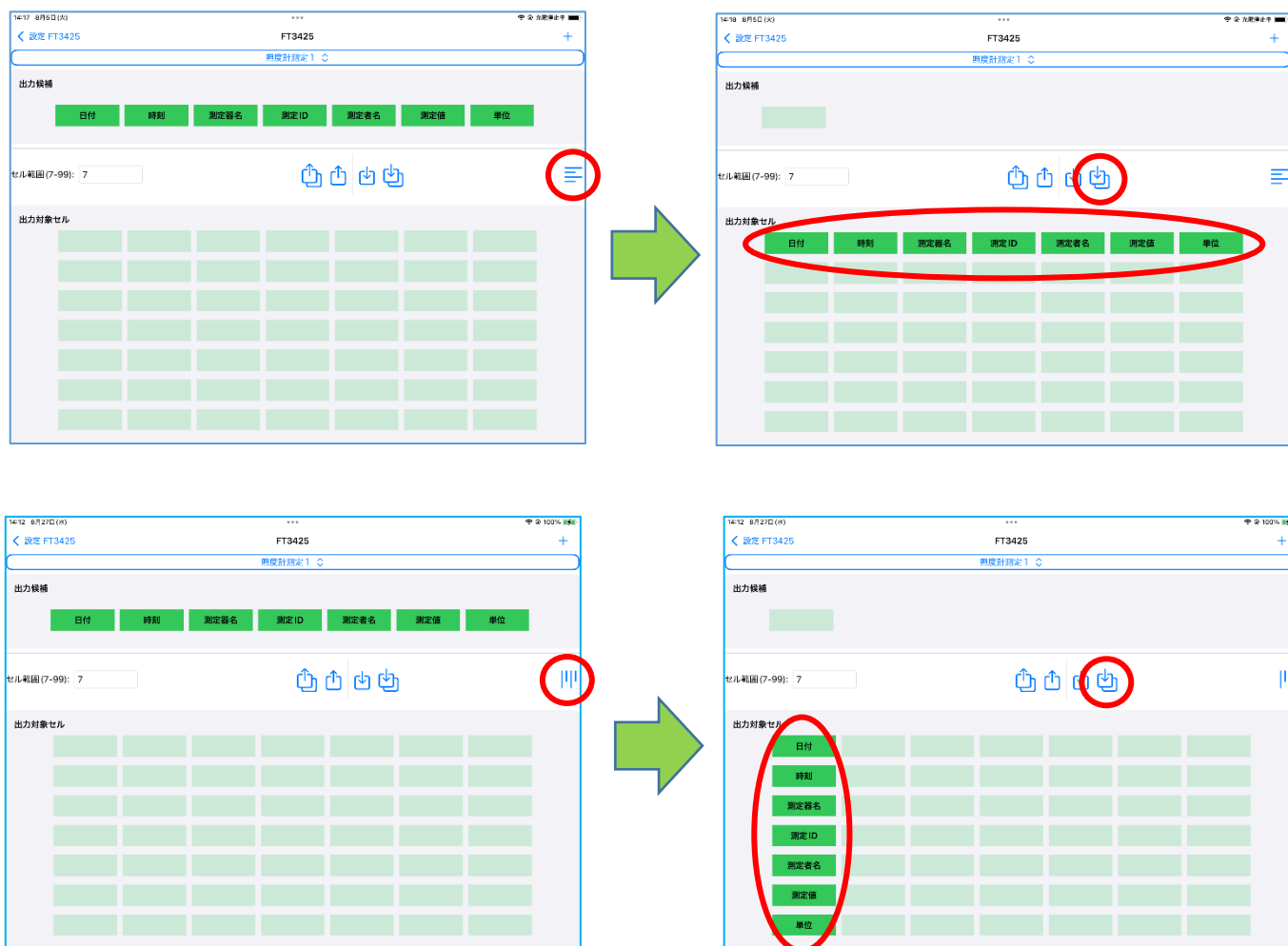
移動ボタンをタップすると、選択したセルへ移動します。



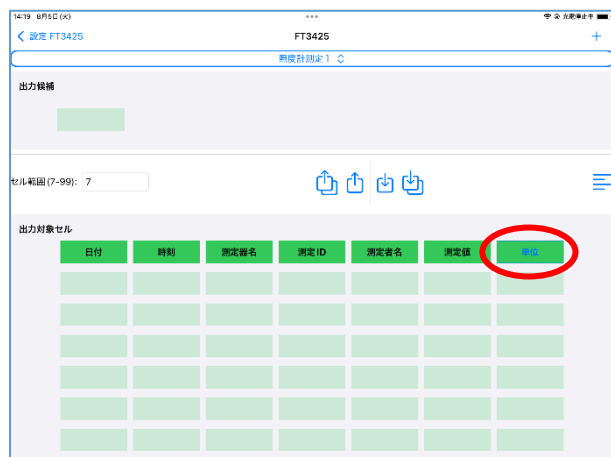


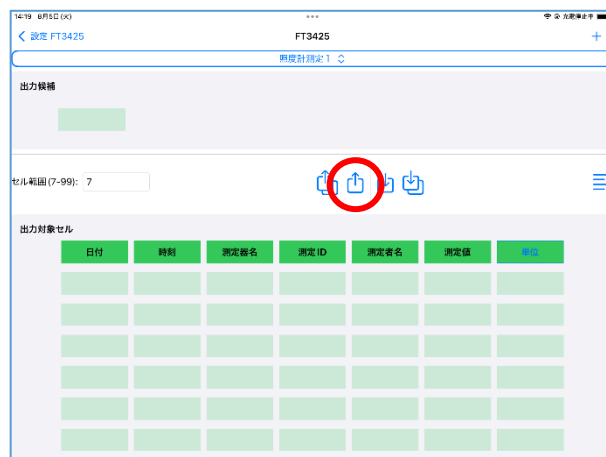
また、全項目を一括で移動することもできます。

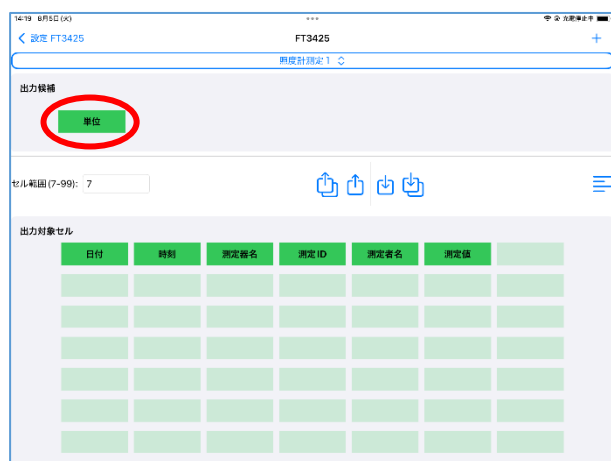
画面右側の方向ボタンの設定により、水平方向または垂直方向へ移動します。



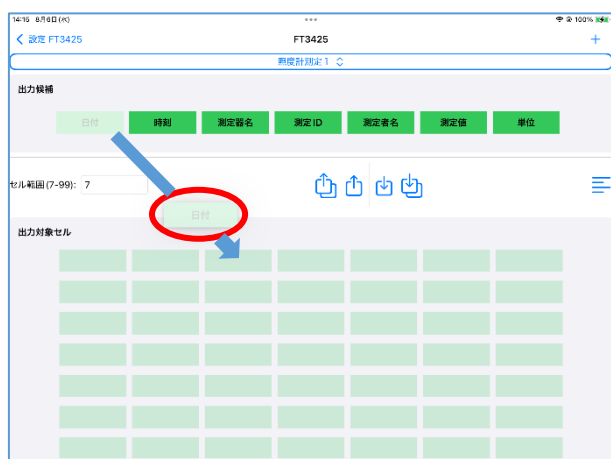
不要な項目を戻すこともできます。

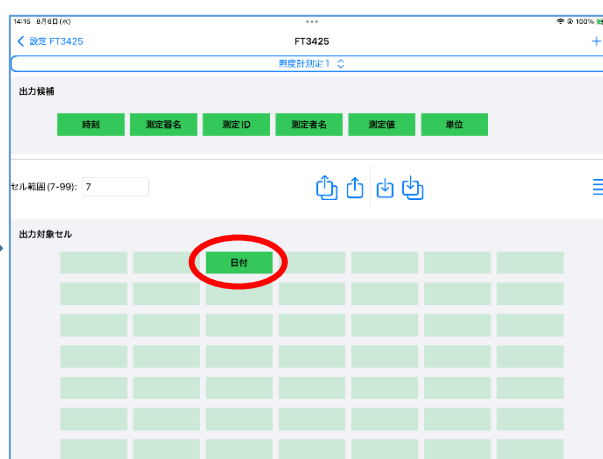






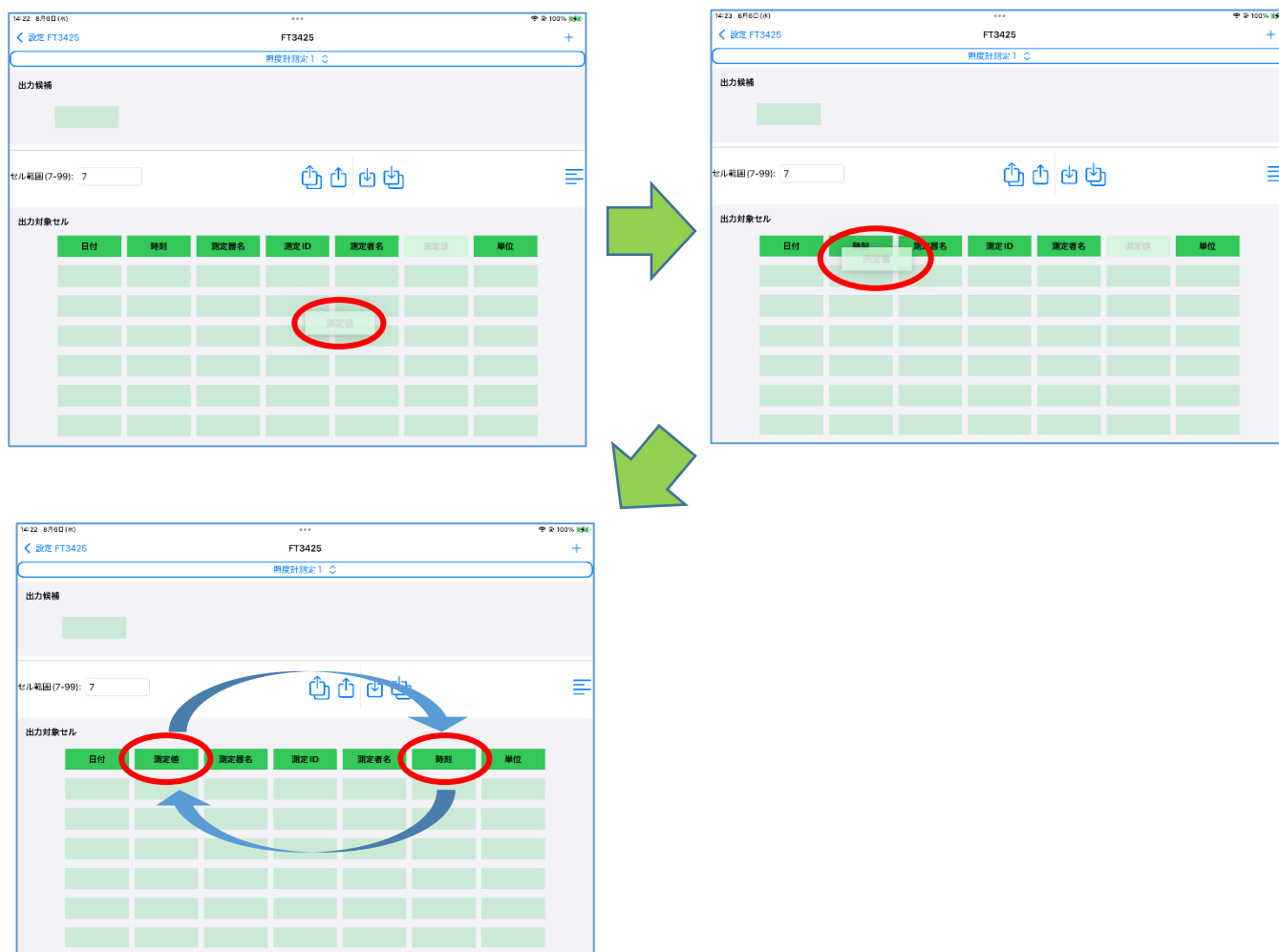
項目を長押しし、ドラッグすることで、任意の個所に移動することができます。



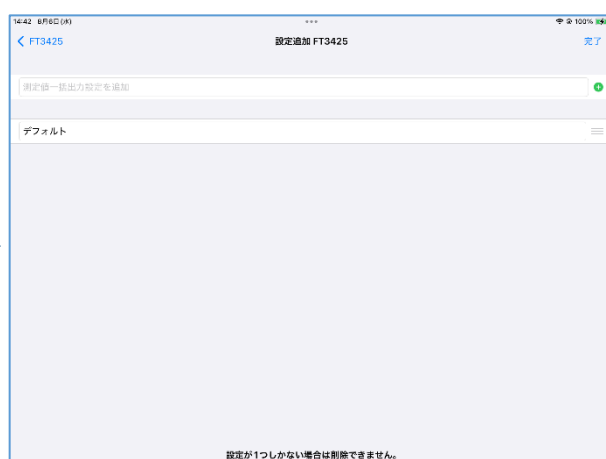
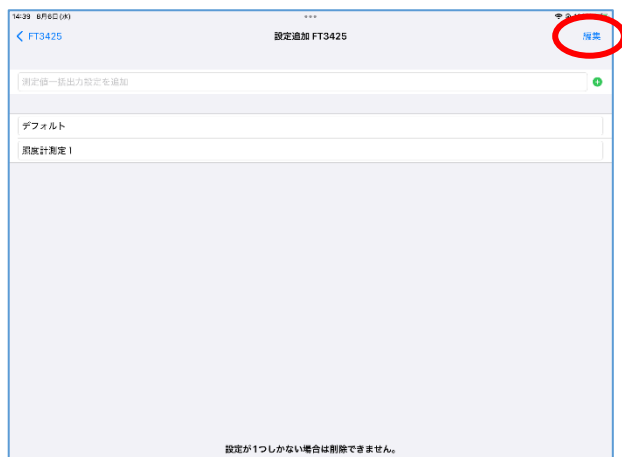


項目を入れ替えることができます。

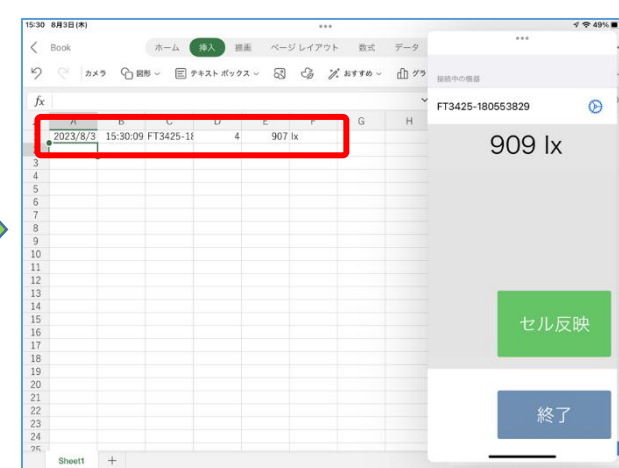
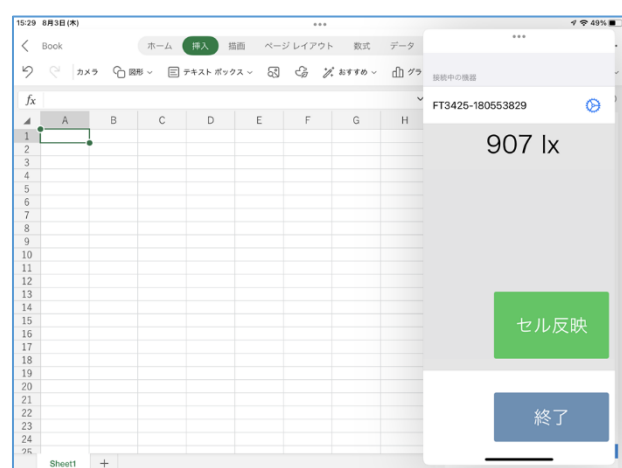
入れ替えたい項目を長押しし、移動したいセル上で話すと、配置が入れ替わります。



追加した設定を削除することができます。



測定画面に戻り、「セル反映」ボタンを押すと、設定した項目が各セルに分割して入力されます。

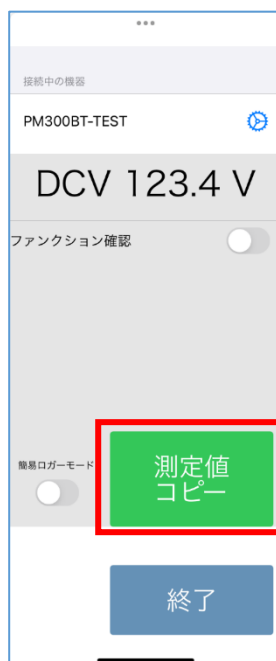


⑪ コピー＆ペースト出力機能

「設定」 - 「全機種」 - 「共通設定」 - 「クリップボード出力」が ON の場合、クリップボード出力機能が有効になります。



クリップボード出力機能が有効の場合、測定画面には「測定値コピー」ボタンが表示されます。

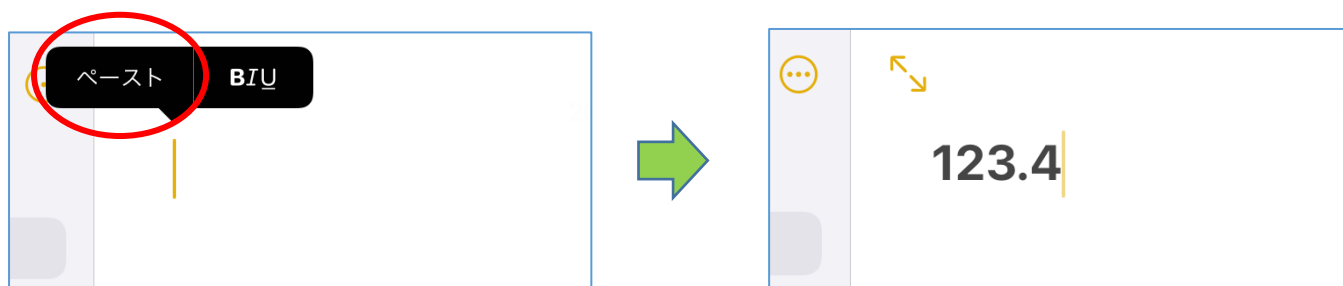


連携中の上位アプリにかかわらず、「測定値コピー」ボタンを押下するとクリップボードへ値を出力します。その他、自動出力などの出力操作によってもクリップボードへ値を出力します。

クリップボードへの値の出力に成功すると、画面中央に「コピーしました」と表示されます。



クリップボードに出力された値は、iPadOS の機能によってペースト可能です。

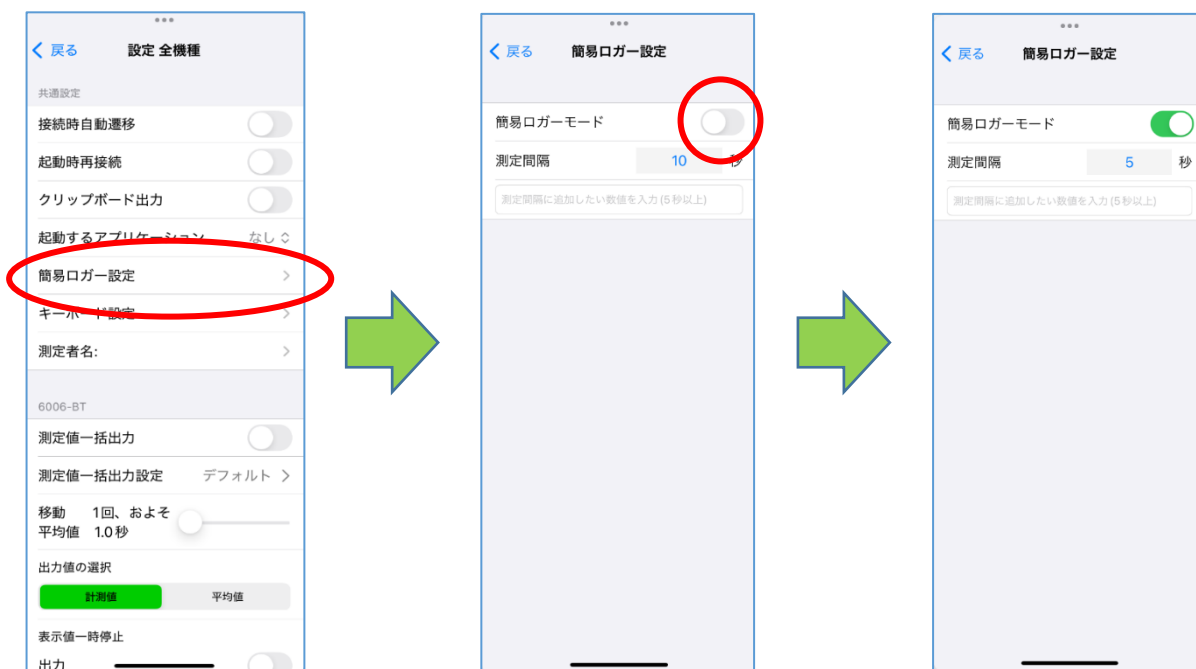


注記

- ✧ 測定値コピーを行う前に、「測定値一括出力」機能が OFF になっていることを確認してください。詳細については、P.74「14.1 ⑩測定値一括出力」を参照してください。

⑫ 簡易ロガー機能

「設定」 - 「全機種」 - 「共通設定」 - 「簡易ロガー設定」 - 「簡易ロガーモード」が ON の場合、簡易ロガー機能が有効になります。



「測定間隔」は、既定の数値、および入力した数値（5 以上）の中から選択可能です。



Excel を含む Passive 系の上位アプリと連携中、またはクリップボード出力機能が有効の場合、測定画面には「簡易ロガーモード」切り替えトグルが表示されます。

また簡易ロガー機能が有効の場合は「ログ開始」ボタンが表示されます。



「ログ開始」ボタンを押下すると、ログ出力状態となり、「測定間隔」毎に値が出力されます。ログ出力状態中は設定画面に遷移することはできません。

「ログ終了」ボタンを押下すると、ログ出力状態は解除されます。

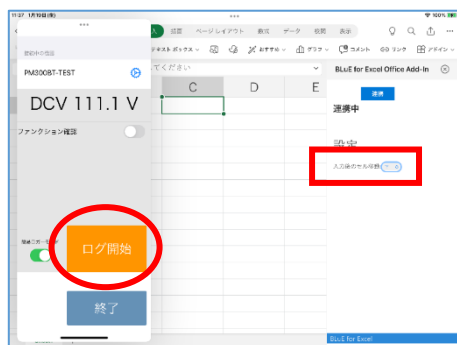


使用例(Excel 連携時)

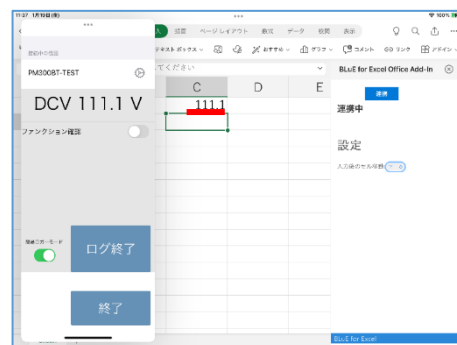
あらかじめ、Office アドイン設定の「入力後セル移動」を「下」または「右」にしておきます。

「ログ開始」ボタンを押下することで、Excel 上のセルに値が出力され、選択セルが1つ下に移動します。

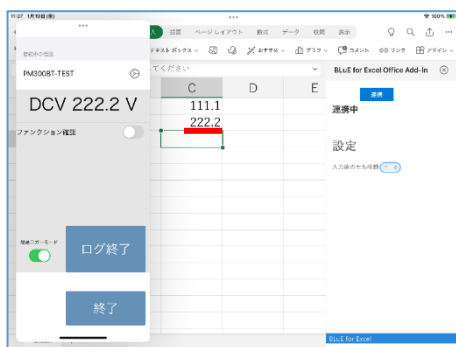
その後は「測定間隔」で設定した秒数が経過するたび同様に、セルに値が出力され、選択セルが1つ下に移動します。



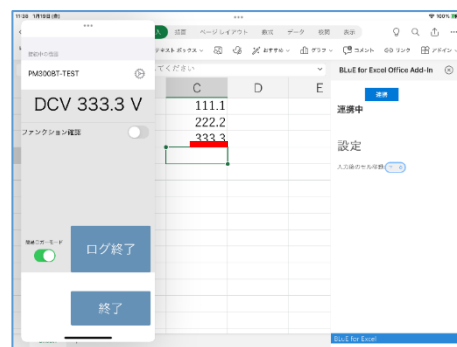
「ログ開始」ボタン押下



「測定間隔」経過



「測定間隔」経過



「測定間隔」経過

⋮

⑬ 10 キー/定型文入力機能

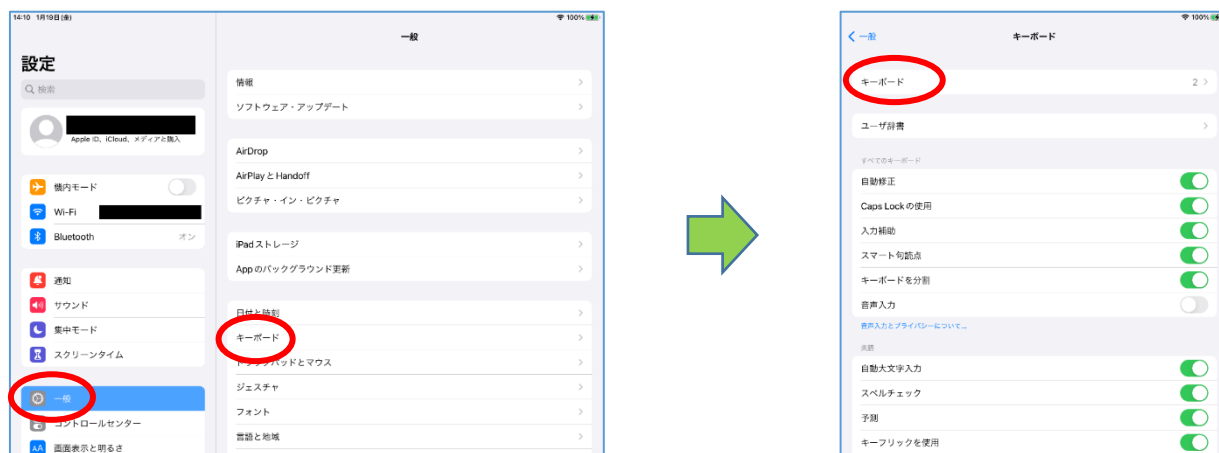
BLuEKeyboard は、後述する「定型文追加」であらかじめ単位などを追加しておくことで、測定値入力の際にキーボードの切り替えを行うことなく、BLuEKeyboard のみで入力することができます。

BLuE 以外の用途にも使用可能です。

キーボードの有効化

BLuEApp がインストールされていることを確認してください。

「設定」アプリを開き、「一般」 - 「キーボード」 - 「キーボード」を選択します。



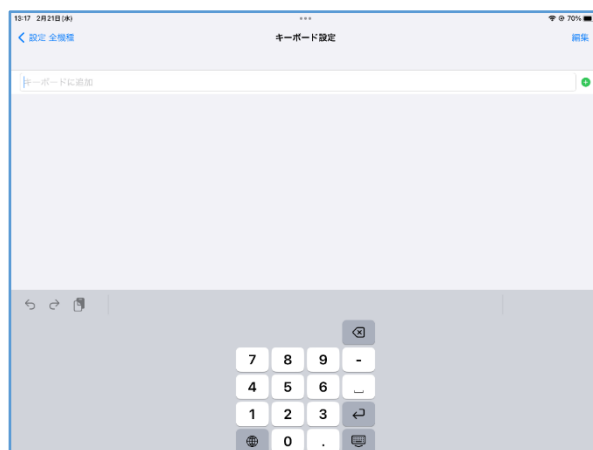
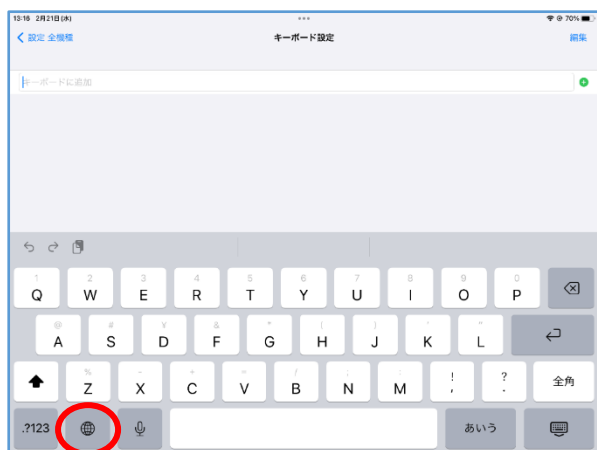
「新しいキーボードを追加…」 - 「BLuEApp」を押下して選択してください。



「BLuEKeyboard — BLuEApp」がキーボードに追加されます。



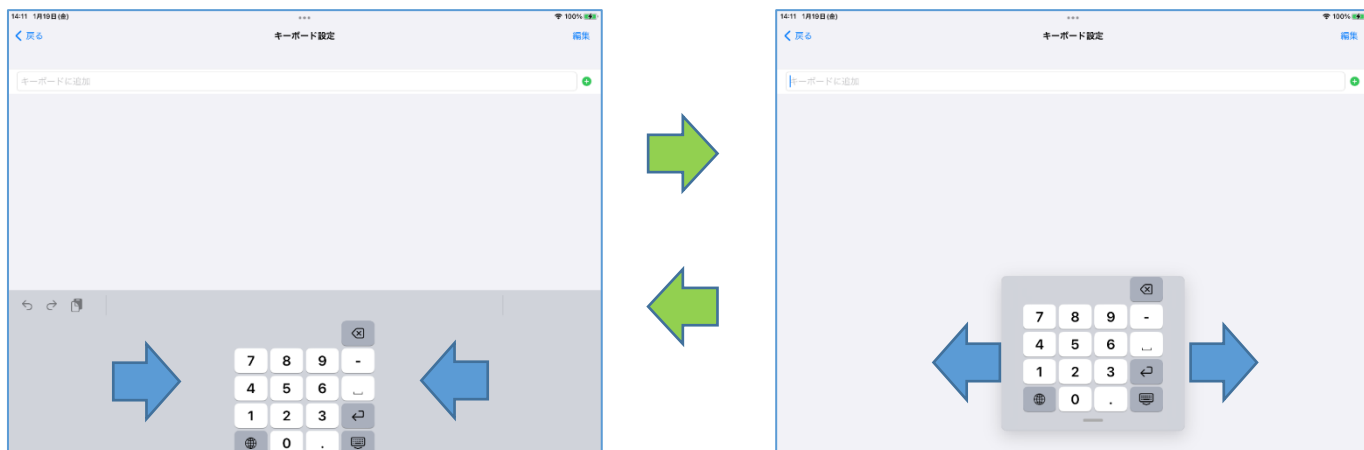
「BLuEKeyboard」を表示するには、キーボード左下にある「言語キー(🌐)」をタップして設定されているキーボードを順に切り替えることで表示できます。



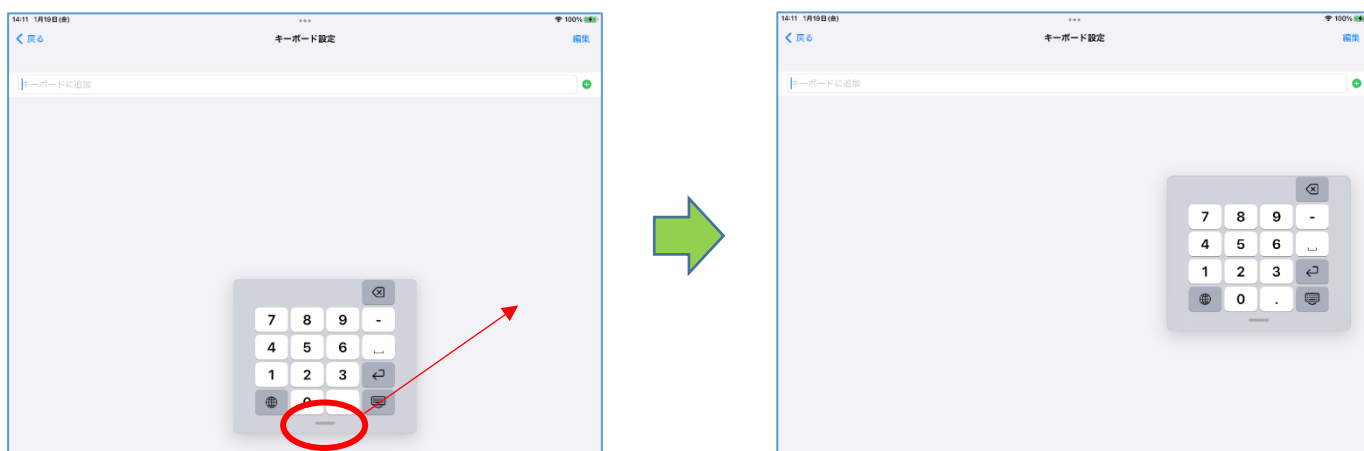
フローティングキーボードについて

BLuEKeyboard は、フローティングキーボードでの使用を推奨しています。

通常表示のキーボードを2本指で内側につまむように操作すると、フローティングキーボード表示となります。フローティングキーボード表示のキーボードを2本指で広げるように操作すると、通常表示に戻ります。



フローティングキーボードは、キーボード下部のバーをタップしながらスワイプすることで、自由に移動することができます。

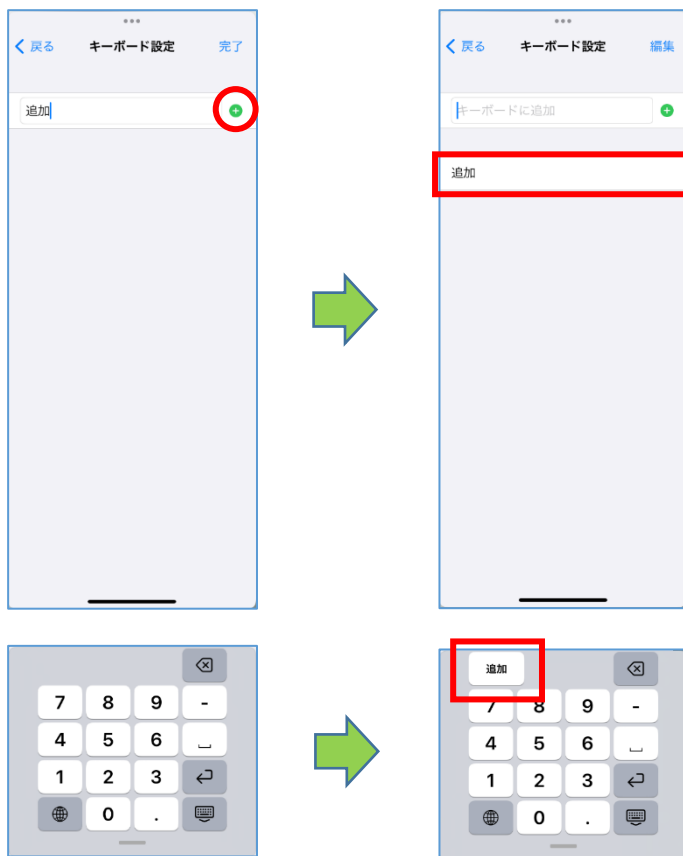


注記

◇ 詳細については、Apple の公式サイトを参照してください。

定型文追加

「設定」 - 「全機種」 - 「共通設定」 - 「キーボード設定」から、BLuEKeyboard に定型文入力ボタンを追加できます。追加したい定型文を入力し、「⊕」を押下してください。（定型文の設定は、キーボード切り替え時など、BLuEKeyboard の表示時に反映されます。）



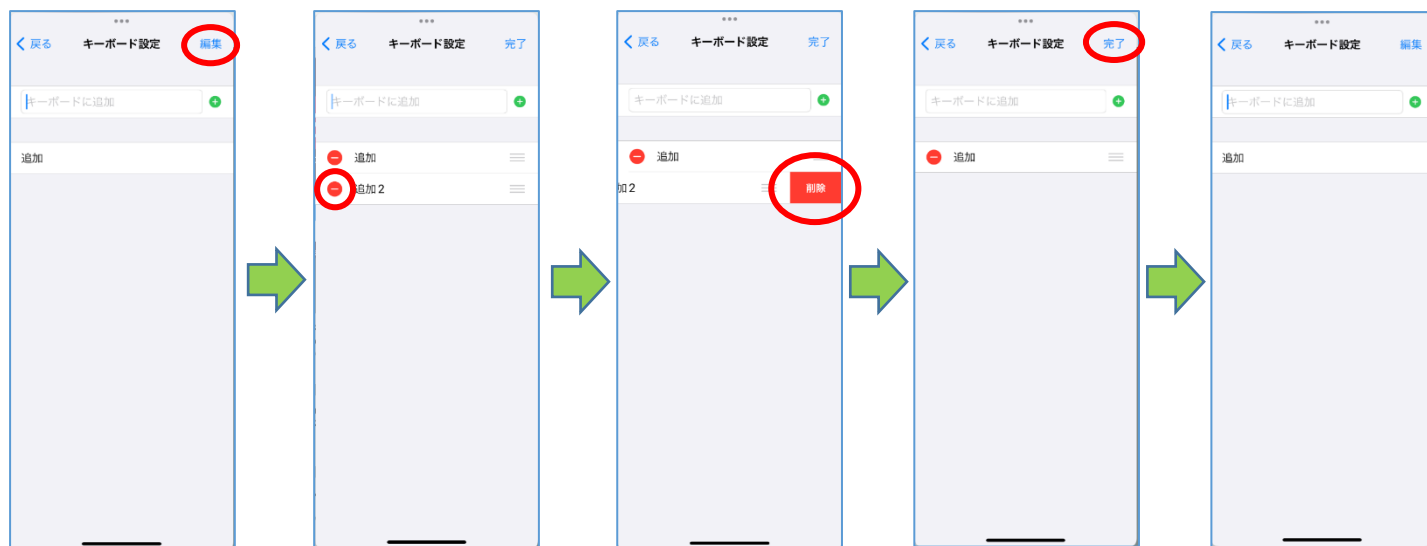
定型文は複数追加可能です。定型文入力ボタン上を横にスワイプして、目的の定型文入力ボタンを表示して下さい。



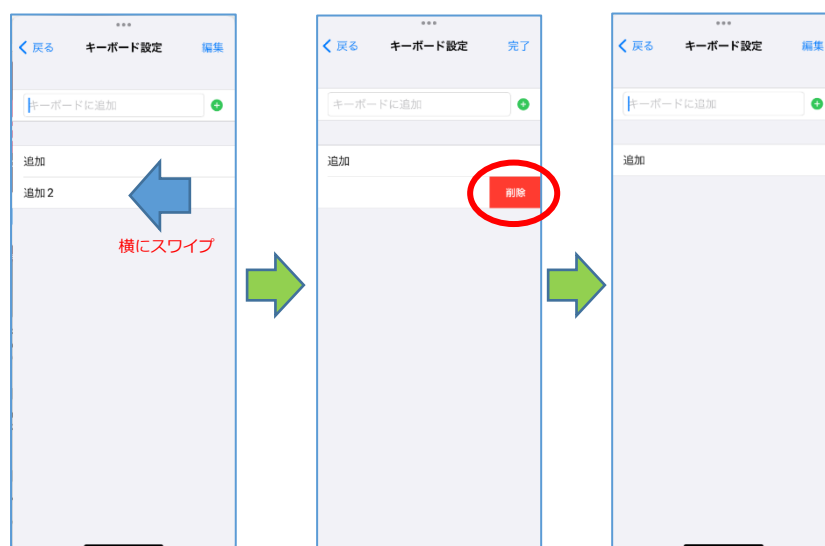
定型文編集

追加した定型文は、順番の入れ替え・削除が可能です。

・削除①



・削除②



・入れ替え



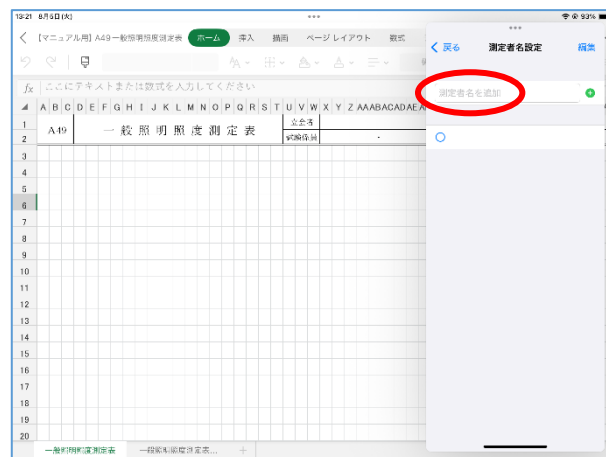
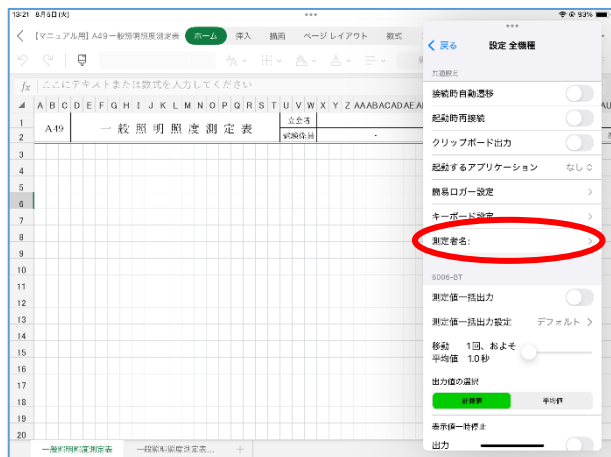
⑭ 測定者名出力機能

入力先アプリケーションに測定者名を表示することができます。

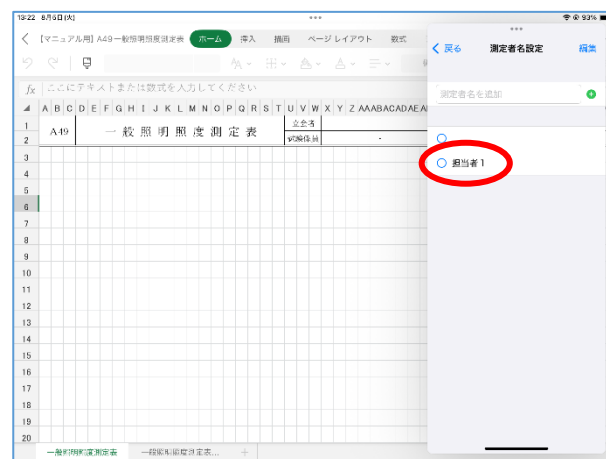
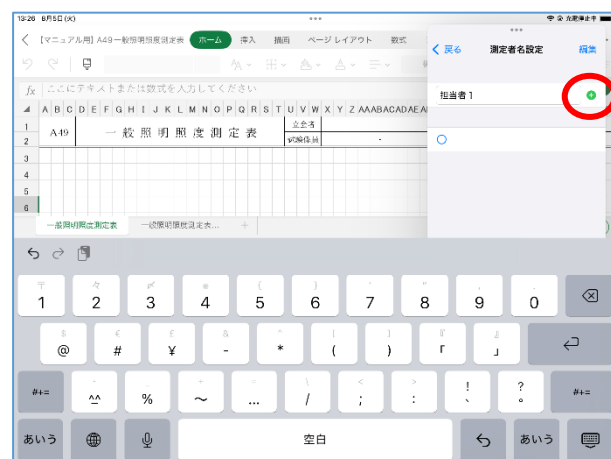
Excel は測定値一括出力、PDFEditor は測定器別書式から設定することによって、表示できます。

● 設定方法

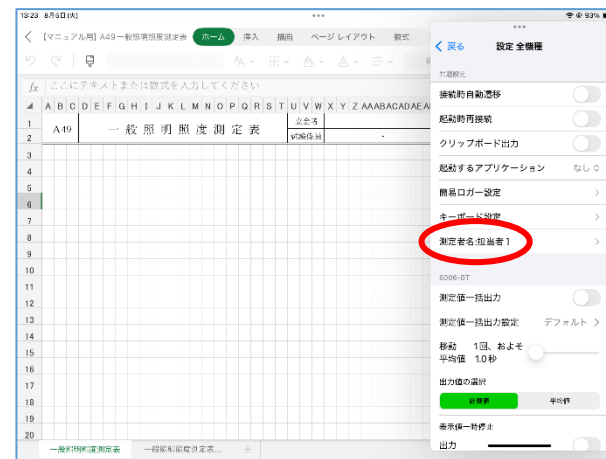
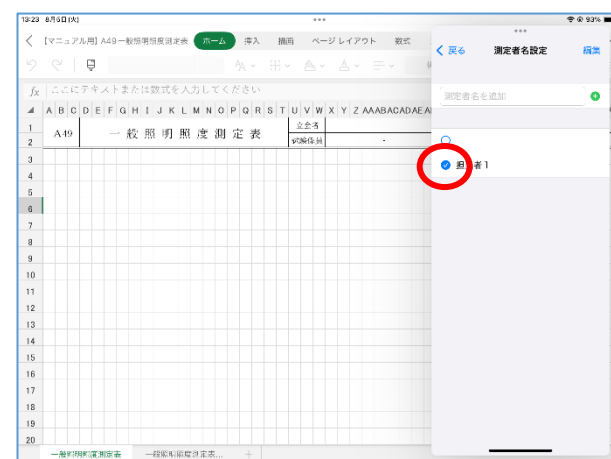
測定者名をタップし、測定者名を入力します。



「⊕」ボタンをタップすると、一覧に追加されま

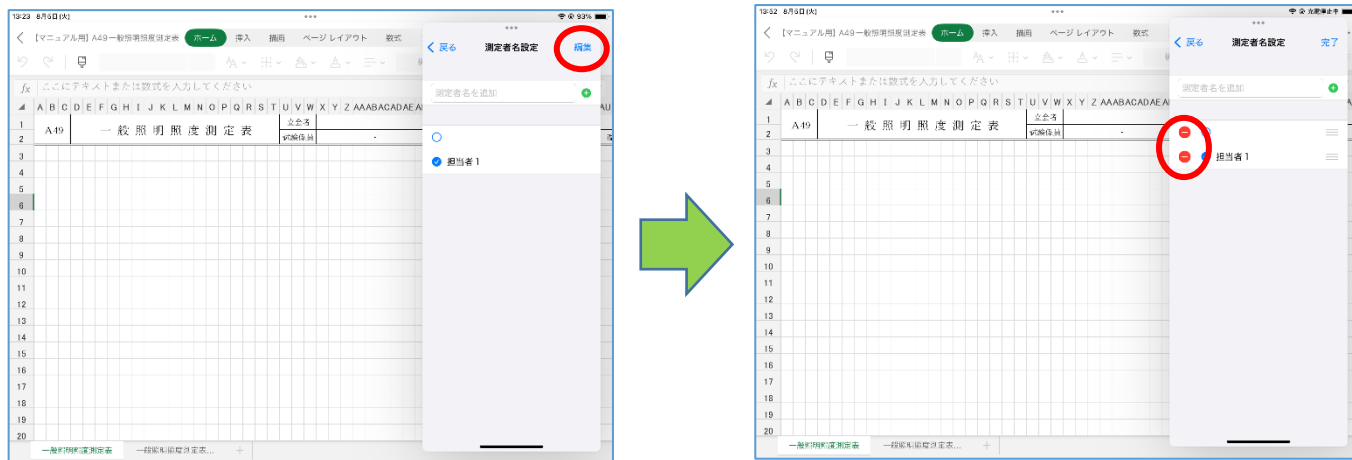


設定する担当者名横の○印にチェックを入れます。



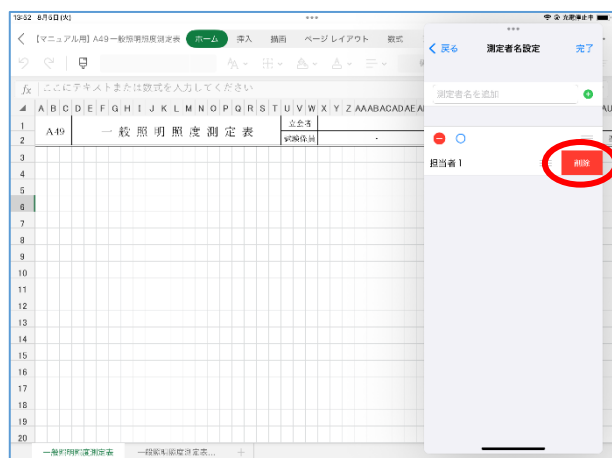
●削除方法

「編集」をタップすると測定者名の左側に「@」を表示します。

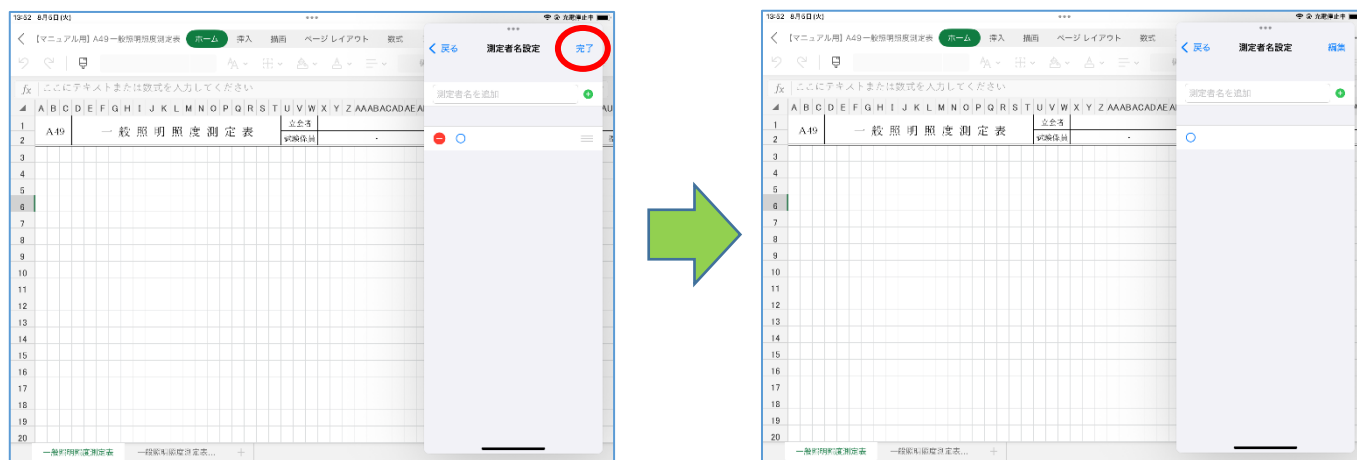


削除したい測定者名の「@」をタップすると右側に「削除」を表示します。

「削除」をタップすると一覧から削除されます。



「完了」をタップして、終了します。



⑮ 瞬時値/平均値取得 (IES-5000/5000R)

「平均値」を選択し「測定開始」ボタンを押下すると、プログレスバーが表示され、ボタンが「測定中止」へと変化し 60 秒計測後に平均値を表示します。



瞬時値：測定画面を表示すると同時に測定値を表示します。

平均値：BLuEApp の「測定開始」ボタンをタップ後、設定画面で設定した測定秒数が経過するまでの間、「測定中止」ボタンおよび設定項目に応じた平均値、進捗状況を表示します。
設定した測定秒数を経過すると測定値が確定し、BLuEApp に測定値を表示します。

⑩ オクターブ分析機能、1/3 オクターブ分析機能（NL シリーズ）

オクターブ分析機能、1/3 オクターブ分析機能を使用する場合、「オクターブ・1/3 オクターブ実時間分析プログラム」をインストールし、各機能への切り替え操作が必要です。

測定器本体でオクターブ分析および 1/3 オクターブ分析の出力へ切り替えると、それぞれ BLuE 画面も以下のように表示します。



なお、オクターブ分析、1/3 オクターブ分析測定時は、PDFEditor へ測定値を反映できません。

「測定中」ダイアログとエラーメッセージが表示されますので、

測定中の「キャンセル」とエラーメッセージの「OK」ボタンを押下し、測定器本体で通常測定へ切り替えてから再度測定してください。

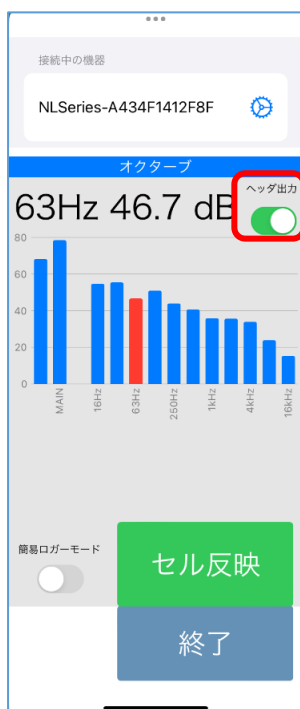


注記

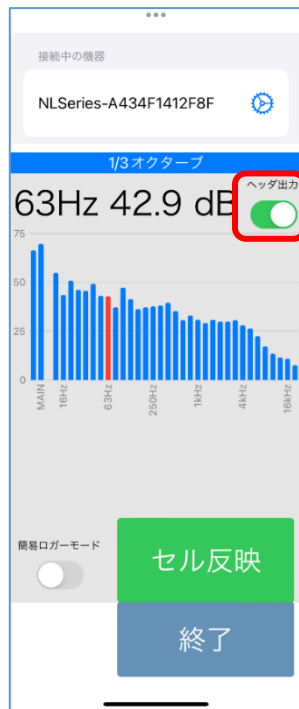
- ◇ オプションプログラムのインストールおよび操作方法については、測定器のマニュアルを参照してください。
- ◇ オクターブ分析、1/3 オクターブ分析から通常測定への切り替え方法については、測定器のマニュアルを参照してください。

「ヘッダ出力」トグルを ON にすると、ヘッダ（見出し情報）が Excel へ出力されます。

・オクターブ分析測定



・1/3 オクターブ分析測定



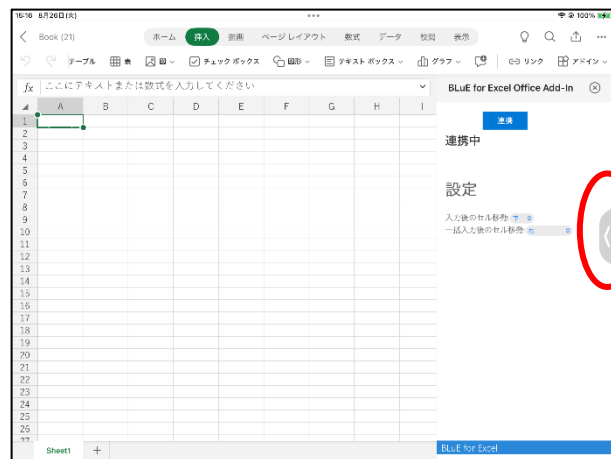
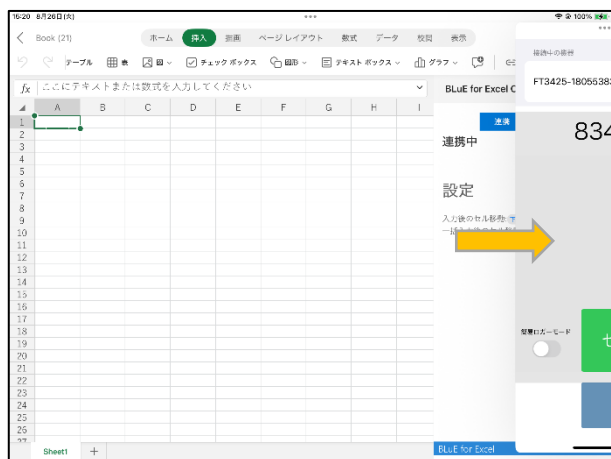
⑰ BLuEApp バックグラウンド化

BLuEApp を右または左ヘスワイプし、バックグラウンドに置いた状態で測定および測定値の入力が行えます。

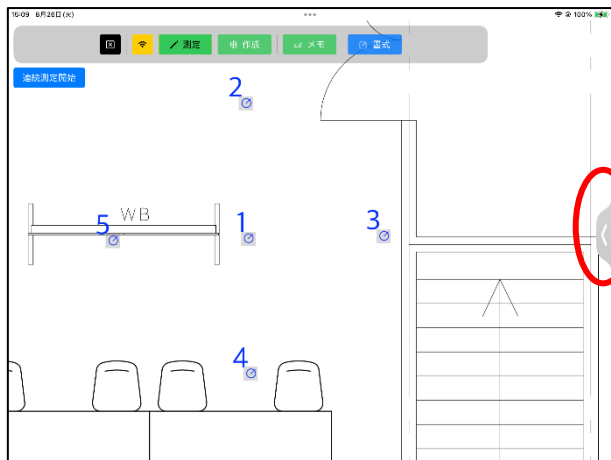
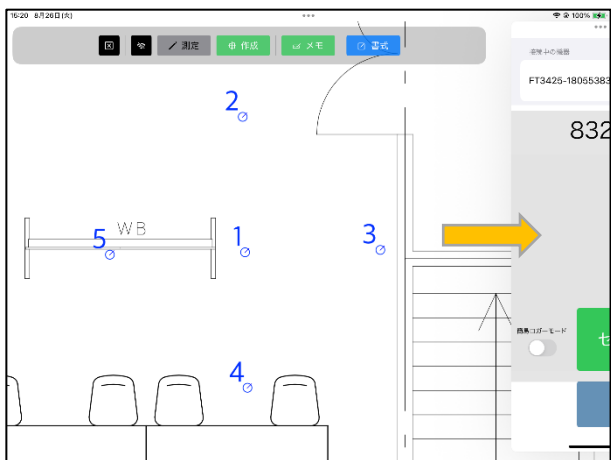
ただし、事前に本体操作による入力機能を有効にする必要があります。

設定方法については、P.69「14.1⑤測定器本体のボタン押下時出力」を参照してください。

Excel



PDFEditor



注記

- ◇ 一部の測定器（SK-110TRH-B、SK-270WP-B や DDSSeries などの BLE ビーコンにより測定値を送信する測定器）については、BLuEApp がバックグラウンドにある場合、測定はできません。

⑮ 設定ボタン色対応

設定を変更した際の保存状態により設定ボタンの色が下記の通り変化します。

- ・「青」：保存完了
- ・「橙」：保存中
- ・「赤」：保存失敗

なお、「赤」を表示した場合は「保存失敗」となります。

再度、設定画面を開いて閉じることで保存処理をし直します。

青：保存完了



橙：保存中



赤：保存失敗

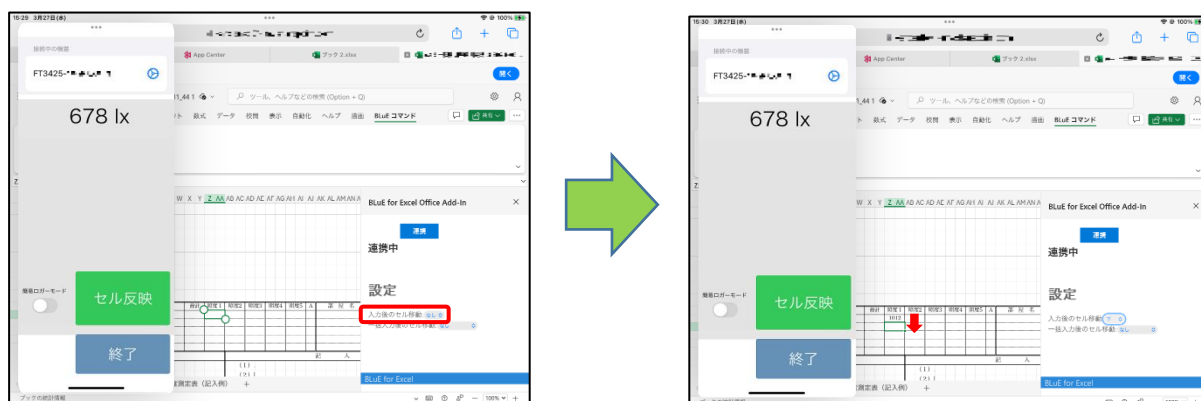


14.2 Excel の設定

測定値の入力後にセルを移動する

Office アドインで測定値入力後のセル移動を設定できます。設定を行うと測定値の入力後にカーソルが自動的に指定した方向移動します。

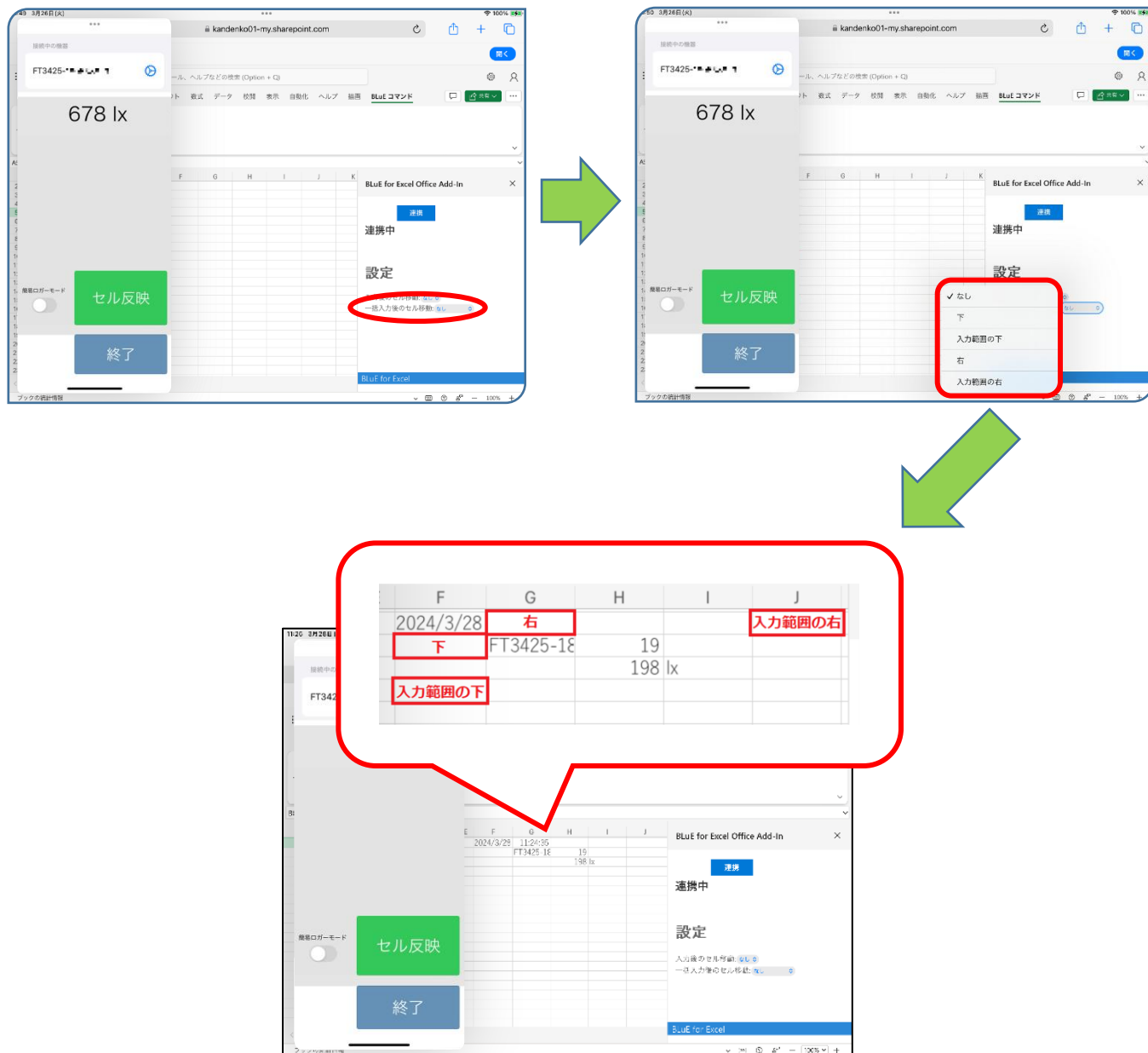
① 入力後のセル移動(なし/下/右)



② 一括入力後のセル移動（なし/下/入力範囲の下/右/入力範囲の右）

測定値一括出力設定が「ON」の場合に有効です。

設定方法については、P.74「14.1⑩測定値一括出力」を参照してください。



14.3 PDF Editor の設定

各種設定ができます。

① 測定時タイムアウト有効・無効

(ア) 有効の場合

一定時間内に BLuEApp から測定値が出力されない場合、測定を中止します。

(イ) 無効の場合

一定時間内に BLuEApp から測定値が出力されない場合であっても、測定を中止しません。

② 測定時タイムアウト時間

測定時タイムアウトが有効の場合に測定を中止するまでの時間を設定します。3.0 秒から 20.0 秒の間で、0.5 秒刻みで設定できます。

③ CSV ファイル結合出力

(ア) 有効の場合

測定ポイント情報を 1 つのファイルに結合して、出力します。

(イ) 無効の場合

測定ポイント情報を各測定器ごとにファイル作成し、出力します。

④ デフォルト書式設定優先

既に測定値が入力されている測定ポイントに再度、同じ測定器で測定を行った場合の書式について設定します。

(ア) 有効 (トグル ON) の場合

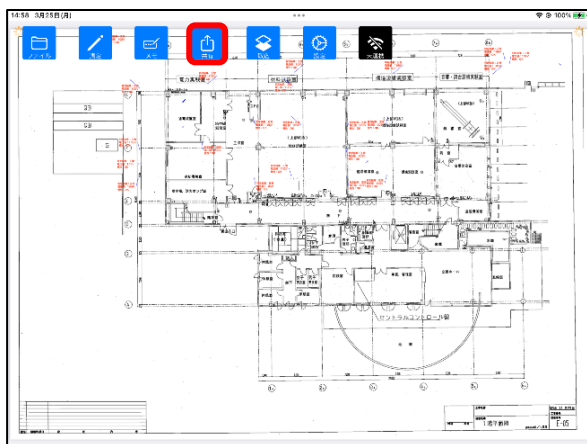
デフォルトの書式設定で反映します。

(イ) 無効 (トグル OFF) の場合

測定ポイントが持つ書式設定で反映します。



CSV ファイル結合出力を行うには、メインメニュー「共有」をタップ、「共有シート」が表示されるので、出力先として「ファイルに保存」を選択します。

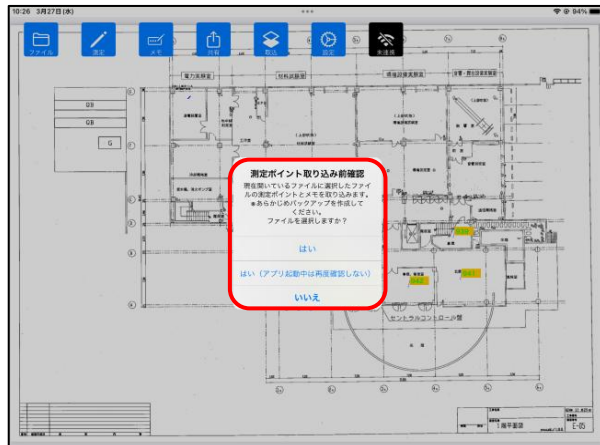
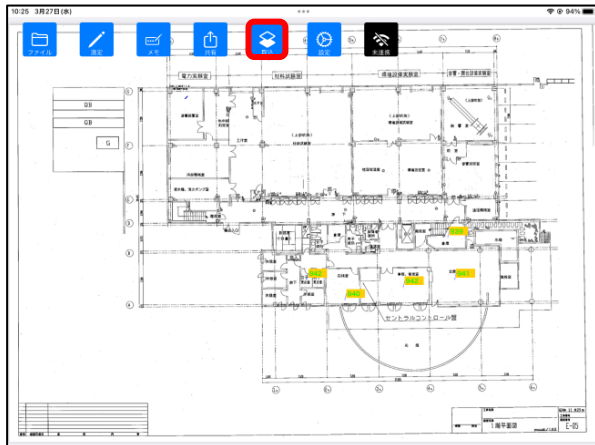


⑤ 測定データの取り込み

現在表示している PDF 図面に別の PDF 図面で測定したポイント・数値・メモを取り込むことができます。

メインメニュー「取込」ボタンをタップ、「測定ポイント取り込み前確認」が表示されるので、「はい」または「はい（アプリ起動中は再度確認しない）」を選択します。

取り込みを中止する場合は「いいえ」を選択すると、確認ダイアログが閉じます。



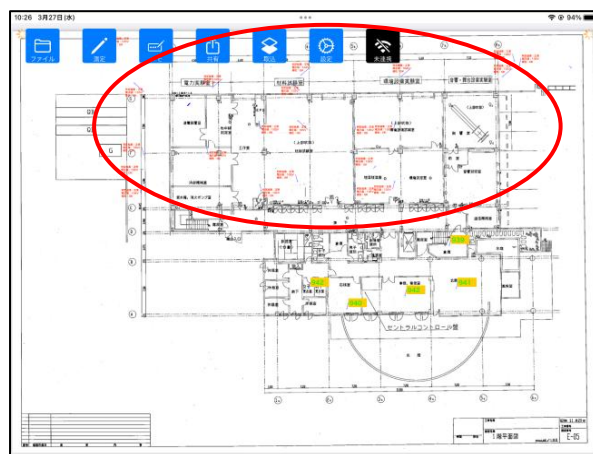
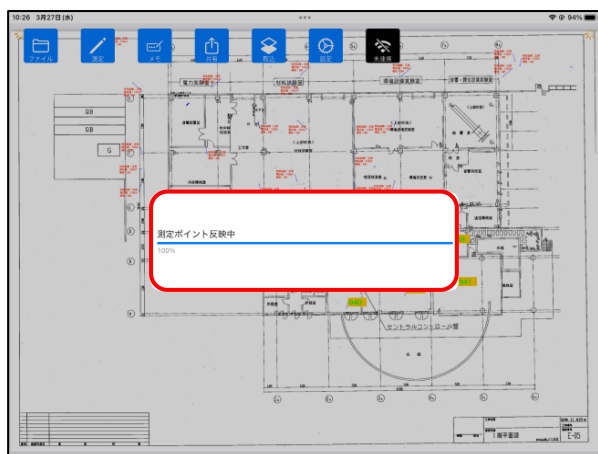
注記

✧ 取り込みを中止する場合は「いいえ」を選択してください。

ファイル選択画面が表示されるので、取り込みたい PDF 図面を選択します。

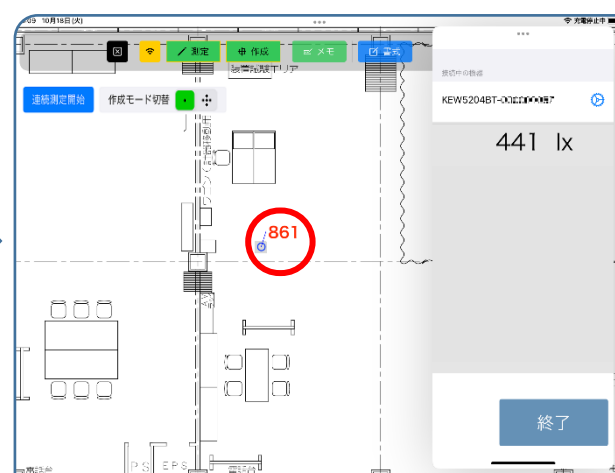
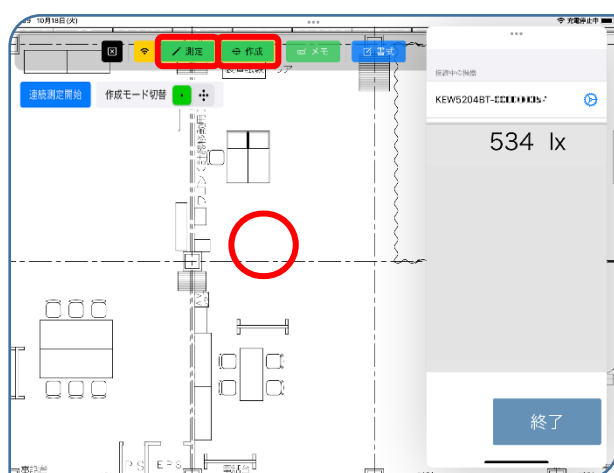


「測定ポイント反映中」ダイアログ表示後、選択した PDF 図面の測定ポイント・数値・メモが表示中の PDF 図面へ取り込まれます。



⑥ 測定+測定ポイントの作成

「測定」ボタンと「作成」ボタン両方を有効にした状態で、PDF 図面の任意の箇所をタップすると、測定ポイントの作成と同時に測定値が入ります。

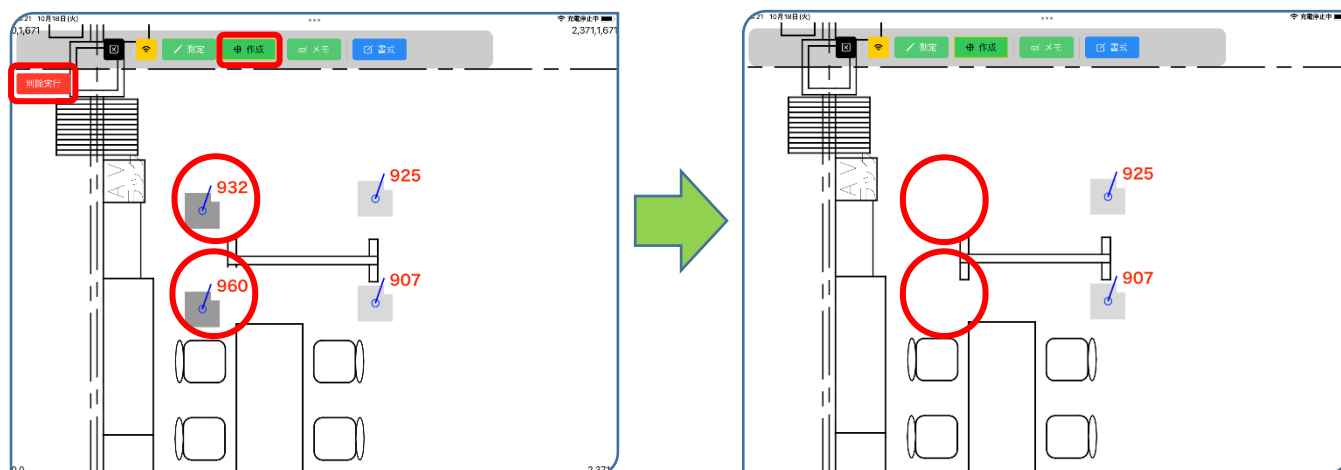


注記

◇ 測定手順については、P.61「12.2 測定を行う(PDFEditor)」を参照してください。

⑦ 測定ポイントを削除する

「作成」ボタンをタップし、測定ポイントを選択すると「削除実行」ボタンが表示されます。測定ポイントは同時に複数選択できます。「削除実行」ボタンを押すと、測定値が入力されていても測定ポイントが削除されます。



⑧ 測定ポイントを移動する

「作成」ボタンをタップし、移動したい測定ポイントをタップすると、測定ポイントの移動ができます。測定ポイントは複数選択できます。四方の矢印をタップすると、指定した方向に1座標ずつ移動します。

注記

- ✧ 下方に表示されているx座標・y座標に任意の数値を入力し、「移動」ボタンをタップすると、指定した座標に移動します。
- ✧ PDF図面外への移動や、他の測定ポイントと半分以上重なるような位置に移動することはできません。



⑨ 測定値を移動する

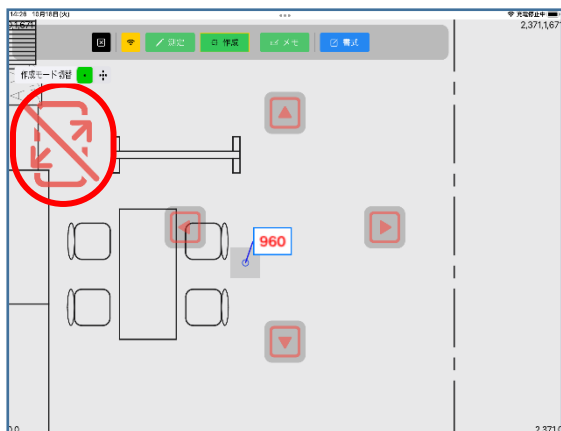
「作成」ボタンをタップし、移動したい測定値をタップすると、測定値の移動ができます。測定ポイントは複数選択できます。四方の矢印をタップすると、指定した方向に1座標ずつ移動します。

注記

- ◇ 測定値を選択した状態でドラッグすると、測定値が移動します。
- ◇ 測定値の移動をしても、測定ポイントの位置は変わりません。



測定値の移動モードになると、左上に拡大縮小禁止マークが表示され、PDF 図面の拡大縮小・移動ができない状態になります。



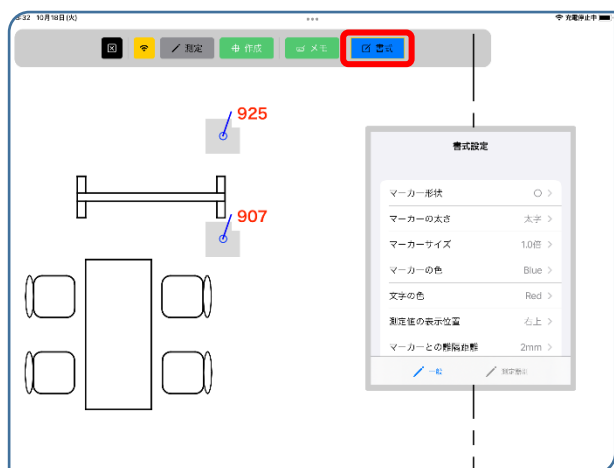
⑩ 測定ポイントの書式を設定する

「書式」ボタンをタップすると、書式設定モードになります。

注記

- ✧ 測定ポイントを選択しない状態で書式の変更を行うと、以降に作成する測定ポイントに反映されます。

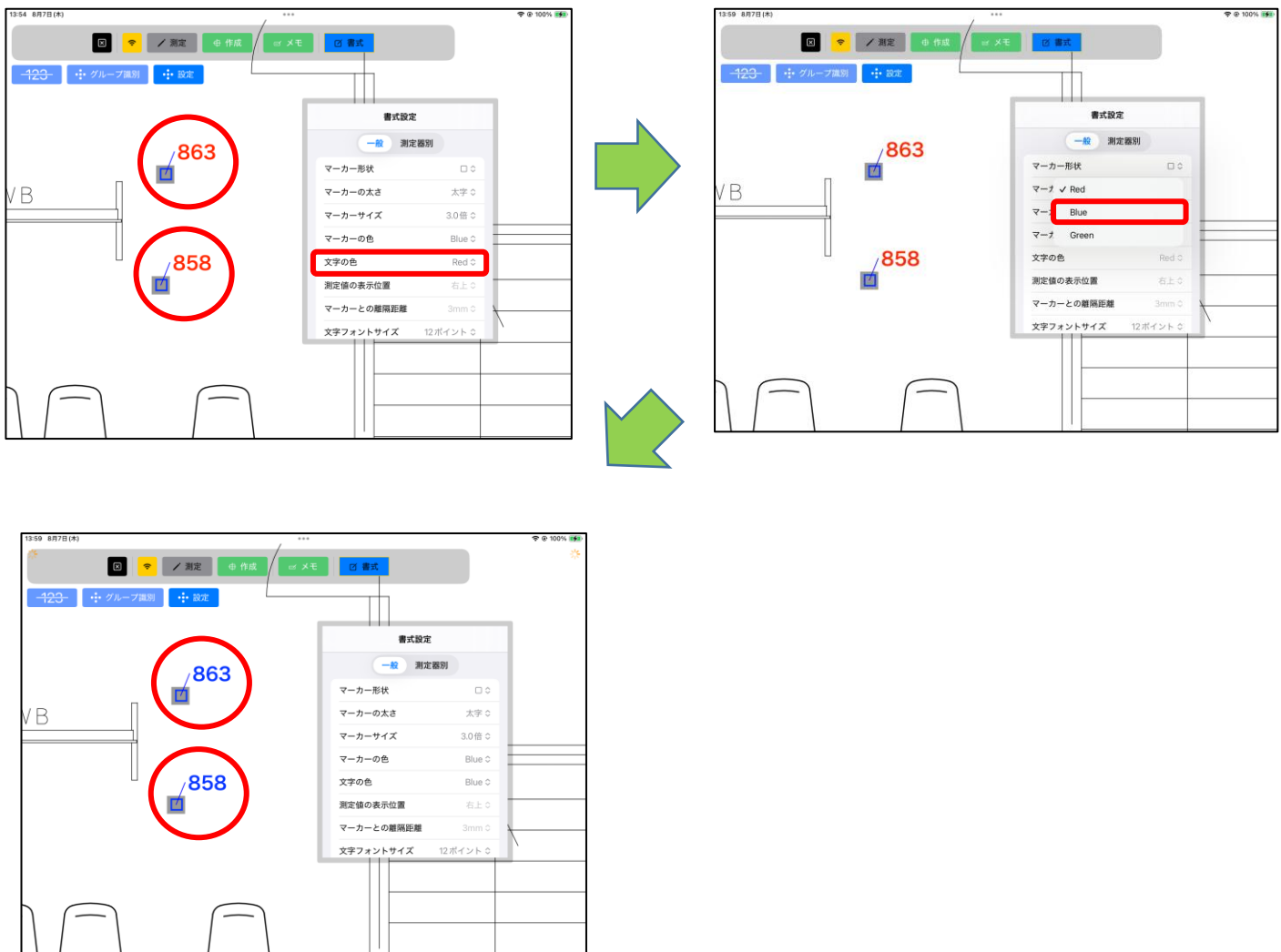
名称	役割
マーカー形状	マーカーの形状を変更可能。
マーカーの太さ	マーカーの太さを変更可能。
マーカーサイズ	マーカーのサイズを変更可能。
マーカーの色	マーカーの色を変更可能。
文字の色	表示されている測定値の文字色を変更可能。
測定値の表示位置	表示されている測定値の位置を八方に変更可能。
マーカーとの離隔距離	測定ポイントと測定値の距離を変更可能。
文字フォントサイズ	表示されている測定値の文字サイズを変更可能。
引き出し線表示	測定ポイントと測定値の間に引き出し線を表示可能。
測定値背景色	表示されている測定値の背景色を変更可能。



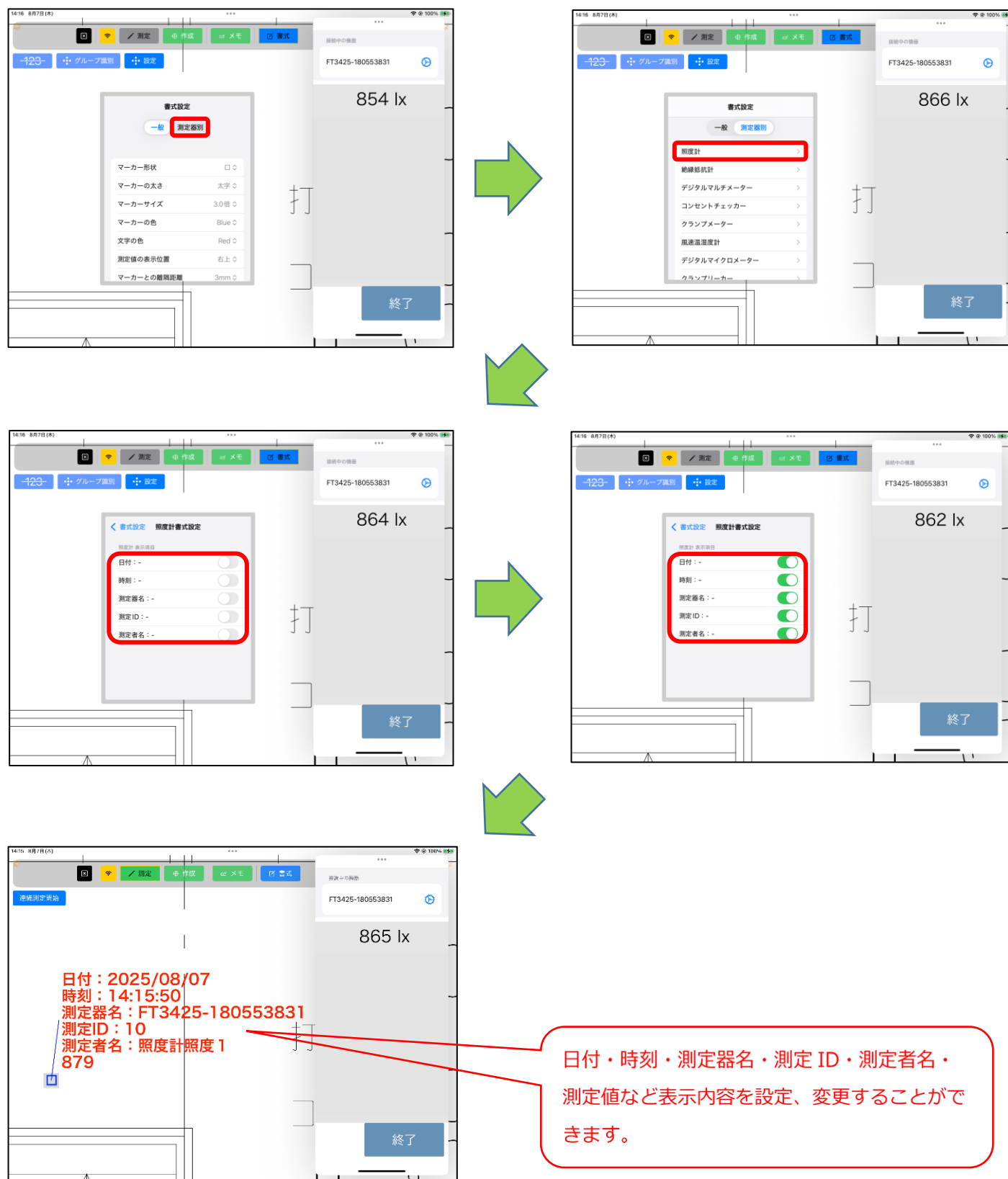
変更したい測定ポイントをタップすると、現在設定されている書式が表示されます。
 任意の書式変更を行うと、変更内容が反映されます。

注記

- ◇ 同時に複数の測定ポイントを選択ができます。この場合、最後に選択した測定ポイントの書式が表示されます。
- ◇ 既に作成された測定ポイントの「測定値の表示位置」「マーカーとの離隔距離」を変更することはできません。



測定器ごとに、表示する内容を変更することができます。



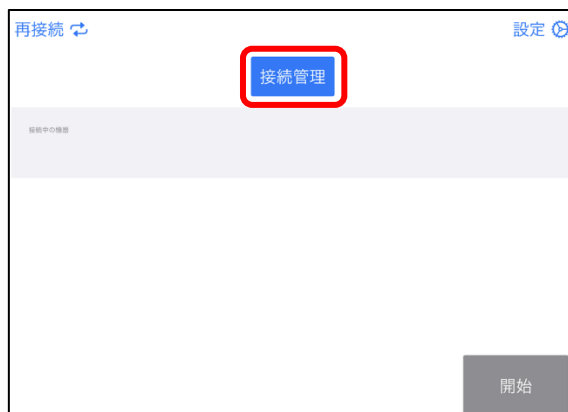
日付: 2025/08/07
時刻: 14:15:50
測定器名: FT3425-180553831
測定ID: 10
測定者名: 照度計照度 1 879

日付・時刻・測定器名・測定ID・測定者名・測定値など表示内容を設定、変更することができます。

注記

- 測定 ID は、測定ポイントに対して、測定することで、自動で番号振り分けされます。
以降、連番で振り分けられます。
- 番号を初期化したい場合は、以下の手順で初期化してください。
- 初期化すると、番号は「1」からとなります。

「接続管理」を押します。



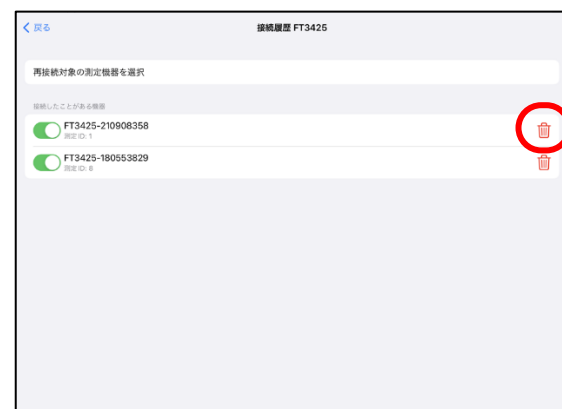
「接続履歴」を押します。



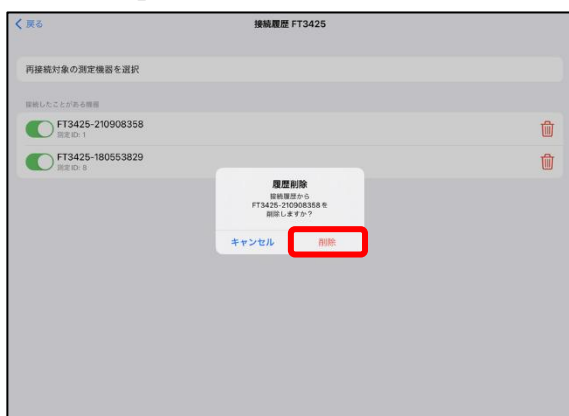
接続履歴を削除したい測定器を選択します。



削除する測定器の右端にある
「ゴミ箱マーク」を押します。



「削除」を押します。

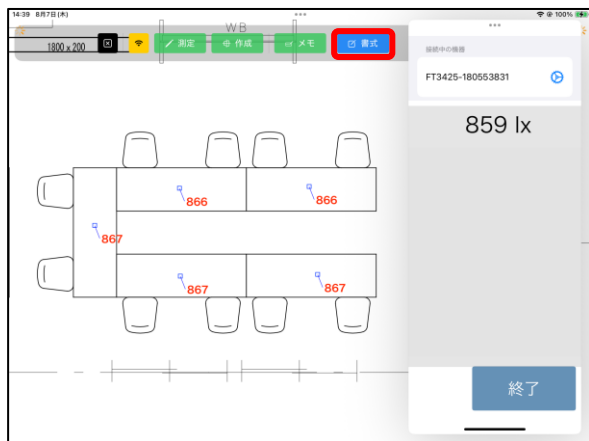


これで初期化完了です。

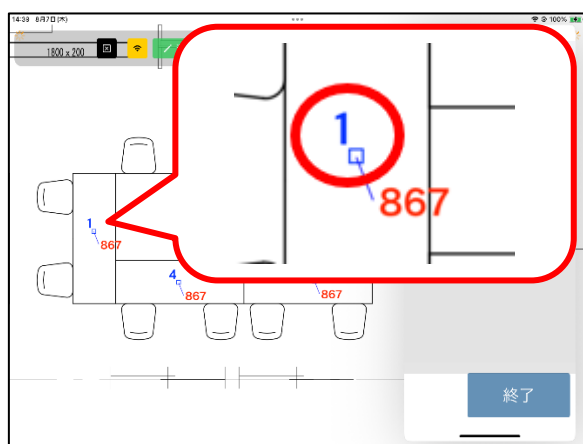


⑪ ポイントインデックスの表示

「書式」ボタンをタップすると、書式設定モードになり「ポイントインデックス表示トグル」が表示されます。



ボタンをタップして「有効」にすると、測定ポイントの左上に「ポイントインデックス（番号）」が表示されます。再度「ポイントインデックス表示」ボタンをタップし「無効」にすると非表示となります。

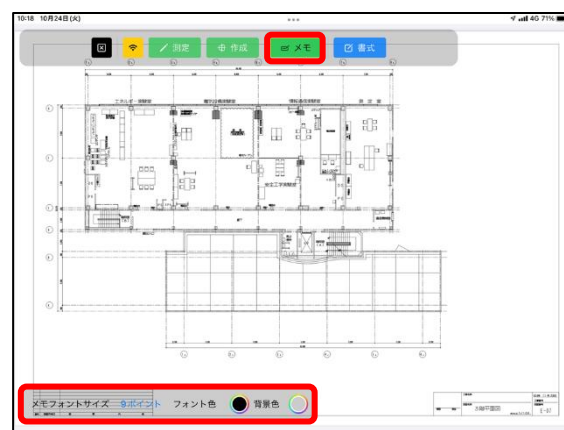
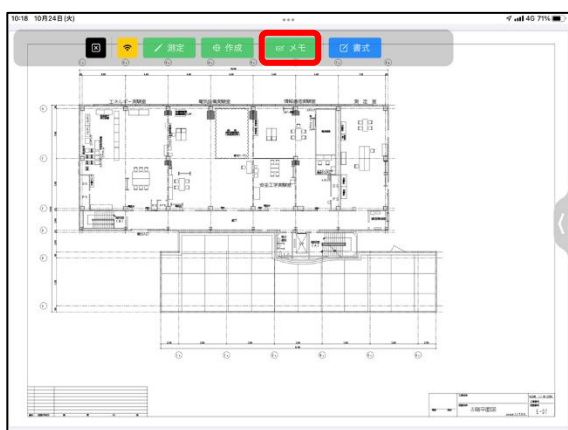
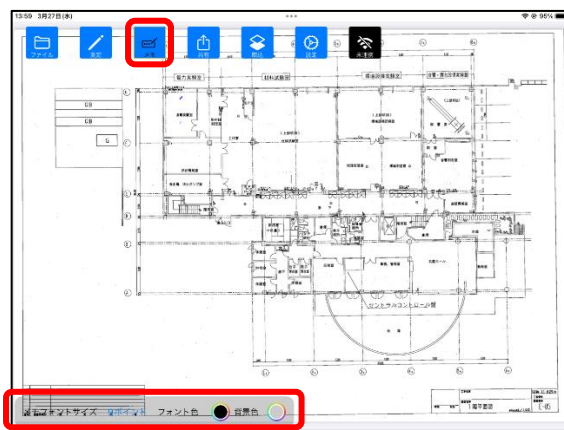
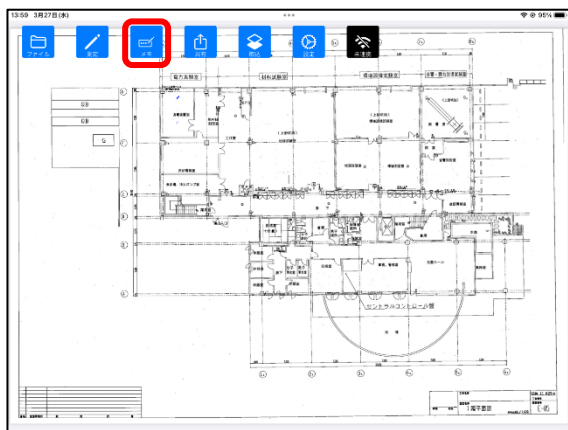


※ポイントインデックス：ページ内で作成された測定ポイントに割り振られる番号

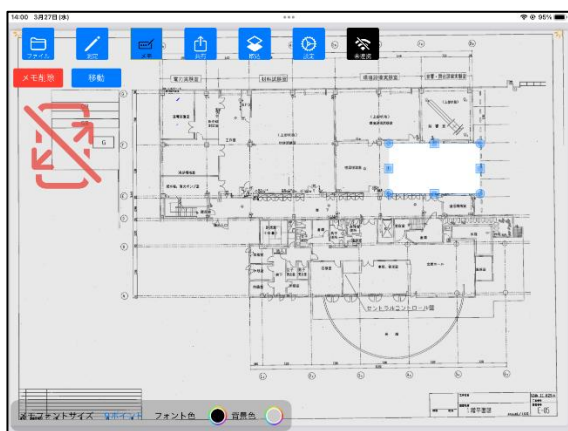
※測定ポイントの書式（マーカーの太さ、サイズ、色）を変更すると、ポイントインデックスの書式も同時に変更されます

⑫ メモの選択モード

メインメニューの「メモ」、または測定メニューの「メモ」をタップすると、メモ選択モードになり、メモの作成/削除/移動、メモの書式設定ができます。

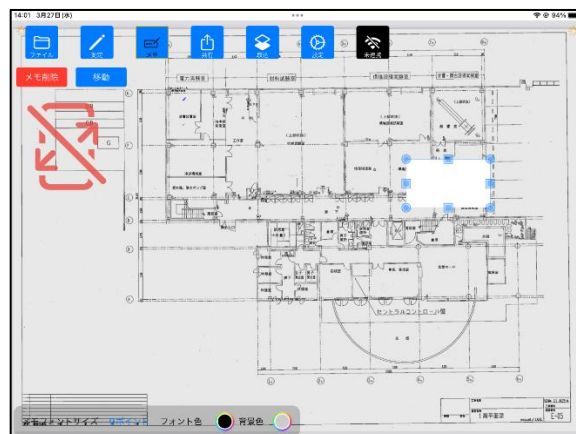
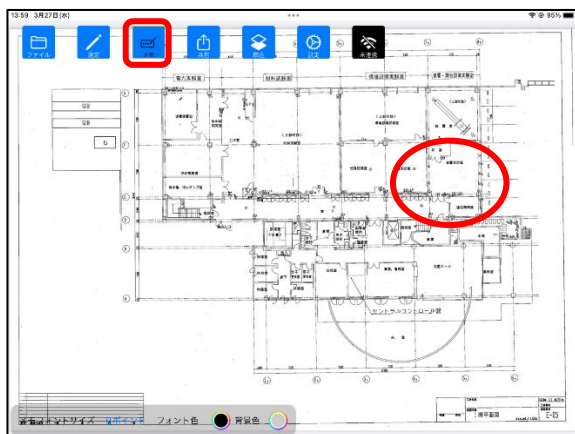


メモ選択モードでメモを選択した状態になると、左上に拡大縮小禁止マークが表示され、PDF 図面の拡大縮小・移動ができない状態になります。



⑬ メモの作成

メモ選択モードで PDF 図面上の任意の箇所をタップすると、メモが作成できます。

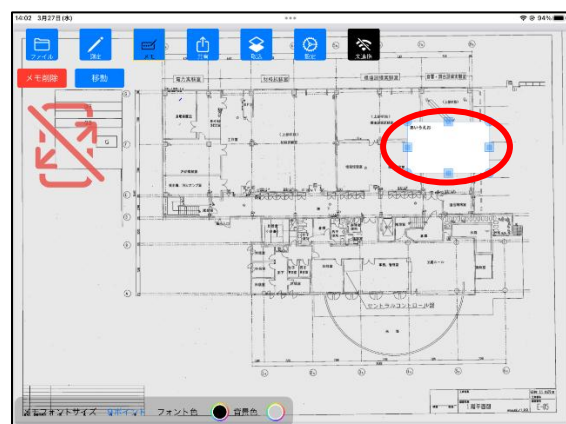
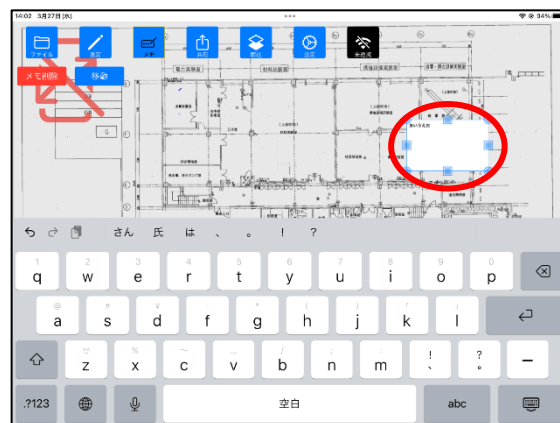
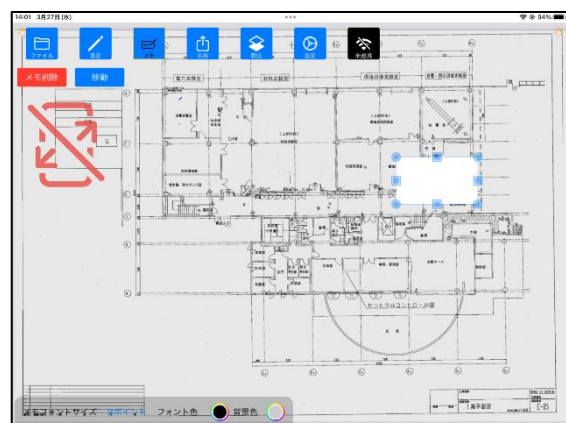


⑭ メモの編集

メモを選択した状態でメモの中央をタップすると、メモの内容を編集できます。

注記

◇ メモを複数選択してのメモ編集はできません。



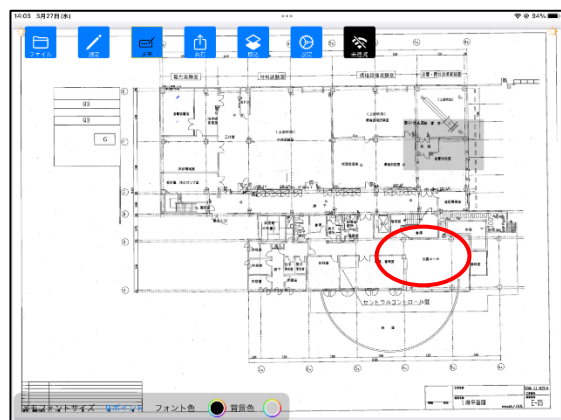
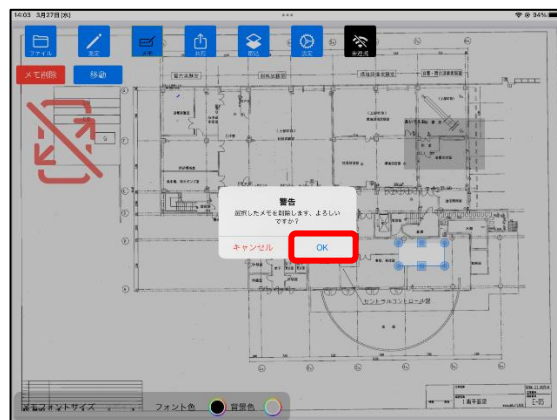
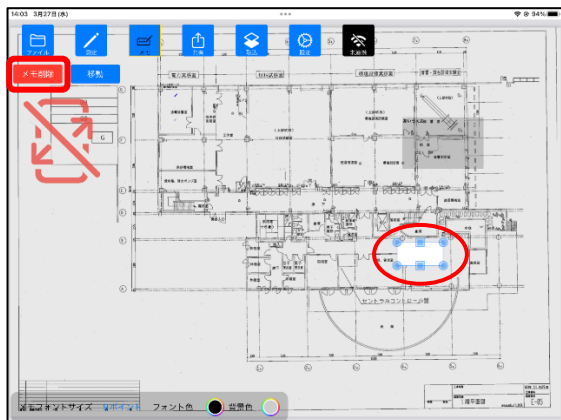
⑮ メモの削除

メモ選択モードでメモを選択すると、画面左上に「メモ削除」ボタンが表示されます。

「メモ削除」ボタンを押すと警告が表示され、「OK」ボタンを押すとメモが削除されます。

注記

◇ メモは同時に複数選択できます。

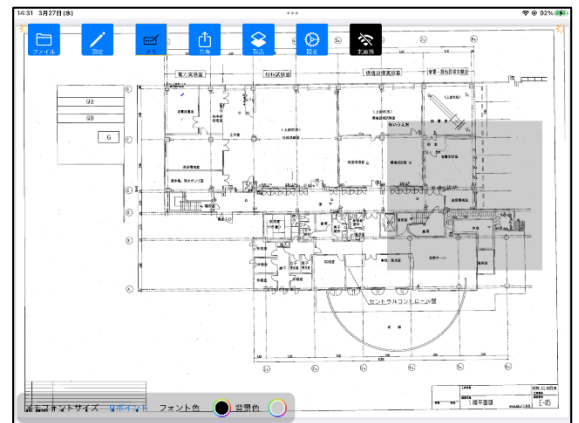
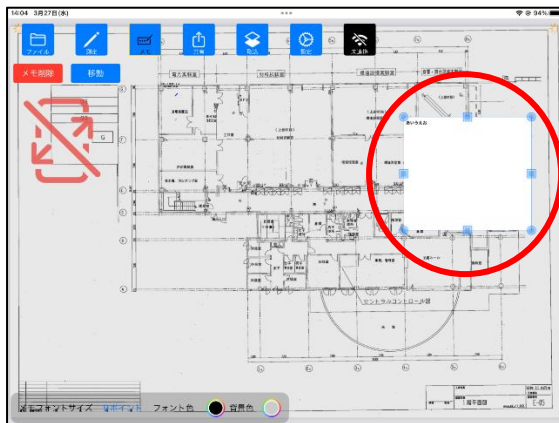
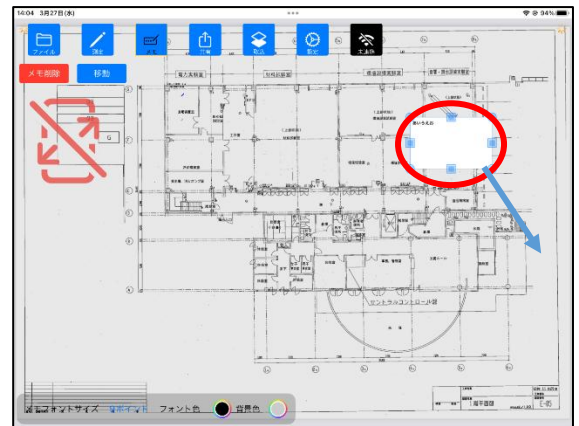
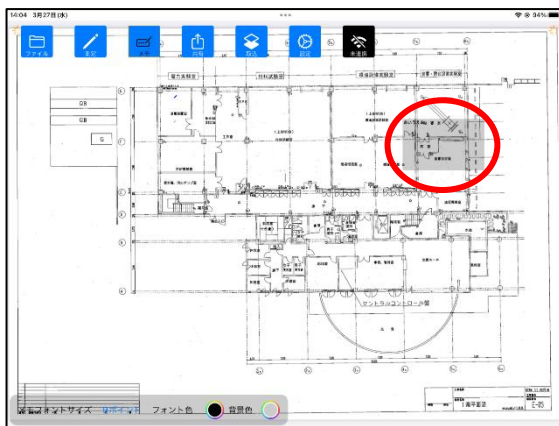


⑩ メモのサイズ変更

メモ選択モードでメモを選択すると、メモの八方向にツマミが表示されます。八方向に配置されたツマミをドラッグすると、メモのサイズを変更できます。

注記

◇ メモを複数選択してのサイズ変更はできません。



⑰ メモの書式設定

メモ選択モードで左下に表示されるメモ書式メニューを選択すると、メモの各種設定ができます。

注記

✧ メモを選択しない状態で書式変更を行うと、以降に作成するメモの書式に反映されます。

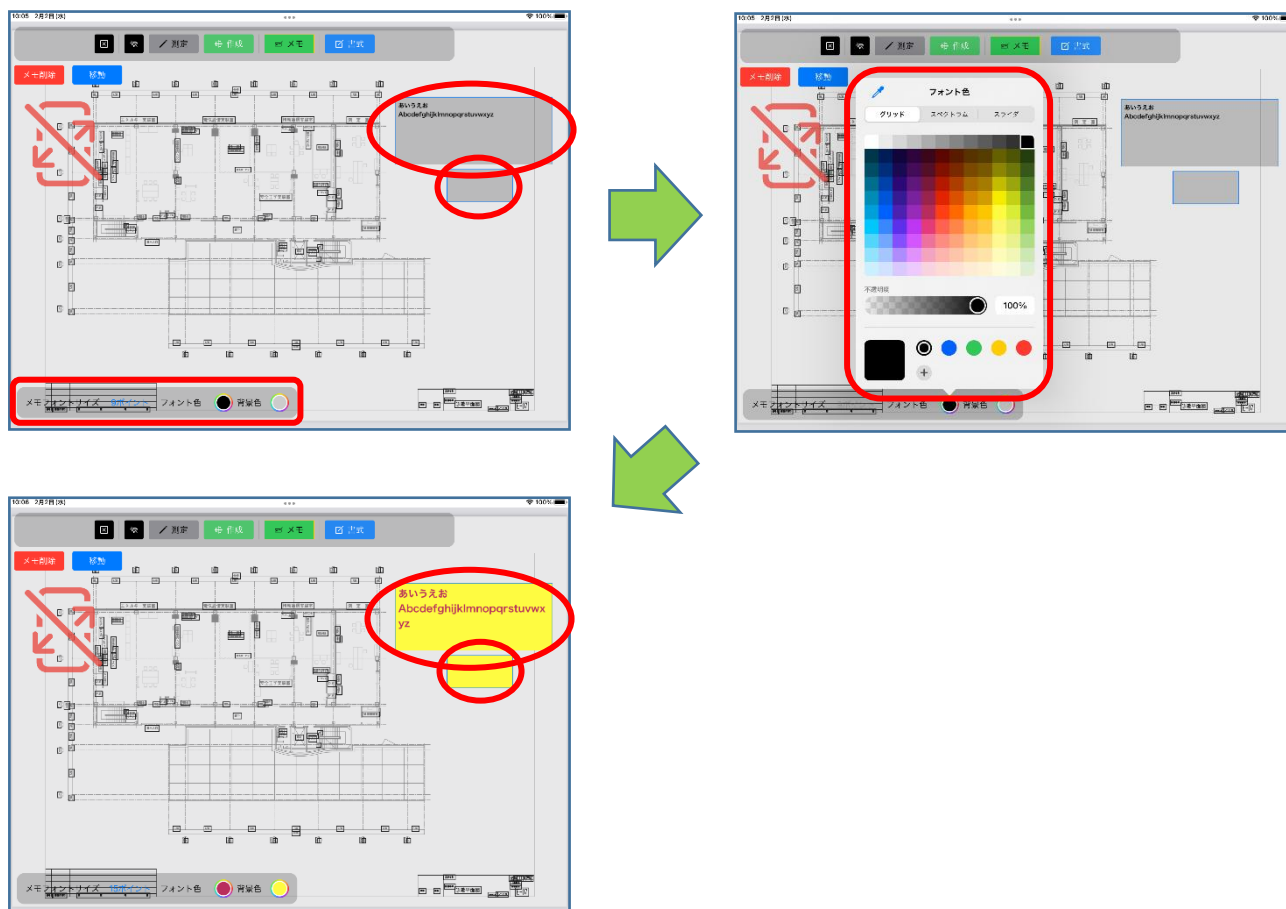
名称	役割
メモフォントサイズ	メモのフォントサイズを変更可能。
フォント色	メモのフォント色を変更可能。
背景色	メモの背景色を変更可能。

メモをタップすると、現在設定されている書式が表示されます。

書式変更を行うと、変更内容が反映されます。

注記

✧ 同時に複数のメモを選択状態できます。この場合、最後に選択したメモの書式が表示されます。

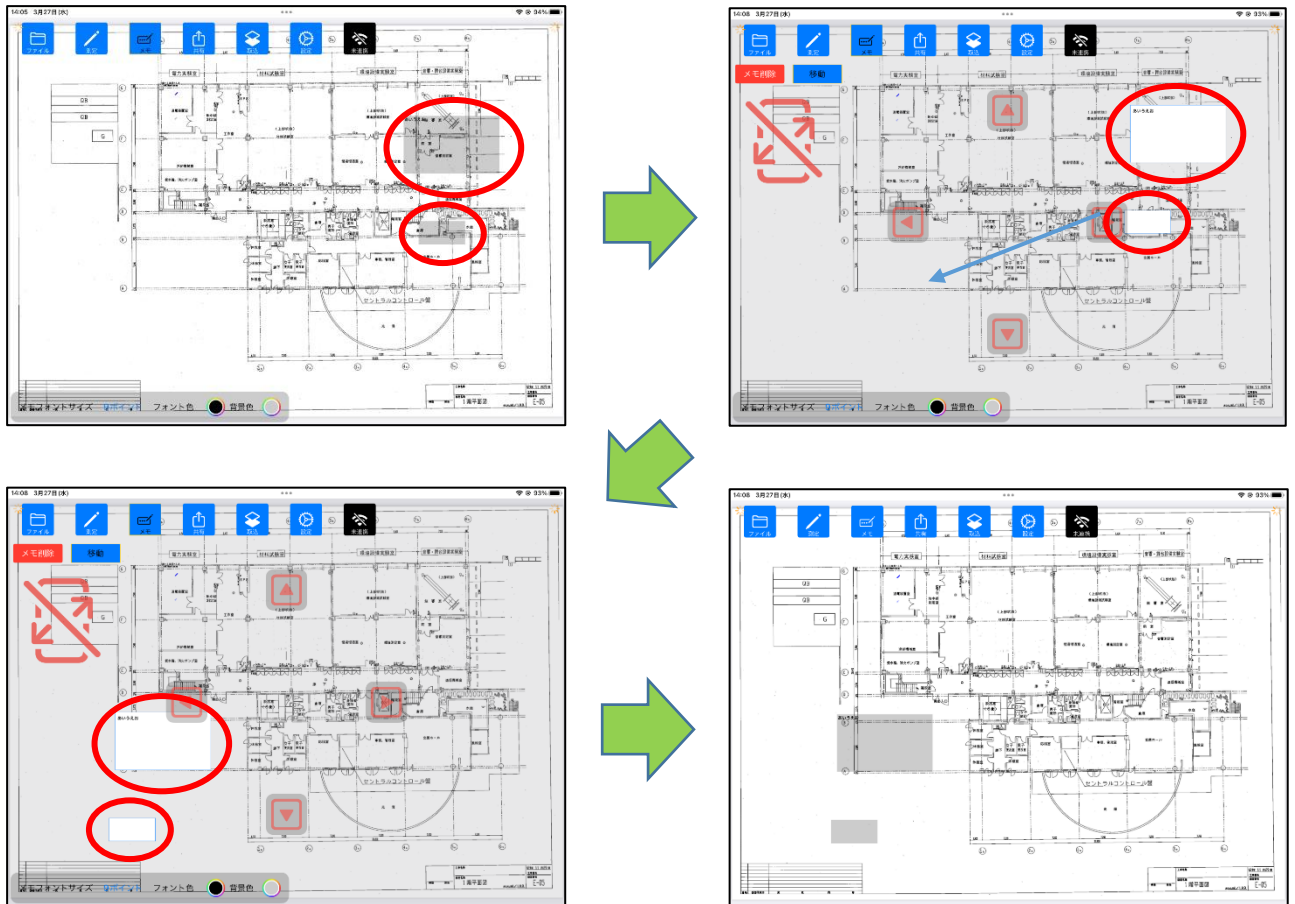


⑮ メモの移動（ドラッグ移動）

メモ選択モードでメモを選択し、中央部を選択してドラッグすると、メモを移動できます。

注記

◇ 同時に複数選択できます。

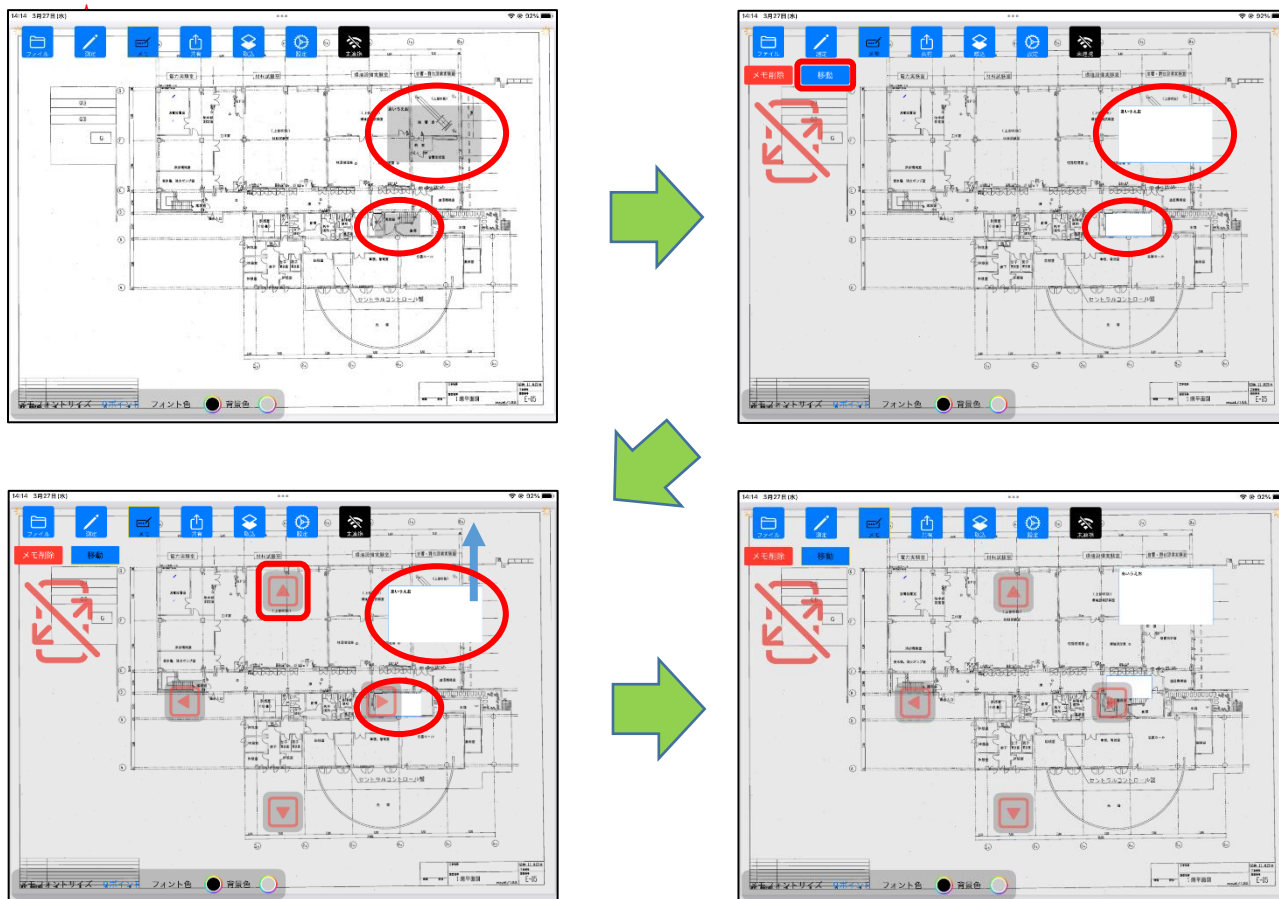


⑬ メモの移動（矢印キー移動）

メモ選択モードでメモを選択すると、画面左上に「移動」ボタンが表示されます。「移動」ボタンをタップし、四方の矢印をタップすると、指定した方向に1座標ずつ移動します。

注記

- ◇ 同時に複数選択できます。
- ◇ メモ移動モードでも「⑬メモの削除」「⑭メモの移動（ドラッグ移動）」ができます。



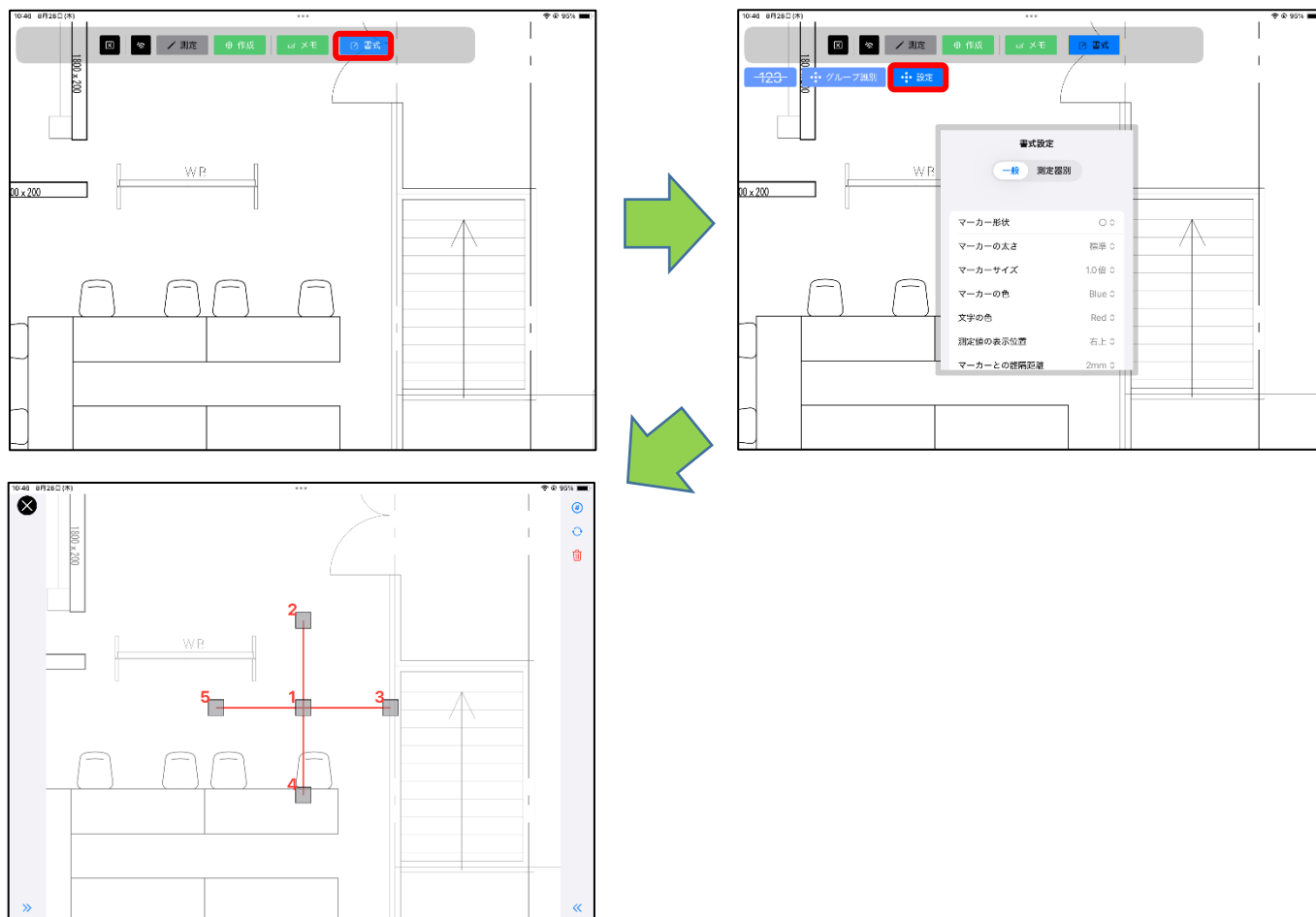
② 測定ポイント一括作成

● 作成方法

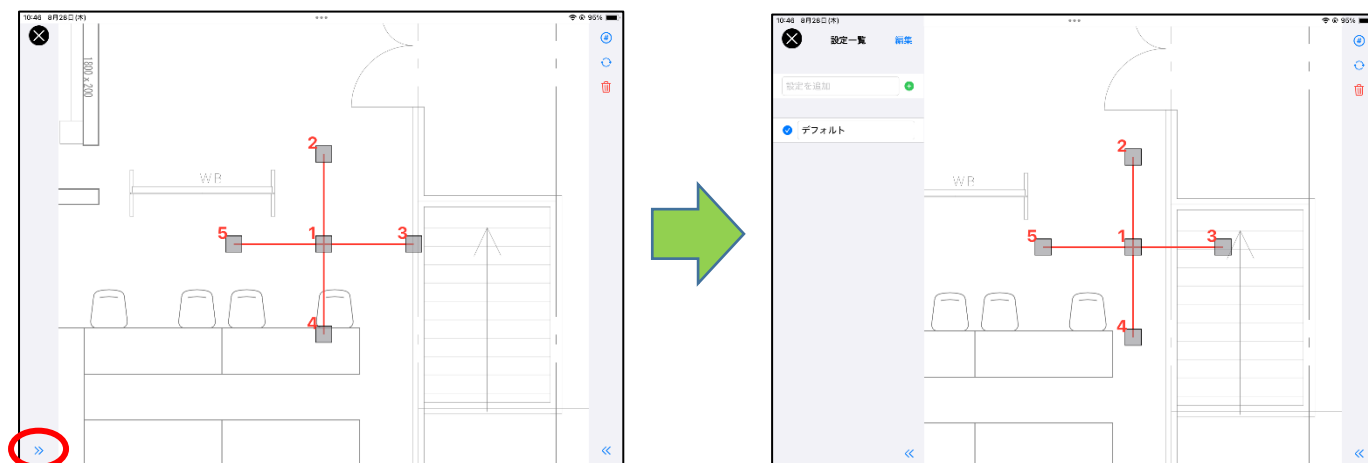
「書式」ボタンをタップすると、書式設定モードになり「設定」ボタンを表示します。

「設定」ボタンをタップすると、測定ポイント一括作成画面を表示します。

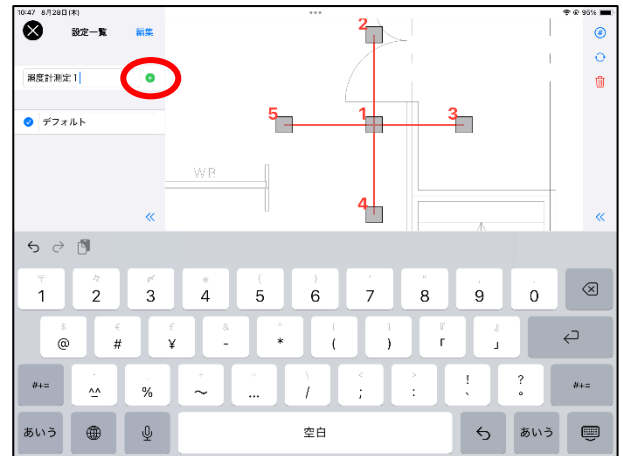
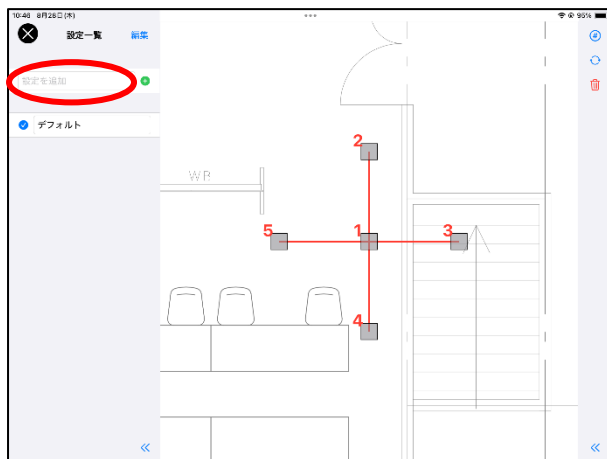
※初期設定では「デフォルト」を表示します。



デフォルト以外の設定を追加する場合は、画面左下の「>>」をタップし設定一覧を表示します。

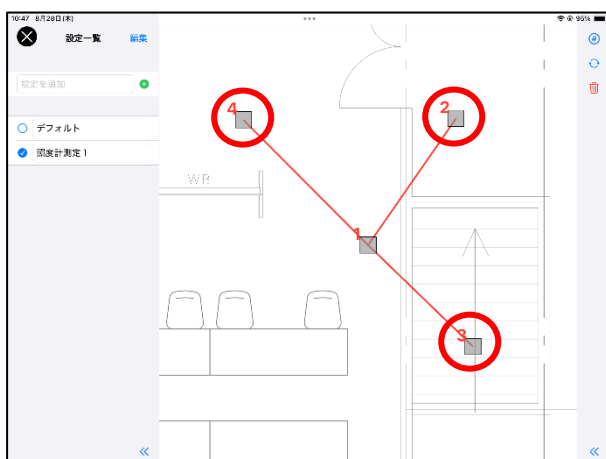
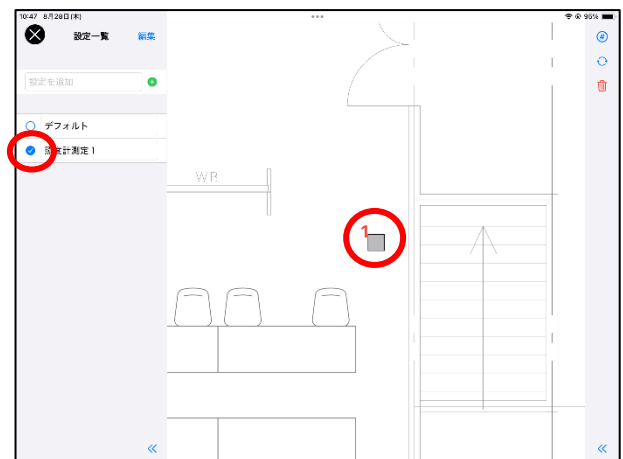
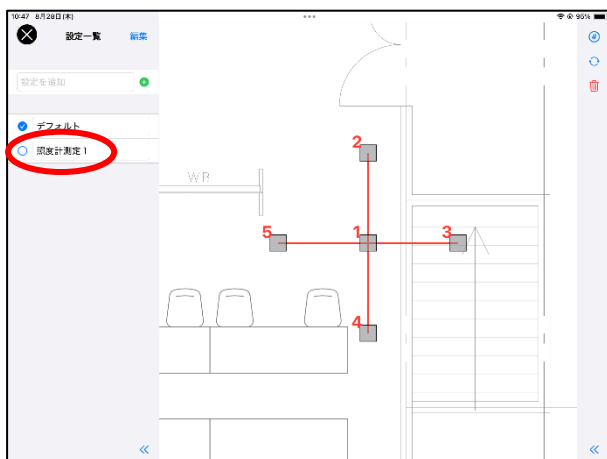


追加する設定名を入力し、「⊕」をタップします。



設定一覧に作成した設定名が追加されるので、「○」にチェックを入れます。

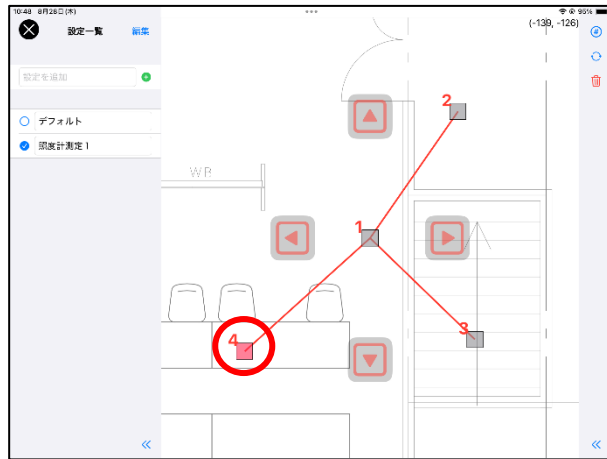
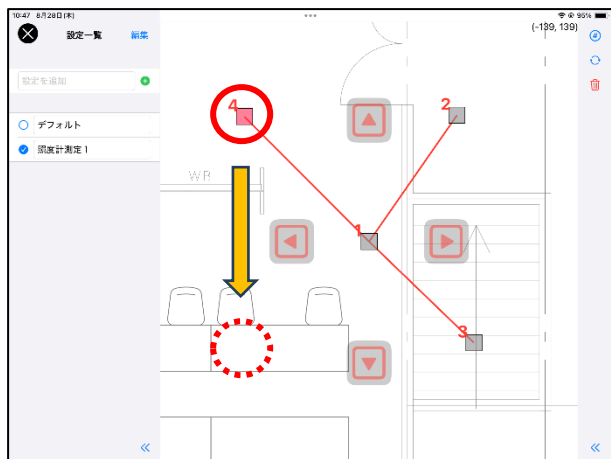
親測定ポイントを表示します。画面の任意の個所をタップし子測定ポイントを作成します。



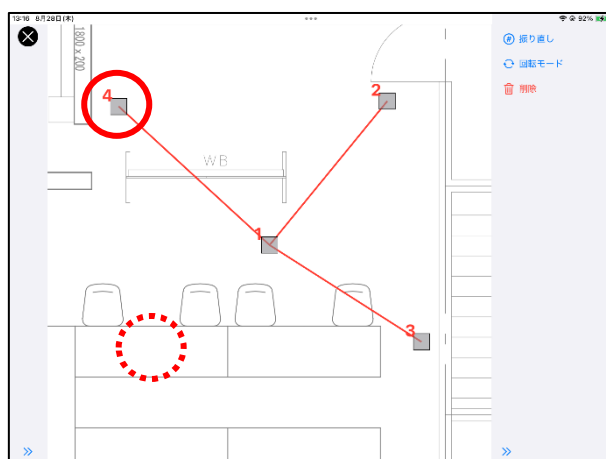
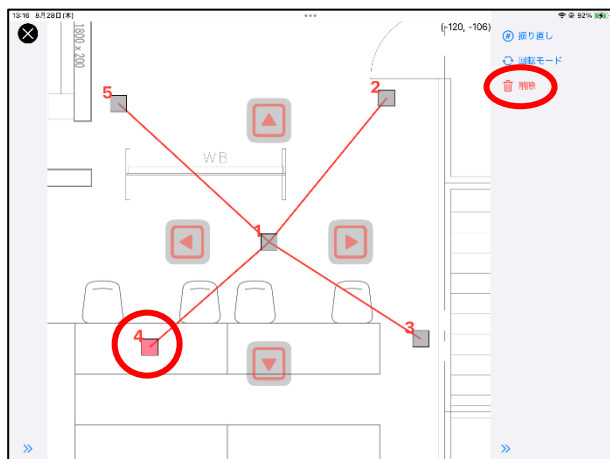
測定ポイントをタップすると、桃色でハッチングされ移動ボタンを表示します。

再度タップすると選択が解除され、移動ボタンが非表示になります。

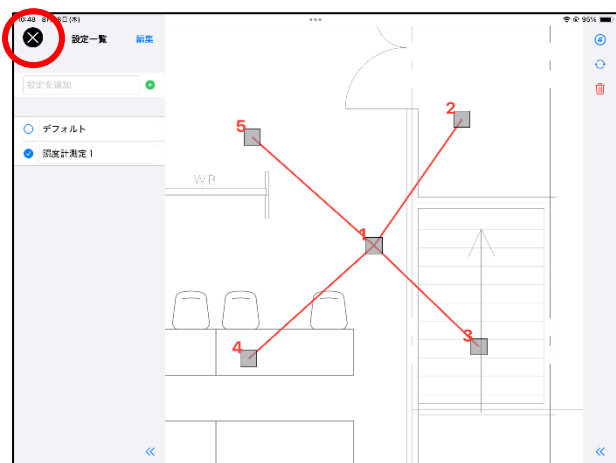
選択中の測定ポイントをドラッグまたは移動ボタンをタップして移動できます。



また、「削除」をタップすると、選択中の測定ポイントが削除され、自動でポイントインデックス番号が振り直しされます。

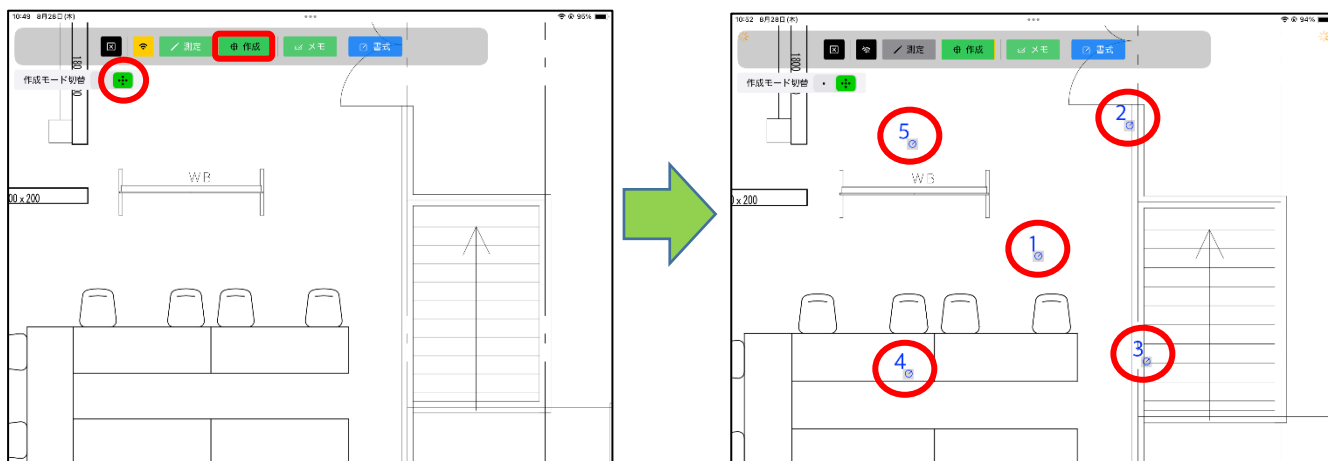


作成完了後、「×」ボタンをタップして、終了します。



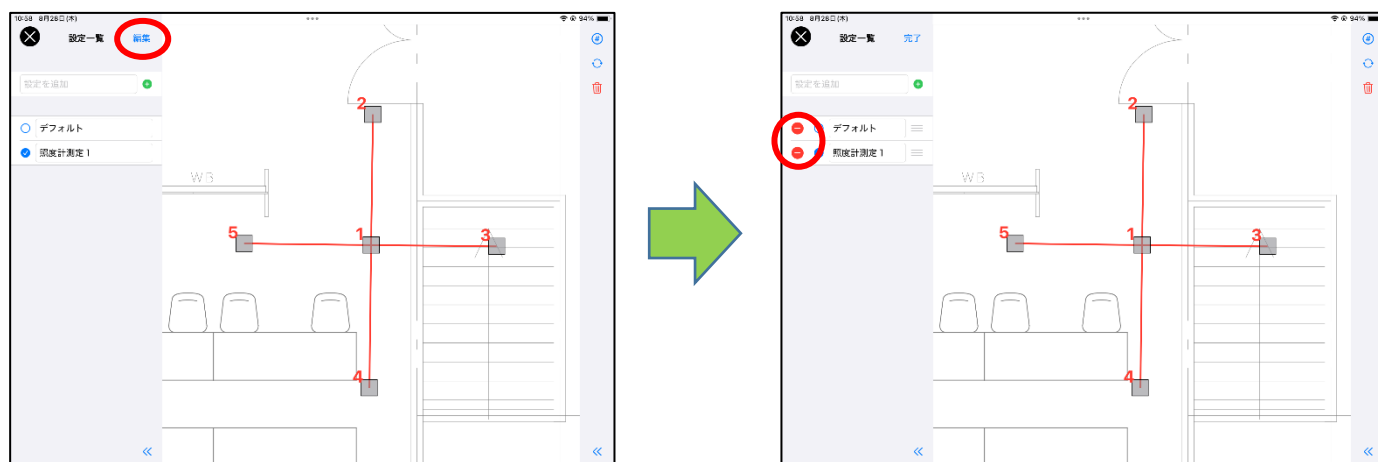
測定メニューから「作成」ボタンをタップし、作成モード切替から「一括作成」モードを選択、PDF 図面上の任意の個所をタップする。

上記で作成・選択した設定名の通り測定ポイントが作成されます。



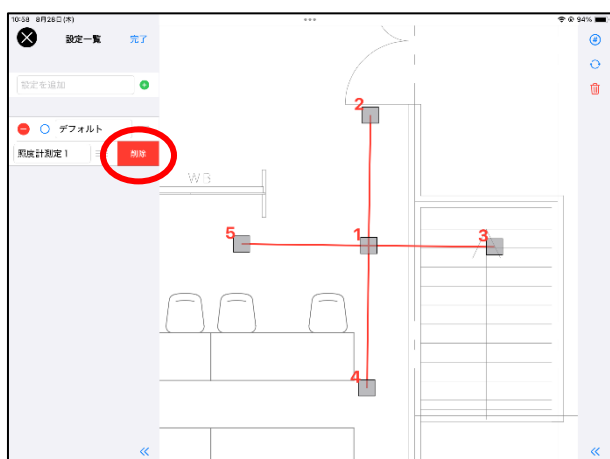
●削除方法

「編集」をタップすると設定名の左側に「Θ」を表示します。

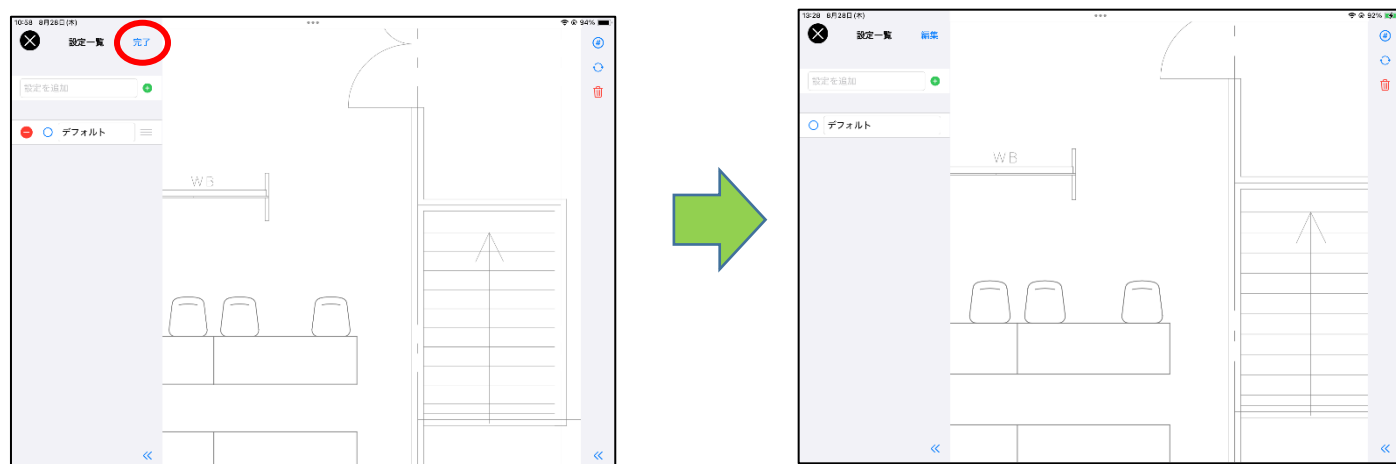


削除したい設定名の「Θ」をタップすると設定名の右側に「削除」を表示します。

「削除」をタップすると一覧から削除されます。

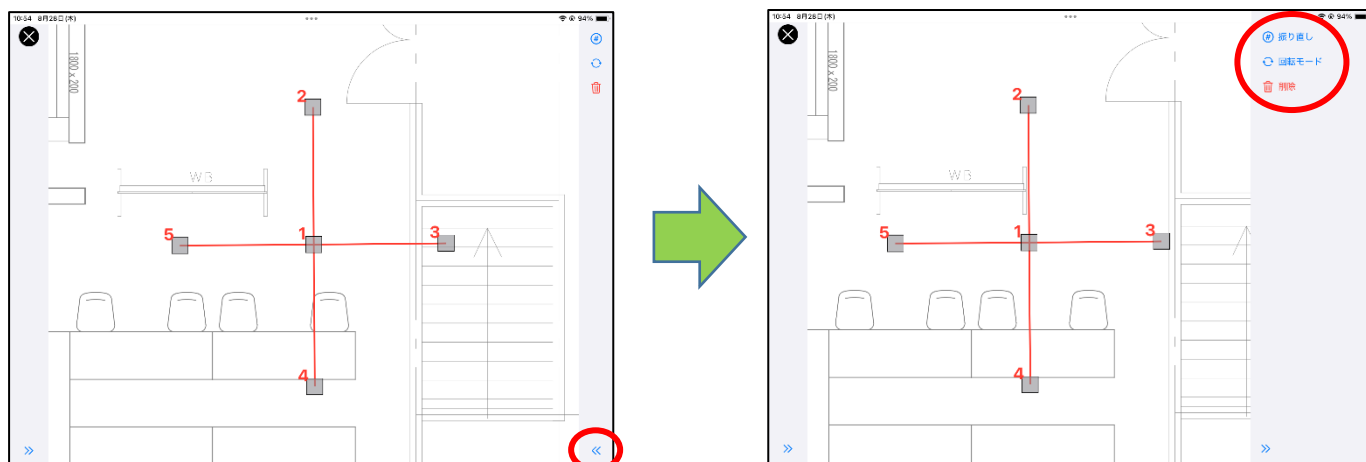


「完了」をタップして、終了します。



●編集方法

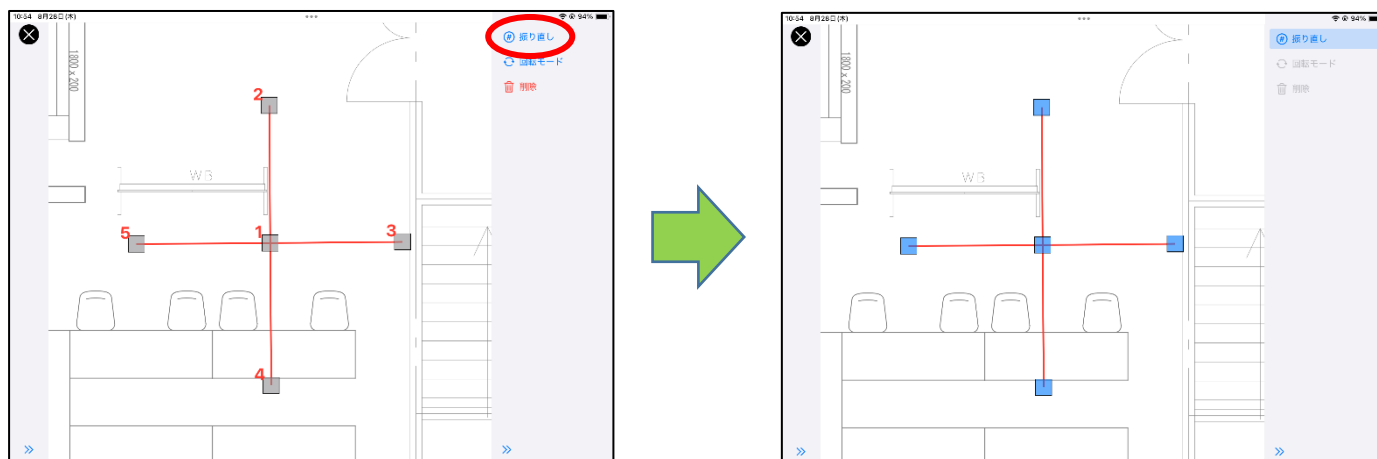
画面右下の「<<」をタップします、「振り直し・回転モード・削除」を表示します。



・振り直しモード

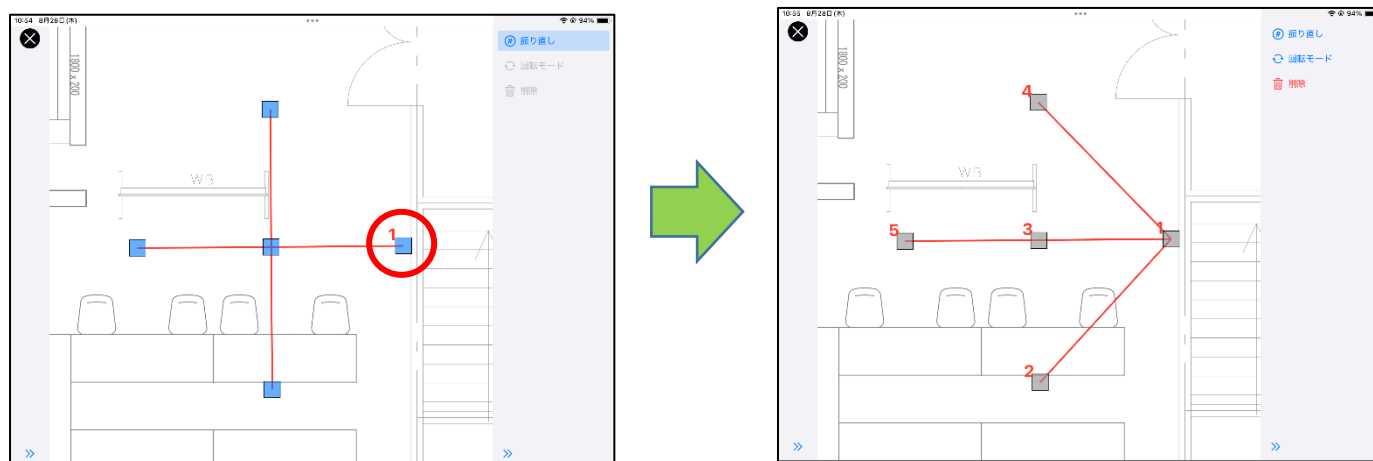
「振り直し」をタップすると振り直しモードを表示します。

ポイントインデックス番号が非表示となり、測定ポイントが水色でハッチングされます。

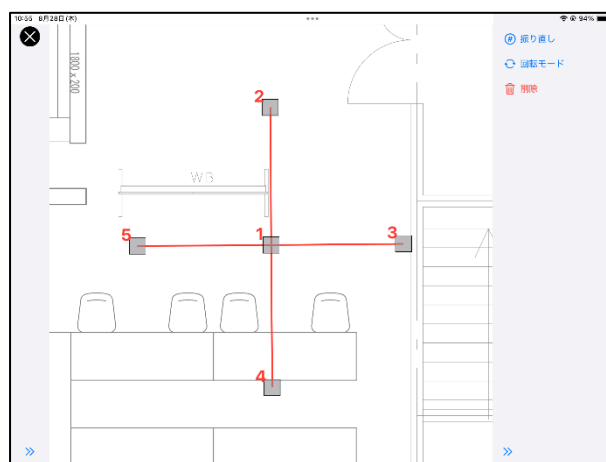
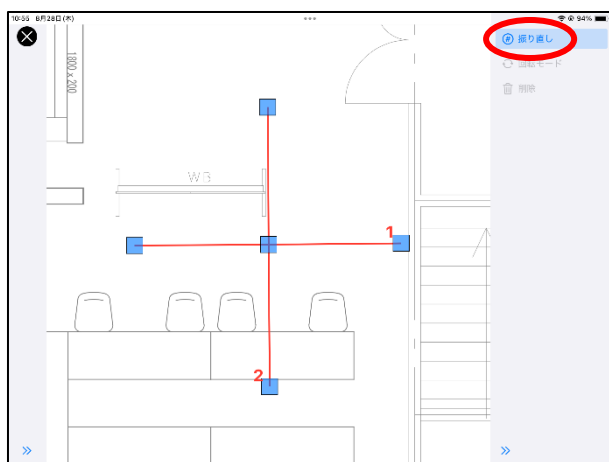


測定ポイントをタップした順番に「1」からポイントインデックス番号が振り直しされます。

全ての測定ポイントをタップすると振り直しモードが終了します。

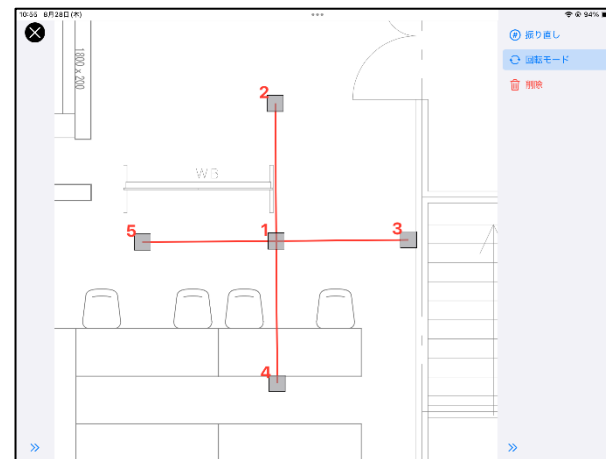
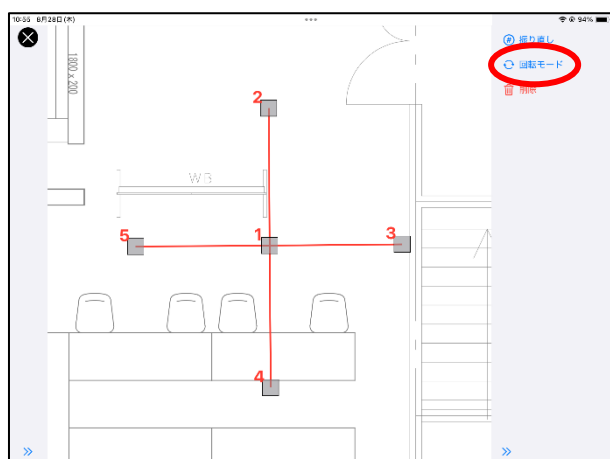


振り直しモード中に、再度「振り直し」をタップすると振り直しをキャンセルし、振り直しモードを終了します。

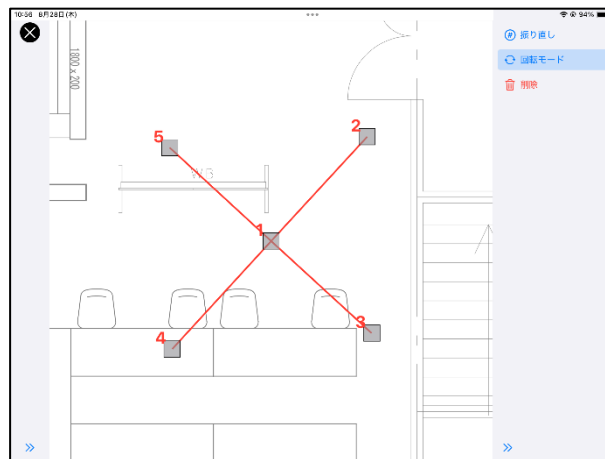
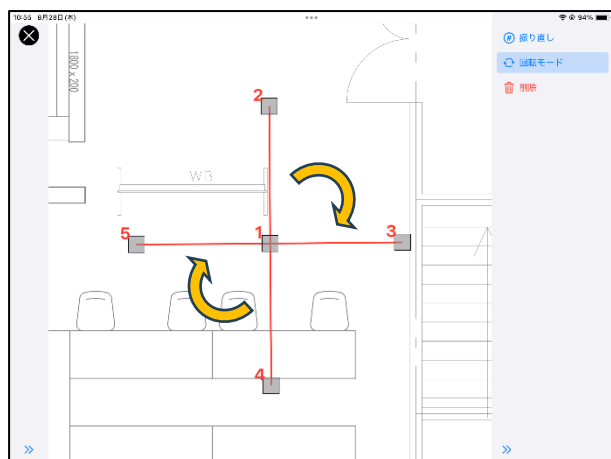


・回転モード（回転・拡大・縮小）

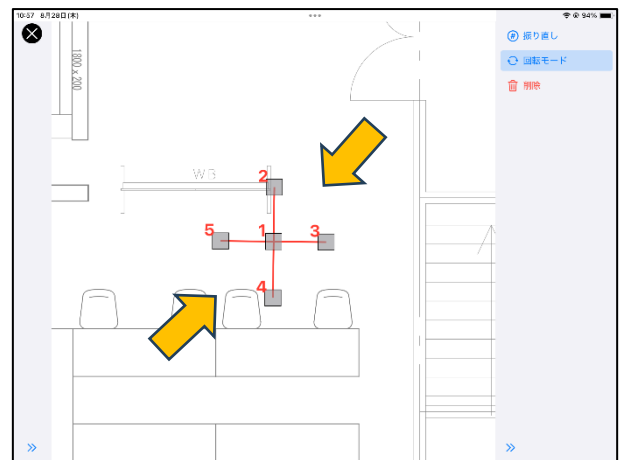
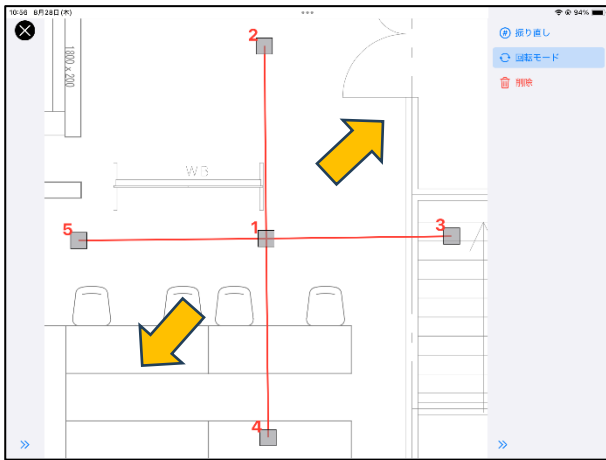
「回転モード」をタップすると回転モードを表示します。



画面上を2本指で回すように動かすとポイントインデックス番号「1」（親測定ポイント）を中心に子測定ポイントの位置が回転します。

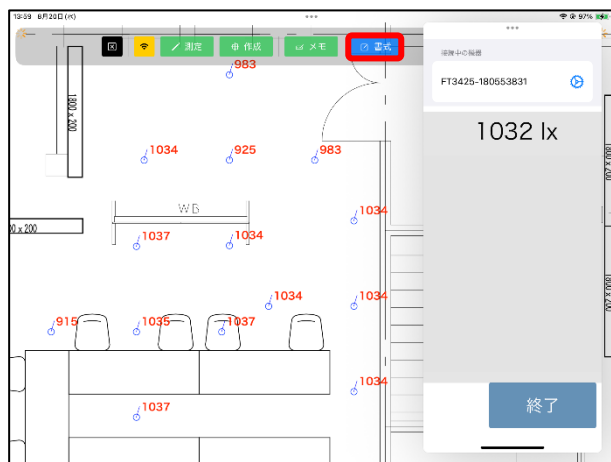


また、画面上でピンチアウト、ピンチインすると、親測定ポイントと子測定ポイント間の距離を拡大・縮小できます。

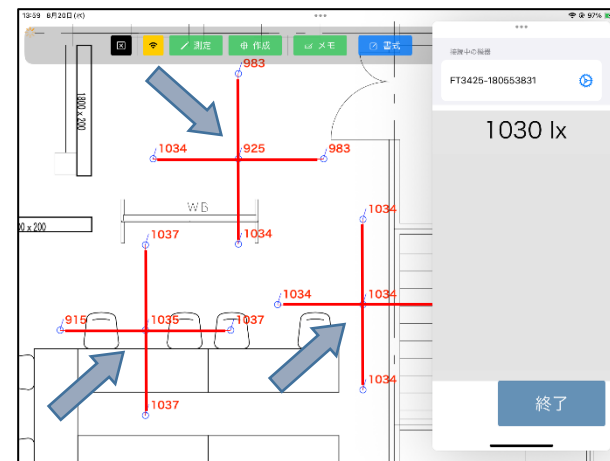


② グループ識別ボタン

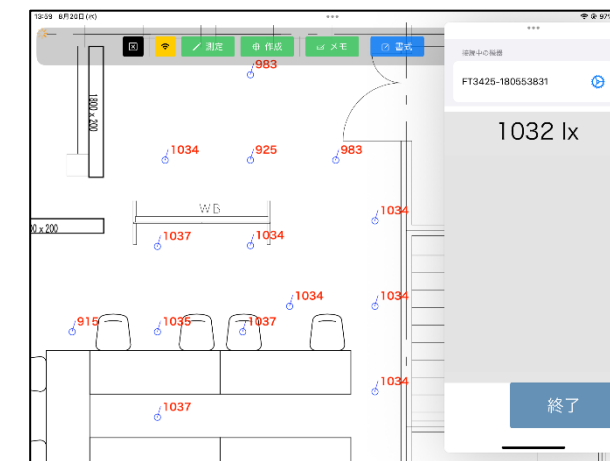
「書式」ボタンをタップすると、書式設定モードになり「グループ識別」ボタンを表示します。



「グループ識別」ボタンをタップすると、一括作成モードで作成した測定ポイントの親測定ポイントと子測定ポイント（グループ）の間に線を表示します。



再度「グループ識別」ボタンをタップすると、線を非表示にします。



② ファイル保存中ダイアログ表示

ファイル保存中は、画面上部にインジケータ、画面中央に「保存中」ダイアログを表示します。

ファイル保存中も操作は可能ですが、ファイル保存中はアプリケーションを終了しないでください。

「保存中」ダイアログは、以下の操作で非表示にすることができます。

- ・「編集を続ける」をタップし、ダイアログを閉じます。

こちらを選択した場合、ファイル保存時に再度表示されます。

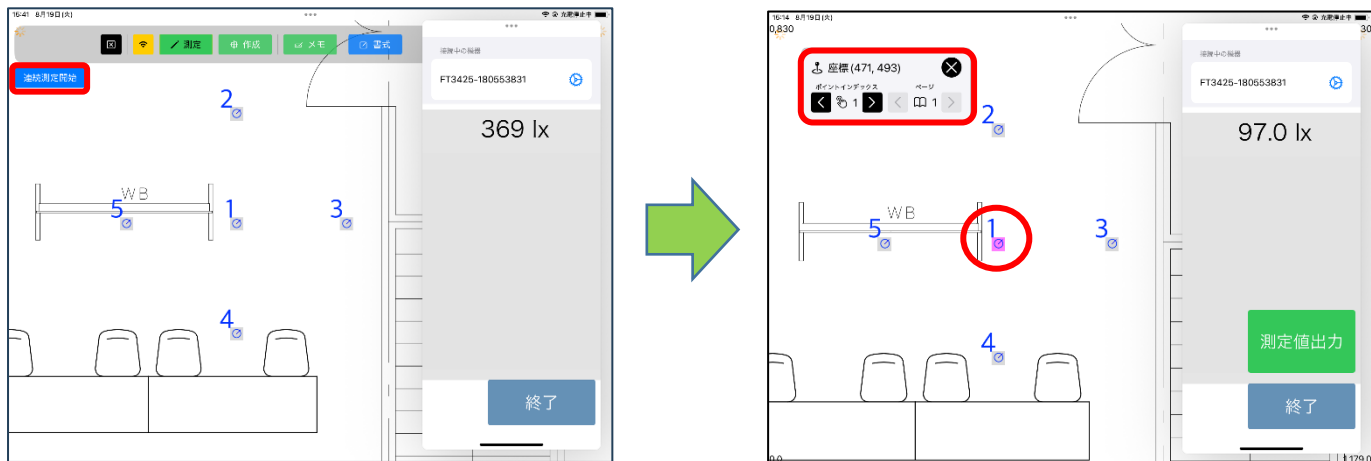
- ・「再度この警告を表示しない」横のトグルを有効にします。

こちらを選択した場合、以降「保存中」ダイアログは表示されなくなります。



② 連続測定

「連続測定開始」ボタンをタップすると、連続測定モードとなり連続測定操作パネルが表示されます。連続測定を開始する測定ポイントが桃色でハッチングされます。連続測定開始時の測定ポイントはページ内で最もポイントインデックスの小さい測定ポイントとなります。

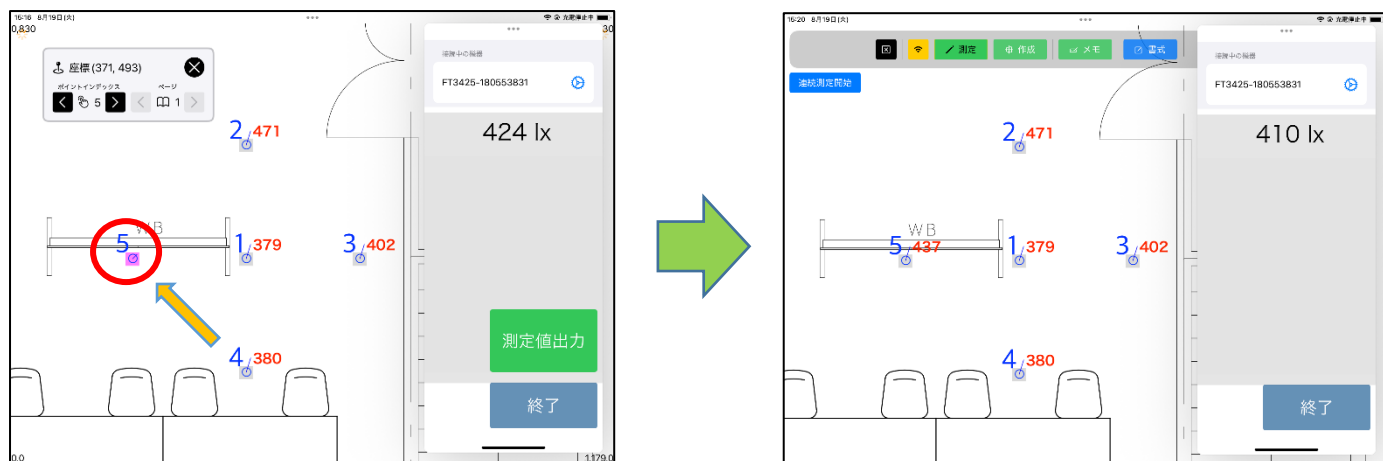


対象の測定ポイントに測定値が入力されると、自動で次の測定ポイントへ移動します。

入力方法については、P.61「12.2 測定を行う(PDFEditor)」を参照してください。

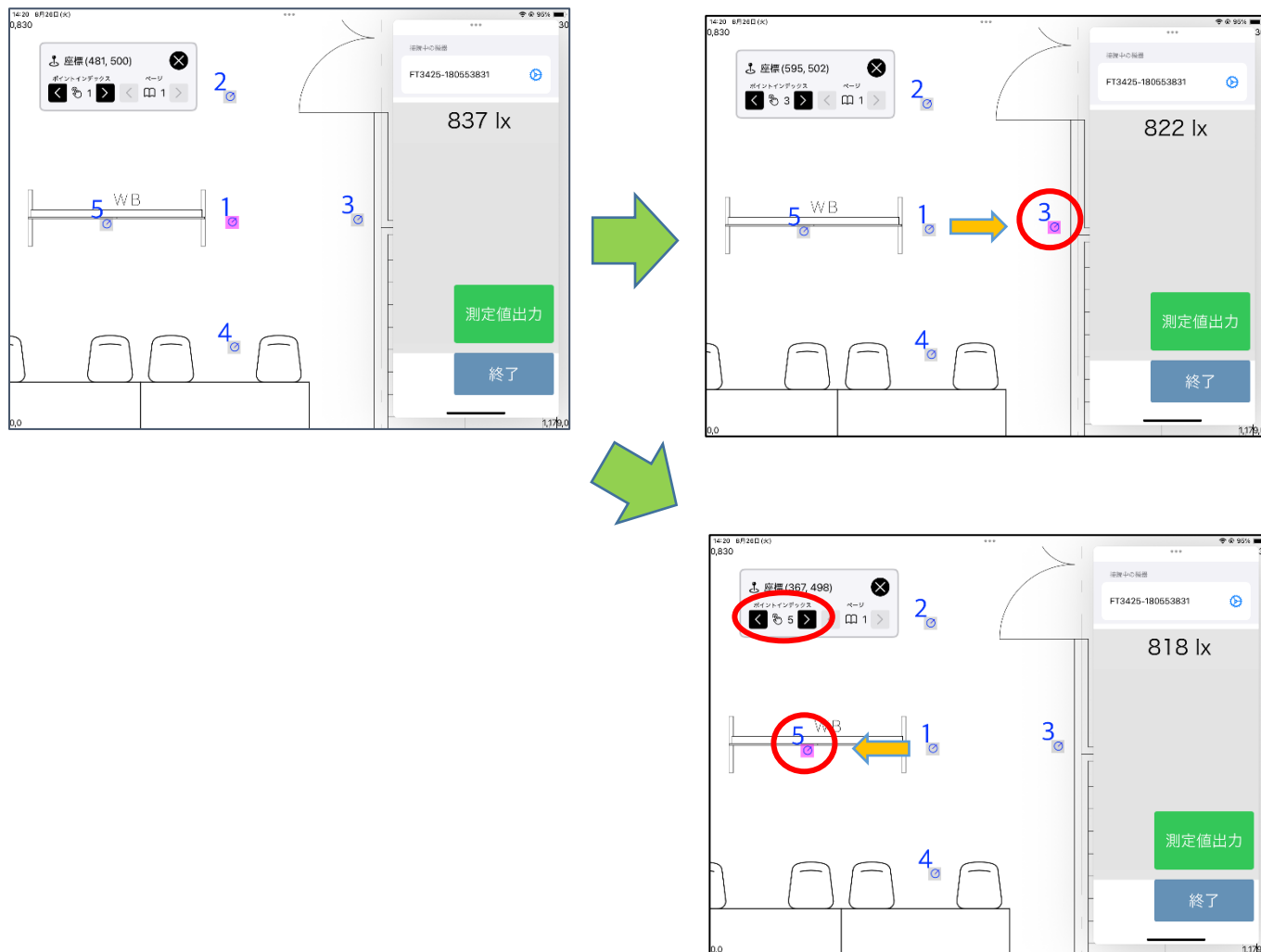


全ての測定ポイントの測定が終わると、連続測定モードを終了します。



連続測定開始時の測定ポイントは、以下の方法で変更することができます。

- ・ 開始したい測定ポイントをタップする。
- ・ 連続測定操作パネルのポイントインデックス「<」または「>」をタップして測定ポイントインデックス番号を選択する。



14.4 その他の操作

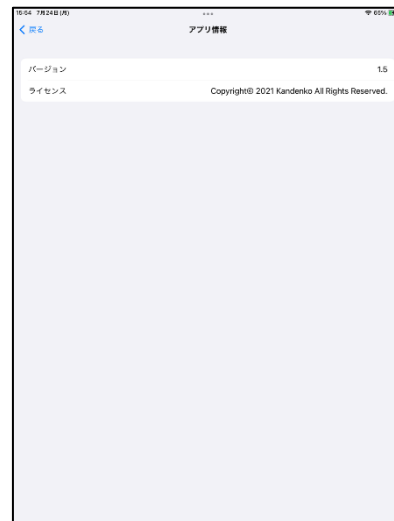
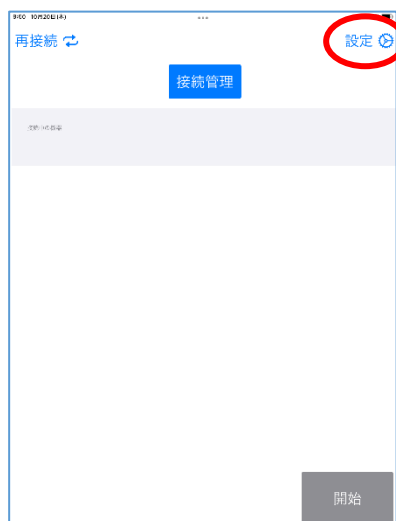
14.4.1 アプリ情報

アプリ情報を確認できます。

(ア) BLuEApp のアプリ情報

BLuEApp を起動し、「設定」ボタンをタップします。

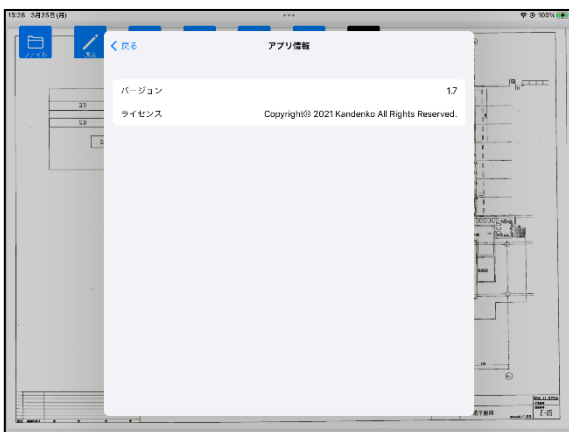
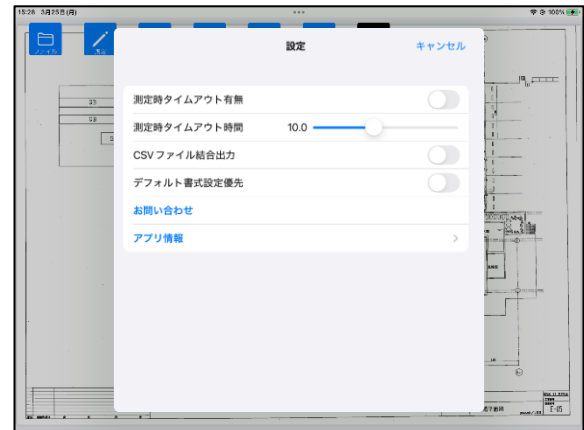
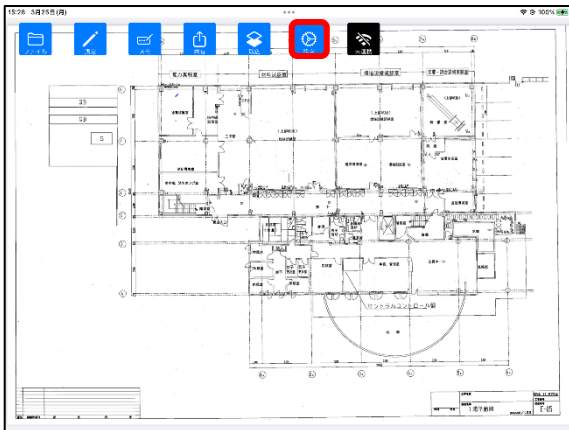
「アプリ情報」ボタンをタップします。



(イ) PDF Editor のアプリ情報

PDF Editor を起動し、「設定」ボタンをタップします。

「アプリ情報」ボタンをタップします。



15 FAQ

システム仕様

Q. iPhone シリーズで動作しますか？

A. iPhone シリーズでは動作しません。iPad のみ利用できます。

また、OS のバージョンは「iPadOS : 16」以降を使用してください。

Q. BLuEApp が前面に表示されていない状態で測定値を出力できますか？

A. BLuEApp が前面に表示されていない状態では、測定値を出力できません。

起動/連携する

Q. Excel への入力の際、BLuEApp 上に測定値は表示されているが、「セル反映」ボタンが表示されず、測定値をセルに出力できない。

A. Office アドインが「連携中」になっているか確認してください。「連携中」でない場合、BLuEApp が前面に表示された状態で「連携」ボタンをタップし、BLuEApp と Excel を連携してください。

それでも連携できない場合、一度 BLuEApp を再起動し、前面に表示してから「連携」ボタンをタップしてください。

Q. PDFEditor への入力の際、BLuEApp 上に測定値は表示されているが、測定ポイントをタップしても測定値が入力できない。

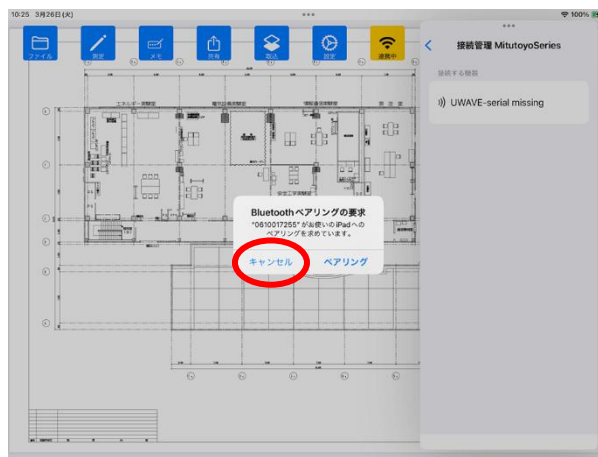
A. PDFEditor が「連携中」になっているか確認してください。「連携中」でない場合、BLuEApp が前面に表示された状態で「未連携」ボタンをタップし、BLuEApp と PDFEditor を連携してください。

それでも連携できない場合、一度 BLuEApp を再起動し、前面に表示してから「連携」ボタンをタップしてください。

※Mitutoyo Series、DTC-N-REV 接続時の注意事項

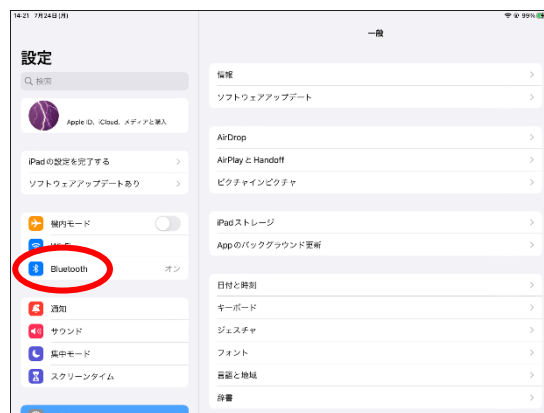
Mitutoyo Series、DTC-N-REV の測定器と BLuEApp の接続が完了すると毎回「Bluetooth ペアリングの要求」ダイアログが表示されます。

その際は、必ず「キャンセル」を選択してください。

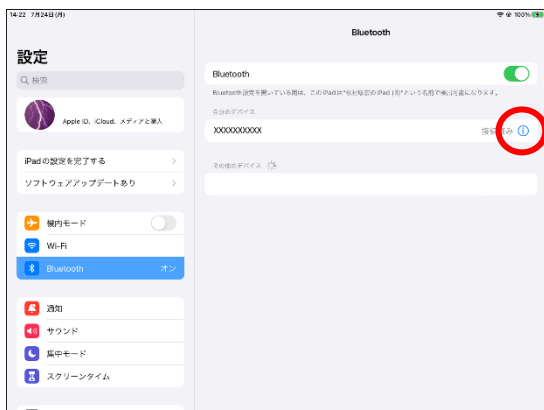


誤って「ペアリング」を選択した場合、測定器との接続は完了しますが測定を行うことができません。以下の手順に従って「ペアリング」を解除し、再度、測定器と BLuEApp の接続を行ってください。

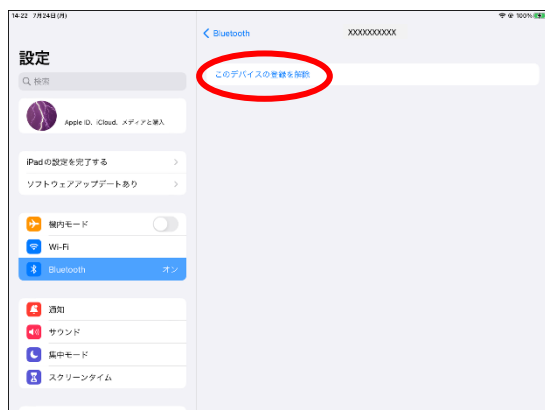
- ① 測定器との切断を行い、BLuEApp を終了する
- ② 「設定」をタップし、「Bluetooth」を選択する



- ③ 「自分のデバイス」に表示されている測定器名（通信アダプタ ID 番号）横の「i」マークをタップする

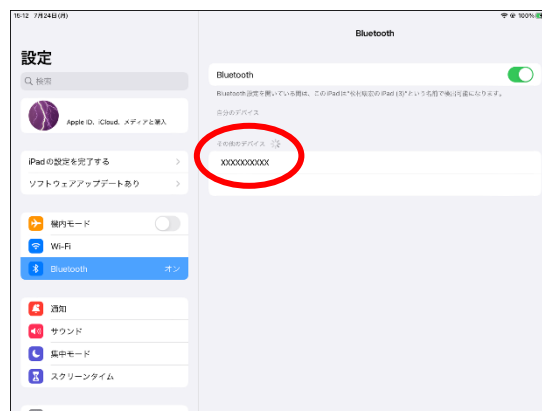
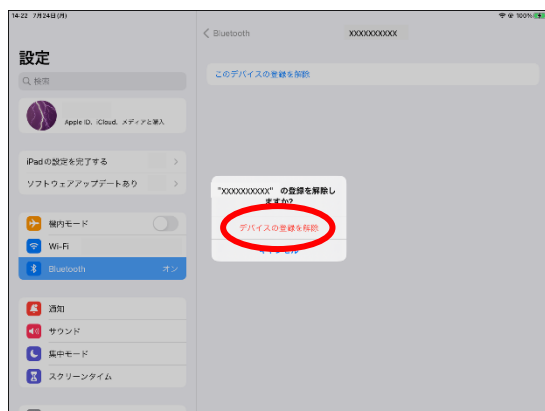


④ 「このデバイスの登録を解除」をタップする



⑤ 「“XXXXXXXXXX”の登録を解除しますか？」ダイアログが表示されるので、「デバイスの登録を解除」をタップする

「その他のデバイス」に測定器名（通信アダプタ ID 番号）が表示されていれば解除完了



⑥ BLuEApp を起動し測定器と接続する

その際、再度「Bluetooth ペアリングの要求」ダイアログが表示されるので「キャンセル」を選択する

測定する

Q. Excel への入力の際、「セル反映」ボタンをタップしても測定値が出力できない。

A. Excel 上で図形などのオブジェクトが選択されている状態、またはセルに対して文字の入力待ちになっている状態では、測定値が入力できません。オブジェクトの選択・セルの文字入力を終了し、再度入力するセルを選択し、「セル反映」ボタンを押してください。

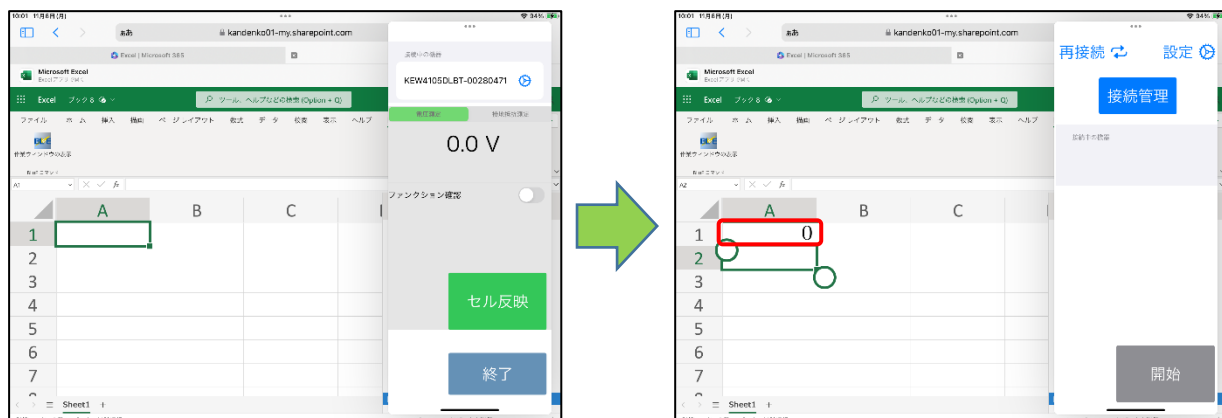
Q. PDF への入力の際、INRUSH 値が出力できない。(CM4371-50・CM4373-50・CM4375-50)

A. INRUSH 測定時は「HOLD」ボタンを使用することができません。設定画面にて、「HOLD」ボタン押下時の出力トグルを無効に設定し、測定ポイントをタップすることで測定値が入力できます。

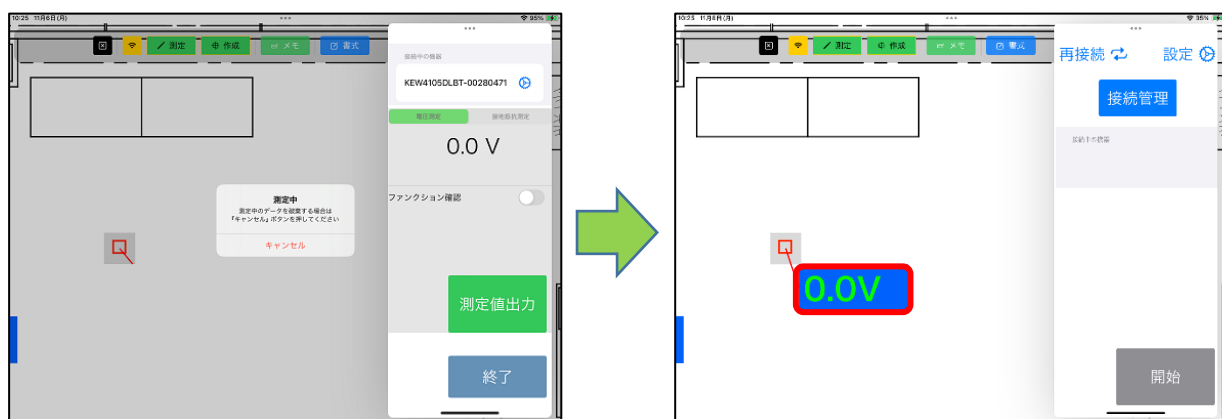


※KEW4105DLBT 地電圧測定から接地抵抗測定への切換または電源 OFF した際の注意事項

Excel : 設定画面の「測定スイッチ押下時出力」トグルを有効にした状態で、接地抵抗測定へ切り換えた場合、または、測定器本体の電源を OFF した際に測定値が反映されますのでご注意ください。



PDFEditor : 設定画面の「測定スイッチ押下時出力」トグルを有効にした状態で、画面ピック後の測定中に、接地抵抗測定へ切り換えた場合、または、測定器本体の電源を OFF した際に測定ポイントに測定値が反映されますのでご注意ください。



Q. 測定値一括出力設定において、「セル範囲」を「×」ボタンで削除できない。

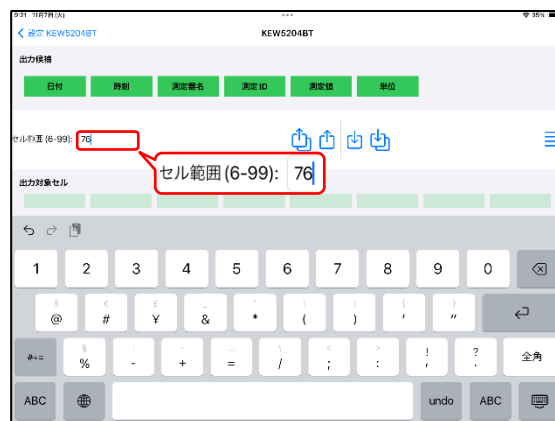
A. 下記手順で変更してください。

例 セル範囲を「6」から「7」に変更する場合

1. 「6」の前に「7」を入力する。



2. 「6」の後ろにポインタを移動する。



3. 「×」ボタンで「6」を削除することで「7」に変更することができます。



※上記の方法でも変更できない場合は、「開始」ボタン押下前に「設定」より変更することができます。

Q. 中村製作所製トルクレンチ「DTC-N-REV」において、Bluetooth アダプタ「U-WAVE-TCB」の「DATA」ボタンを押下すると、接続が切れる。

A. 中村製作所製トルクレンチ「DTC-N-REV」に接続している Bluetooth アダプタ

「U-WAVE-TCB」は、BLuEApp との最初の接続時にしか使用しません。接続が完了した後に「DATA」ボタン（赤いボタン）を押下すると接続が切れますので注意してください。

Q. 柴田科学製室内環境測定器「IES-5000R」において、BLuEApp と接続後に「開始」ボタンを押下してから画面遷移まで、平均値測定時に「測定開始」ボタンを押下してから測定開始まで、それぞれ時間がかかる。

A. 「開始」ボタン押下後から画面遷移まで約 5 ～ 6 秒、「測定開始」から「測定中止」ボタンへ変化し平均値測定を開始するまで約 6 ～ 7 秒のタイムラグが発生していますので、注意してください。

その他

Q. 測定器の使い方を知りたい。

A. 測定器の説明書をご確認ください。

Q. Excel の基本的な使い方を知りたい。

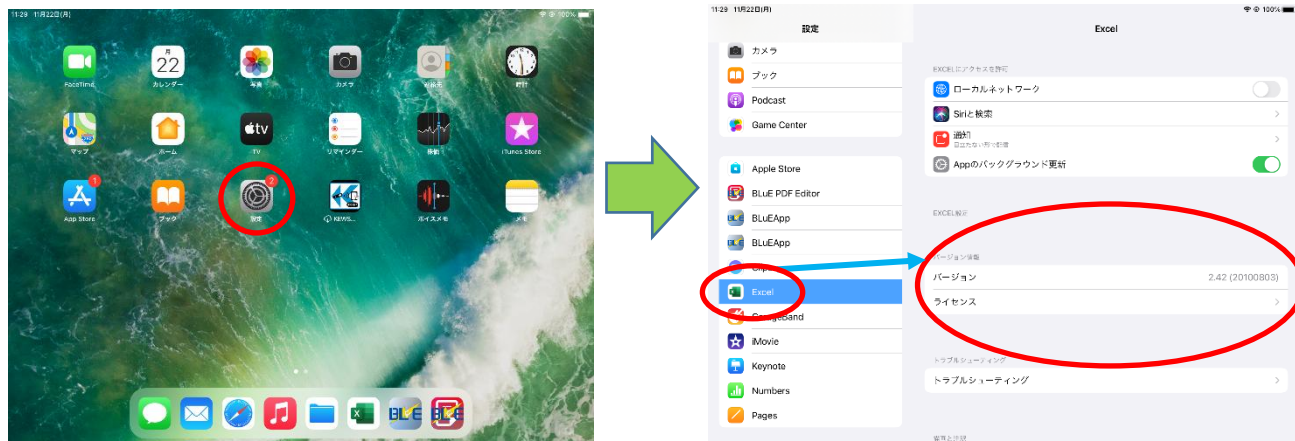
A. Microsoft のヘルプ、サポートをご確認ください。

Q. BLuEApp、Excel、PDFEditor のバージョン及びライセンス情報の確認方法を知りたい。

A. BLuEApp は P.130 を参照、PDFEditor は P.131 を参照、Excel は下記の方法にて確認できます。

【Excel】

「設定」App から Excel を選択すると、バージョン情報を確認できます。



Q. 柴田科学製室内環境測定器「IES-5000R」において、

外付け測定器（デジタル照度計 CANA-0010S 型（接続用ケーブル付））を本体に接続していない場合でも BLuEApp(測定画面)上に測定値を表示している。

A. ノンコネクション（機器未接続）の際にノイズ的な測定値を表示する場合がありますので、外付け測定器を本体に接続して照度を測定する場合のみ、測定値を参照してください。